

令和6年度 事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

尾道市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催	2
(2) 役員・評議員・監事研修会	4
(3) 福祉基金の運用	4
(4) ボランティア基金の運用	5
(5) 金山基金の運用	5
(6) 社協会員の加入促進	6
(7) 寄付金の受付	6

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業	7
(2) ふれあいサロン事業	12
(3) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	18
(4) 法人後見事業	20
(5) 認知症高齢者見守り事業	21
(6) 認知症サポーター養成事業	23
(7) 認知症カフェ推進事業	28
(8) 尾道市チームオレンジ整備事業	32
(9) 住民参加型ふれあいサービス事業	35
(10) 介護器具等の貸し出し事業	36
(11) 福祉総合相談事業	36
(12) 生活困窮者自立支援事業	37
(13) 生活福祉資金貸付事業	42
(14) コロナ特例貸付フォローアップ支援事業	42
(15) 生活支援体制整備事業	44
(16) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催	46
(17) 広報啓発活動	48
(18) 民生委員児童委員協議会との連携	48
(19) 福祉まるごと相談窓口事業	48
(20) 尾道市ひきこもり支援ステーション事業	53
(21) まちかどフードパントリー事業	55

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業	57
(2) 大学、専門学校等ソーシャルワーク実習生等の受け入れ	58
(3) 日本赤十字社講習会	59

4. 福祉教育推進事業

- (1) 児童・青少年を対象とした福祉教育 59

5. ボランティア活動推進事業

- (1) ボランティアセンターの運営 63
- (2) ボランティア養成事業 67

6. 高齢者福祉事業

- (1) 第50期尾道いきいき大学 71
- (2) 敬老会 72

7. 障害者福祉事業

- (1) 障害者社会参加促進事業 77
- (2) 障害者当事者団体への支援・協力 81

8. 児童福祉事業

- (1) 子育て支援 81
- (2) 子どもの居場所づくり 84

9. 母子・父子福祉事業 86

10. 尾道市総合福祉センター等の管理

- (1) 尾道市総合福祉センターの管理 86
- (2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理 87
- (3) 因島総合福祉保健センターの管理 88

11. 尾道市総合福祉センター事業

- (1) 障害者福祉センター事業 88
- (2) 老人福祉センター事業 89
- (3) 児童センター事業 90
- (4) 母子・父子福祉センター事業 92
- (5) 福祉センター事業「よりあい広場」 93

12. 共同募金事業

- (1) 赤い羽根共同募金 94
- (2) 能登半島地震災害義援金 95

13. 災害支援事業

- (1) 被災者生活サポートボランティア推進事業 95
- (2) 防災研修会 96

14. 地域包括支援センター事業

- (1) 総合相談・支援業務 97
- (2) 介護プラン作成件数 97
- (3) 介護予防普及啓発事業 97
- (4) 地域活動 100
- (5) 認知症地域支援推進員の活動 104
- (6) 包括支援センター会議 108
- (7) 研修等 110

15. 介護保険事業

- (1) 居宅介護支援事業 114
- (2) 訪問介護事業 119
- (3) 訪問入浴介護事業 123
- (4) 通所介護事業 124

16. 障害福祉サービス事業

- (1) 障害者訪問介護事業 129
- (2) 障害者訪問入浴介護事業 129
- (3) 障害者通所介護事業 130

令和6年度 事業報告

我が国は、引き続き少子高齢化・人口減少が進行し、さらに都市部への人口流出が続く地方では労働力人口や地域活動の担い手の不足という課題が顕著になっています。

一方で、我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に脱却し、緩やかな回復基調にあるとされていたものの、長期化するロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ問題、米国の新たな大統領による政策など先行きが不透明な国際情勢の影響に加え、天候不良などによる食料品の高騰、コメ不足など市民生活はますます厳しさを増しています。

コロナ禍により制限された人と人との交流や地域活動が以前の状態に戻っていない中で、生活困窮や孤立・孤独、ひきこもりや8050問題、ヤングケアラーなど地域住民が抱える課題は複合化・深刻化しています。

公共サービスだけで課題を解決することが困難な状況であり、地域で暮らす全ての人がいきいきと幸せな生活を送るためには、住民同士の支え合いやセーフティーネット機能の強化がますます重要になっています。

尾道市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、地域のつながりを大切にし、住み慣れた地域で安心して生活できることを目指して事業を継続実施いたしました。

令和6年度には、複合化・深刻化した福祉課題に対応するため、地域、行政、関係機関等と連携して「重層的支援体制整備事業（おのまる会議）」に着手しました。支援者同士の顔の見える関係を築くための取組みをはじめ、権利擁護の支援体制を検討する専門部会を立ち上げました。

また、子育て世帯等が食の貧困状態を回避でき、企業や個人のフードロス対策にもなる「まちかどフードパントリー事業」を新たに開始し、市内3か所に設置しました。

生活支援体制整備事業では、北部・中央・西部・南部（因島）・南部（瀬戸田）地域包括支援センターの各圏域で事業を実施し、因島地域、御調地域、美木中地域、瀬戸田地域、久保地区、栗原・久山田地区では第2層協議体が活動されています。他の地域でも地域包括支援センターと連携しながら地区社協と設立に向けた協議を進めています。

小地域ネットワーク推進事業では、新たにモデル地区として浦崎地区を指定し、2年目の高須地区と合わせて、それぞれの実情にあった「支え合いの地域づくり」に取り組みしました。

生活困窮者自立支援事業（くらしサポートセンター尾道）では、様々な悩みごとを抱えている方の自立支援に向け、各種機関と連携した相談・支援に努めました。新規相談受付件数309件（前年度243件）、延べ対応件数で5,734件（前年度4,580件）となり就労相談、債務整理、家計管理などを実施し相談者の生活立て直しにつなげることができました。

ひきこもり支援事業では、ひきこもりに対する正しい理解を広めるための「ひきこもりサポーター養成講座」を開催し42名の方が参加されました。また、ひきこもりの家族の集いや不登校とひきこもりのすき間支援について関係者会議を開催するなど新たな取組みも行いました。

ボランティア養成事業では、「はじめてのボランティア応援講座」を実施し、新たなボランティアの登録につながりました。また、手話奉仕員養成講座ほか18講座で、延べ169回のボランティア養成講座を開催し、更なる地域ボランティアの育成を図りました。

ふれあいサロン事業では168か所が登録され、サロン支援員による支援や専門講師の派遣を行う等、合計50,303名の方が参加されました。

認知症の人にやさしいまちづくり事業では、認知症になっても安心して自分らしく暮らし続けることのできる共生の地域づくりを目指し、認知症の人や家族のニーズ・困りごとに対して、認知症サポーターや本人、家族、地域、専門職等と一緒に考え、支援をつなぐ仕組みである「チームオレンジ」を令和5年度に4か所で整備しました。令和6年度では、新たに1か所が加わり、5か所の「チームオレンジ」が、訪問、見守り・声かけ、生活支援等の活動を行いました。その他にも、認知症の方や家族を支援するため「やすらぎ支援員」を派遣するとともに、地域で認知症に対する正しい理解を深めるため「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ推進事業」等に取り組みしました。

子育て支援事業では、生後4か月の赤ちゃんへ絵本等をプレゼントする「ブックスタート事業」をはじめ、1歳6か月児や3歳児に読み聞かせをしたうえで絵本をプレゼントする「ブックスタート・プラス事業」「ブック・ステップアップ事業」、市内15か所の子育てサロンの活動を通して子育て中の親子の支援を行い、他機関と連携して子育て支援ネットワークづくりを推進することで、地域や家庭の子育て力向上を図りました。

また、本会の子育て部会が中心となり「クリスマスキッズフェスタ」を尾道市消防局と共催で実施しました。当日は400名を超える来場者を迎え、本会が取り組む子育て支援事業の周知広報につながりました。

介護保険、障害福祉サービス、介護予防・日常生活支援総合事業では、全7事業所（本所4事業所・因島支所1事業所・瀬戸田2事業所）がそれぞれに、令和6年度事業計画で定めた事業所長期目標を達成するために、短期目標を3か月ごとに設定し、全職員が一丸となってサービスを提供することで、安定した経営と利用者から信頼されて選ばれる事業所を目指して事業運営を行いました。

また、感染症発生時や自然災害発生時など、万が一の状況に直面したときの介護事業継続については、サービスを中断させない、また中断してしまった場合でも速やかに復旧させるため、研修や机上訓練を実施して、必要な方針や手順、体制などを確認しました。

虐待や身体拘束の防止については、本会の方針を職員に周知し、虐待発生時の対応や、職員が相談・報告できる体制整備を行いました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催

理事会、評議員会等を開催し、適正な運営に努めた。

① 理事会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月12日（水） 出席者14名	(1) 決議事項 第1号議案 令和5年度事業報告の承認の件 第2号議案 令和5年度一般会計決算の承認の件 第3号議案 令和6年度一般会計補正予算（第1号）の承認の件 第4号議案 給与規程の一部改正の件 第5号議案 介護事業所運営規程の一部改正の件 第6号議案 理事候補者の承認の件

	第7号議案 評議員候補者の推薦の件 第8号議案 評議員・選任解任委員会委員の選任の件 第9号議案 評議員選任・解任委員会の招集の件 第10号議案 定時評議員会の招集の件 (2) 報告事項 第1号報告 職務執行状況報告書の件
第2回 11月13日(水) 出席者15名	(1) 決議事項 第11号議案 令和6年度一般会計補正予算(第2号)の承認の件 第12号議案 定時評議員会の招集の件 (2) 報告事項 第1号報告 職務執行状況報告書の件
第3回 3月17日(月) 出席者11名	(1) 決議事項 議案第13号 令和6年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第14号 令和7年度事業計画について 議案第15号 令和7年度一般会計収支予算について 議案第16号 育児・介護等休業規程の一部改正について 議案第17号 役員等賠償責任保険契約について 議案第18号 評議員会の招集について
第4回 3月31日(月) (書面決議)	議案第19号 給与規程の一部改正について ※全員の賛同が得られず、不承認となった。

② 評議員会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月28日(金) 出席者25名	(1) 決議事項 議案第1号 令和5年度事業報告の件 議案第2号 令和5年度一般会計決算の件 議案第3号 令和6年度一般会計補正予算(第1号)の承認の件 議案第4号 理事の選任の承認の件
第2回 11月29日(金) 出席者27名	(1) 決議事項 議案第5号 令和6年度一般会計補正予算(第2号)の承認の件 (2) 報告事項 報告第1号 職務執行状況報告書の件
第3回 3月28日(金) 出席者27名	(1) 決議事項 議案第6号 令和6年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第7号 令和7年度事業計画について 議案第8号 令和7年度一般会計収支予算について

③ 監事会

開 催 日	主 な 議 題
5 月 24 日 (金) 出席者 3 名	(1) 令和 5 年度事業監査について (2) 令和 5 年度一般会計監査について

④ 評議員選任・解任委員会

開 催 日	主 な 議 題
6 月 24 日 (月) 出席者 4 名	議案第 1 号 評議員の選任について

⑤ 表彰審査委員会

開 催 日	主 な 議 題
10 月 9 日 (水) 出席者 4 名	(1) 令和 6 年度社会福祉活動功労者及び介護者表彰について 市社協会長表彰として、社会福祉協議会関係者 8 名、社会福祉施設・団体関係者 45 名、ボランティア (個人) 11 名、介護者 1 名、特別功労者 1 名を決定した。

(2) 役員・評議員・監事研修会

福祉活動の推進に役立てるため、研修会へ参加した。

開 催 日	主 な 内 容
10 月 7 日 (月) 12 月 20 日 (金) (視聴期間) 〔※オンラインにて開催。 参加者 37 名〕	第 69 回 「広島県社会福祉夏季大学」 地域社会を支えていくためには「支える、支えられる」という一方向の関係ではなく、「相互に支え合う関係」をはぐくむ地域づくりが重要であることを学んだ。 講義 1 「弱さを愛せる社会へ」 講師：植草学園大学 教授・副学長 野澤和弘さん 講義 2 「望まない孤独～社会問題の源流に位置するもの～」 講師：NPO 法人あなたのいばしょ 理事長 根岸督和さん 講義 3 「認知症の人を地域で支える～警察 OB の取り組み～」 講師：一般社団つなぎ 代表理事 中邨よし子さん

(3) 福祉基金の運用

福祉基金の利息等を法人運営費として有効に活用した。

(単位 円)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
① 積立状況	166, 241, 273	166, 241, 273	160, 866, 573
② 利息収入	1, 476, 801	1, 061, 004	1, 504, 147

③ 国債売買収益	0	1, 126, 950	2, 212, 100
④ 前期繰越金収入	643, 255	68, 247	0
⑤ 使途 法人運営事業	1, 476, 809	1, 612, 946	3, 648, 000
⑥ 次期繰越金	643, 247	643, 255	68, 247

(4) ボランティア基金の運用

ボランティア基金の利息等を福祉大会、ボランティア養成、子育て支援などへ有効に活用し各種事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
① 積立状況	364, 813, 208	364, 813, 208	364, 813, 208
② 利息収入	4, 442, 253	4, 748, 994	5, 043, 028
③ 国債売買収益	0	0	20, 549, 320
④ 前期繰越金収入	27, 490, 222	26, 954, 646	4, 487, 040
⑤ 使途の内訳 (合計)	10, 357, 744	4, 213, 418	3, 124, 742
ア 認知症高齢者見守り事業	71, 000	71, 000	2, 993
イ ふれあいサービス事業	137, 000	0	0
ウ 福祉総合相談事業	160, 000	132, 859	94, 130
エ 福祉大会事業	700, 000	700, 000	635, 902
オ 福祉まつり事業	170, 000	170, 000	148, 843
カ 福祉人材養成事業	0	0	56, 776
キ 福祉教育事業	31, 000	31, 000	31, 000
ク ボランティア養成事業	294, 744	446, 099	332, 397
ケ 子育て支援事業	320, 000	328, 803	385, 919
コ 法人運営事業	8, 474, 000	2, 333, 657	1, 436, 782
⑥ 次期繰越金	21, 574, 731	27, 490, 222	26, 954, 646

(5) 金山基金の運用

金山基金は、法人事業運営費等へ有効に活用し事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
① 基金年度末残高	60, 000, 000	80, 000, 000	97, 000, 000
② 利息収入	2, 968	2, 118	5, 074
③ 基金取崩額	20, 000, 000	17, 000, 000	9, 074, 704
④ 前期繰越金収入	8, 783, 364	2, 616, 510	2, 524, 661
⑤ 使途の内訳 (合計)	15, 292, 445	10, 834, 493	8, 987, 929
ア 生活支援体制整備事業	265, 231	60, 905	0
イ ふれあいサロン事業	779	32, 148	0
ウ いきいき大学事業	0	212, 909	0
エ 老人センター事業	1, 981	10, 696	420, 796

オ 障害者センター事業	590	17,489	46,586
カ 児童センター事業	20,635	0	427,732
キ 法人運営事業	15,003,229	10,500,346	8,092,815
⑥ 次期繰越金	13,493,887	8,784,135	2,616,510

(6) 社協会員の加入促進

世帯会員、団体会員、賛助会員の加入をお願いし、市社協への理解に努め協力を得た。

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	26,074	3,911,100	1,904	285,600	4,860	729,000
団体会費	35	105,000	7	21,000	8	24,000
賛助会費 (事業所)	135	544,000	42	168,000	40	192,000
(個人)	94	255,000	3	11,000	2	8,000
合 計		4,815,100		485,600		953,000

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	7,586	1,137,900	3,416	512,400	43,840	6,576,000
団体会費	7	21,000	4	12,000	61	183,000
賛助会費 (事業所)	50	198,000	32	131,000	299	1,233,000
(個人)	5	17,000	5	19,000	109	310,000
合 計		1,373,900		674,400		8,302,000

(7) 寄付金の受付

福祉活動の財源として、市民の皆様の協力を得ることができた。

① 受付状況

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	71	2,057,960	24	512,198	53	827,040
地区社協指定分	65	1,929,000	16	295,000	97	1,797,000
合 計	136	3,986,960	40	807,198	150	2,624,040
(内訳)						
香典返し	109	2,845,000	37	785,000	145	2,495,000
一 般	27	1,141,960	3	22,198	5	129,040
物品寄付	2	0	2	216,557	1	2,000

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	6	175,212	12	385,322	166	3,957,732
地区社協指定分	37	385,000	0	0	215	4,406,000

合 計	43	560, 212	12	385, 322	381	8, 363, 732
(内 訳)						
香典返し	41	475, 000	8	300, 000	340	6, 900, 000
一 般	2	85, 212	4	85, 322	41	1, 463, 732
物品寄付	7	113, 580	0	0	12	332, 137

② 寄付金管理運営委員会の開催

開催日	議 題
第 1 回 1 月 27 日(月) 出席者 7 名	報告事項 (1) 令和 5 年度寄付金の取扱状況について (2) 令和 5 年度寄付金の使途について (3) 令和 6 年度寄付金の取扱状況について (4) 令和 6 年度寄付金の使途について 協議事項 (1) 令和 7 年度寄付金の使途について

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業

① 小地域ネットワーク推進事業

地区社協を基盤とした住民同士の見守りや支え合い活動の推進を目的に、令和 6 年度は 1 地区を新たにモデル指定し、指定 2 年目の 1 地区(継続)と合わせて 2 地区で小地域ネットワーク推進事業を展開した。助成は 1 地区につき年 50,000 円、モデル指定期間は 2 年間としている。

ア 小地域ネットワーク推進事業モデル指定で取り組んだ地区社協

(ア) 新規の地区社協

旧尾道地域：浦崎地区

(イ) 継続の地区社協

旧尾道地域：高須地区

イ モデル指定地区の主な取り組み

(ア) 新規地区

a 浦崎地区

高齢者が、いつまでも地域で安全・安心に暮らし続けるために、住民による支え合い・助けあう仕組みの構築を目指し、生活支援や移動支援に取り組まれた。

(a) 日常生活ささえあい支援「ちょこっと応援サポート」チラシを全戸配布

(b) 会議、取り組み協議の開催(通年)

(c) 「つながりワーカー養成講座」実施(年 3 回)

(d) 「町内 75 歳以上の高齢者アンケート」結果に基づく、浦崎地区アドバイザー(広島県立大学田中聡子教授)による講演・講座の実施(年 5 回)

(イ) 継続（２年目）地区

a 高須地区

“気にかける・支える・つながる” 地域づくりを目指して、「つながる分散化敬老会」「つなぎ役としての勉強会」「サロン・カフェの新設・継続」に取り組まれた。

- (a) 福祉事業部会の開催（９回）
- (b) きずな委員会の開催（６回）
- (c) きずな委員を中心とした敬老会の分散化開催
- (d) つなぎ役になるための学習会（３回）
- (e) サロン・ボランティア募集チラシの作成と掲示
- (f) 高須地区サロン・カフェマップの作成
- (g) 「きずな委員はつなぎ役」チラシを全戸配布

ウ 地区社協及び民生委員等を対象とした実践発表会

小地域ネットワーク活動の啓発と普及につなげるため、モデル指定２年目の地区社協による実践発表会を行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
3月5日(水)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、向島愛あいセンター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をWebで接続	◇尾道市社協の事業説明 (生活支援体制整備事業+小地域ネットワーク推進事業) ◇小地域ネットワーク活動の実践発表 高須地区の取り組み 「“気にかける・支える・つながる” 地域づくりを進める活動」 ◇講演 「地域のつながりで支え合おう」 ノートルダム清心女子大学人間生活学科 准教授 中井俊雄さん ◇質疑応答	104名

【成果】

- ・モデル指定地区で小地域ネットワーク活動が展開され、地域での話し合いの場ができ、地域住民同士の見守り・支え合い体制の基盤及び体制が構築された。
- ・地域のつながりが広がるとともに、地区の住民に支え合いの意識が醸成された。
- ・実践発表会を通して、小地域ネットワーク活動の啓発・普及を図ることができた。

【課題】

- ・モデル指定地区では、地区社協や自治会、民生委員、地域ボランティア等が連携して活動が進められるよう側面的支援を行っていく。

- ・適正な活動範囲を意識しながら、地域のニーズにあった幅広い支え合い活動の展開を行っていく。
- ・新規モデル指定地区を確保していくための手法を検討する必要がある。

② 地区社協会長会議の開催

ア 旧尾道地域

開 催 日	内 容
4 月 8 日（月）	・市社協職員の紹介 ・市社協事業について ・情報交換
7 月 8 日（月）	・令和6年度敬老会打合せ会 ・市社協事業について ・情報交換
11 月 11 日（月）	・令和6年度敬老会反省会 ・市社協事業について ・情報交換
2 月 10 日（月）	・市社協事業について ・情報交換 ・勉強会 「尾道市の防災関連情報、災害ボランティアセンターについて」

イ 御調地域

開 催 日	内 容
5 月 13 日（月）	・新地区社協会長の紹介及び関係職員紹介 ・令和6年度事業計画等 尾道市社協の事業について ・御調地域第2層協議体 いきいきみつぎの会について
7 月 8 日（月）	・敬老会の事務手続き等について ・地域づくりについて
11 月 11 日（月）	・敬老会事業の反省等について ・地域づくりについて
2 月 17 日（月）	・御調地域第2層協議体 いきいきみつぎの会について

ウ 向島地域

開 催 日	内 容
5 月 8 日（水）	・地区社協会長自己紹介及び関係職員紹介 ・令和6年度世帯会費の協力依頼について ・令和6年度尾道市社協事業について ・寄付金の取扱いについて
7 月 9 日（火）	・敬老会の説明及び事務手続きについて ・敬老会委託契約手続きについて
10 月 8 日（火）	・敬老会の反省について ・令和6年度共同募金について

エ 因島地域

開 催 日	内 容
4 月 25 日 (木)	・市社協会長あいさつ ・5月の行事予定について ・令和6年度の因島支所体制について（報告） ・理事及び監事の推薦について ・生活支援体制整備事業について ・第3層協議体について ・ふれあいサロン年間予定表について ・共同募金の実績額（因島支所分）について ・令和6年度「いきいき大学」の申し込み状況について ・その他（意見交換等）
5 月 27 日 (月)	・6月の行事予定について ・令和6年度地域福祉事業計画（因島支所）について ・令和6年度世帯会費の協力依頼について ・敬老会説明会及び会長会議の日程について ・生活支援体制整備事業について ・理事会・評議員会について ・その他（意見交換等）
7 月 5 日 (金)	・7月の行事予定について ・表彰候補者の推薦について ・令和6年度世帯会費・賛助会費の協力依頼について ・赤い羽根共同募金配付資材希望数について ・生活支援体制整備事業について ・その他（意見交換等）
7 月 29 日 (月)	・実習生発表 ・8月の行事予定について ・敬老会の実施計画書提出について ・生活支援体制整備事業・第3層の取組みについて ・その他（意見交換等）
8 月 27 日 (火)	・9月の行事予定について ・敬老会の実施計画について ・共同募金の配付資材希望数の集約について ・生活支援体制整備事業・第3層の取組みについて ・共同募金委員会及び理事・監事・評議員会合同会議について ・その他
9 月 25 日 (水)	・10月の行事予定について ・共同募金の取組み（予定）について ・第2層・第3層協議体の動きについて（報告） ・その他
10 月 28 日 (月)	・11月の行事予定について ・共同募金運動について（街頭募金活動の予定について） ・生活支援体制整備事業進捗状況について ・その他（意見交換等）
11 月 26 日 (火)	・12月の行事予定について ・共同募金運動について

	・生活支援体制整備事業進捗状況について ・その他（意見交換等）
12月24日（火）	・1月の行事予定について ・共同募金の実施状況について（因島支所管内） ・「ケアネットフォーラム因島」の報告 ・第3層協議体モデル地区の報告 ・その他
1月27日（月）	・2月の行事予定について ・令和6年度地区社協自主事業に対する配分金交付のための調査依頼提出について ・共同募金の実施状況について（因島支所管内） ・能登半島地震における義援金募集について（石川、新潟、富山、福井） ・生活支援体制整備事業（第2層・第3層）の動きについて ・小地域ネットワーク推進事業実践発表について ・その他
2月26日（水）	・3月の行事予定について ・令和6年度地区社協自主事業に対する配分金について ・共同募金の実施状況について（因島支所管内） ・生活支援体制整備事業（第2層・第3層）の動きについて ・小地域ネットワーク推進事業実践発表について ・その他
3月25日（火）	・4月の行事予定について ・理事会の報告について ・令和6年度共同募金実績額及び助成金について ・生活支援体制整備事業（第2層・第3層）の動きについて ・その他

オ 瀬戸田地域

開催日	内 容
6月3日（月）	・尾道市社協 令和6年度事業計画について ・地区社協関連事業について ・生活支援体制整備事業について ・せとだでくらそう会アンケート結果について ・令和6年度世帯会費及び戸別共同募金の依頼について ・地区社協 令和5年度事業報告書・決算書及び令和6年度事業計画書・予算書の提出について ・その他
7月10日（水）	・敬老会について ・その他
10月1日（火）	・敬老会の事業完了について ・共同募金（街頭募金）について ・第53回おのみち福祉まつりについて ・令和6年度尾道市社会福祉大会について

	・生活支援体制整備事業について
	・重層的支援体制整備事業について ・その他
3月5日（水）	・令和6年度共同募金の実績及び配分状況について ・生活支援体制整備事業について ・その他

③ 地域活動研修会

ア 向島地区まちづくり花街道整備事業

花ボランティア「ほほえみ」の協力により、「花いっぱい！笑顔いっぱい！」運動を展開した。6月と11月に花を植え、年間を通じて肥料をやり、草取りを行った。

④ 地区社協事業（自主事業）

尾道市内の全 63 地区社協で地域住民を対象とした社会参加、高齢者支援、子育て支援、広報等の自主事業が取り組まれた。

- ・58 地区では、福祉健康まつり、スポーツ大会、清掃活動等の地域交流及び社会参加の取組が行われた。
- ・40 地区では、地区内の高齢者を対象とした配食サービス、一人暮らし高齢者の見守り活動や食事会の開催、勉強会の実施等、高齢者福祉に関する取組が行われた。
- ・35 地区では、登下校時のあいさつ運動、子どもの料理教室、生物観察会、稲刈りや野菜の収穫体験等、児童福祉に関する取組が行われた。
- ・40 地区では、避難訓練や防災講座の開催、防犯パトロール等の見守り活動が行われた。
- ・30 地区では、地区社協だよりの発行等による広報活動が行われた。

（２）ふれあいサロン事業

ふれあいサロンは今年度 168 か所が登録。サロン支援員による支援や専門講師の派遣を行った。

旧尾道地域 28,756 名（R5 年度 29,138 名）、御調地域 3,963 名（R5 年度 3,884 名）、向島地域 6,566 名（R5 年 6,026 名）、因島地域 8,240 名（R5 年 8,287 名）、瀬戸田地域 2,778 名（R5 年度 2,695 名）、合計 50,303 名（R5 年度 50,030 名）がふれあいサロンに参加した。

① 専門講師派遣事業

各サロンに対し、年 3 回の専門講師を派遣した。内訳は、音楽指導 138 回、民謡指導 36 回、栄養指導 13 回、絵手紙指導 33 回、運動指導 107 回、お手玉指導 12 回、南京玉すだれ指導 17 回、ちんどん指導 20 回、バルーンアート指導 8 回、ハーバリウム指導 13 回、チョークアート指導 12 回、陶芸指導 14 回、司法書士講座 2 回の計 425 回である。これらの取り組みによりサロン活動の幅が広がり、趣味や交流のプログラムだけではなく、認知症予防・介護予防に寄与することができた。

また、シルバーリハビリ体操指導士がサロンへ出向き、体操指導を行った。

種 類	講 師 名
運動指導	藤原信枝さん、杉原ともみさん、鮎本英治さん、幡地玲子さん、田中悦子さん、嶋田萌菜さん、田中友紀さん
認知症サポーター養成講座	尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会
音楽指導	じゃんじゃん、福山ピアノプラザ指導員 村上清美さん、宮本孝子さん、河田尚子さん 柏原美保子さん
民謡指導	シルバー人材センター民謡同好会
栄養指導	なかの薬局
絵手紙指導	高畦八重子さん、あおかげの会
お手玉指導	お手玉フレンド
南京玉すだれ指導	お笑いの会、笑おう会
バルーンアート指導	杉原 潔さん
ちんどん指導	尾道お笑いちんどんクラブ
チョークアート指導	大原郁香さん
ハーバリウム指導	高垣亜希子さん
陶芸指導	三島 博さん
司法書士（遺言等）の講座	村上司法事務所

② サロンへの支援

ア 新規サロンの立ち上げ支援

土堂地区「土堂ふれあいサロンほっとかん」、浦崎地区「ふれあいサロンなだ」「なだいきいきサロン」、御調地域「笑福の家 in あやめ」、「お茶の間サロンふくふく」が新しく立ち上がった。

イ 郊外サロンの支援

郊外サロン助成金を利用したサロンは94サロンとなった。

ウ 支援体制

支援員は年間に206回、各サロンに出向き、レクリエーション指導だけではなく、身近な情報などの発信、ニーズに応じた支援等を行った。今年度はこまめな訪問を行い、ボランティア、参加者の話を伺った。

エ ふれあいサロン研修会

ふれあいサロン研修会を開催し、6/24（向島）・6/25（旧尾道）・6/26（瀬戸田）・7/3（因島）は、ふれあいサロン貸出しレク道具の説明とレクリエーション指導を行った。7/1（御調）は大雨のため中止。2/27（御調）・2/28（瀬戸田）・2/28（向島）・3/3（旧尾道）・3/4（因島）は、サロンで簡単に作れる小物入れを創作した。

【成果】

- ・ ボランティア、参加者ともサロンの必要性を再認識することができた。
- ・ サロン支援員が各サロンへ出向くことにより、地域の様子をよく知ることができ、他の職員へ連携を図り、社協事業の推進へつながった。

【課題】

- ・ サロン参加者が定着化する一方で、新規参加者の増加が難しい。
- ・ サロンボランティアの後継者がなかなか育たない。

ふれあいサロンの開催状況一覧（令和7年3月末現在）

〔旧尾道地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区・町内会		サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
山波	全 域	いきいきサロン	山波公民館	毎月1回	387
	今免北	ふれあいサロンピーチ	星の里 山波の家	毎月1回	200
	東 谷	ふれあいサロンきぼう	山田恵子さん宅	毎月1回	79
新高山全域		さくらんぼ	いきいきサロン新高山	毎月1回	326
久保	全 域	さくら会	いきいきサロン久保 いきいきサロン防地	毎月1回	389
	防 地	ひだまり防地	いきいきサロン防地	毎月1回	259
	大 宮	フレンド大宮	いきいきサロン久保	毎月1回	230
	旭ヶ丘・黄谷	旭ふれあいサロン	人権文化センター	毎月1回	261
	旭ヶ丘	ひだまり旭ヶ丘	旭ヶ丘団地集会所	毎週1回	455
筒 湯		筒湯ふれあいサロン	いきいきサロン筒湯	毎月1回	286
		サロンひなたぼっこ	いきいきサロン筒湯	毎月1回	125
長江	全域	ながえの集い	長江公民館	毎月1回	315
	和加礼・長江北	榎ヶ峰ふれあいサロン	いきいきサロン榎ヶ峰	毎月1回	42
土 堂		土堂ふれあいサロンほっとかん	土堂公民館	毎月1回	282
全 域		商店街サロンどんぐりの会	もりあげ隊	毎週1回	599
		商店街サロンコスモス	もりあげ隊	毎月2回	256
		商店街サロン家族の会	もりあげ隊	毎月1回	197
栗原	向 峠	向峠なかよしサロン	いきいきサロン向峠	毎月1回	151
	潮 見	さくらふれあいサロン	潮見会館	毎月1回	152
	竹 屋	竹屋ほほえみサロン	竹屋会館	毎月1回	165
	本通り第二	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	毎月1回	286
	川 上	川上さくらんぼ会	川上公民館	毎月1回	67
	向 山	いきいきサロンひまわり	向山クラブ	毎月1回	141
	門 田	門田ほほえみサロン	門田コミュニティセンター	毎月1回	415
	門 田	にこにこクラブ	門田コミュニティセンター	毎月2回	650
	久山田	久山田ふれあいサロン	久山田公民館	毎週1回	399
	則 末	則末ふれあいサロン	栗原公民館	毎週1回	437
	三美園団地	三美園団地ふれあいサロンひだまり	いきいきサロン三美園	毎月1回	407
栗原北	竹屋団地	竹屋団地ふれあいサロン会	竹屋団地集会所	毎月1回	135
	大迫団地	大迫団地ふれあいサロン	栗北公民館	毎月1回	172
	松 岡	松岡サロン	いきいきサロン栗原北	毎月1回	73
	松岡団地	ふれあいサロン松岡団地	松岡団地集会所	毎週2回	692

日比崎	天満、下組南本通り第1	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	年間6回	159
	三軒家南・北若宮	ふれあいサロンぼたん	日比崎公民館	年間6回	161
	吉浦、巖通新浜東西之華	ふれあいサロンクローバー	日比崎公民館	年間6回	110
	全 域	松ぼっくり	松ぼっくり	週2回	557
	全 域	モリングア	モリングア	週1回	506
	平 原	平原はつらつサロン 平原ぽかぽかサロン	平原コミュニティセンター 西願寺分所	毎週1回 毎月1回	567 83
吉和	全 域	ふれあいサロン吉和	吉和公民館	毎月1回	360
	全 域	いきいきサロン吉和	いきいきサロン吉和	毎月1回	255
	新 浜	いきいきサロン新浜	いきいきサロン新浜	毎月1回	117
	高 頭	高頭ふれあいサロン	高頭公民館	毎月1回	168
三成	全 域	ふれ愛サロンふじい川	才原なごみ館・大迫公民館 ・山方公民館ほか	毎月1回	281
	才 原	なごみサロン	才原なごみ館	毎週1回	751
	白 江	白江健康サロン	白江公民館	毎週1回	522
	下組・猪子迫	三成なかよしサロン	いきいきサロン三成	毎週1回	568
木頃	全 域	ふれあいサロンきごろ	いきいきサロン木頃	毎月1回	248
	中 野	仲良しクラブ	いきいきサロン木頃	毎週1回	291
	本郷下組	あやめサロン	いきいきサロン藤井川	毎月1回	97
木ノ庄西	上 中	上中ふれあいサロン	いきいきサロン木ノ庄西	毎月1回	182
	石 畦	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	毎月1回	167
	畑	畑ふれあいサロン	いきいきサロン畑	毎月1回	142
	木ノ庄東	木ノ庄東ふれあいサロン	木ノ庄東公民館	毎月1回	88
原田	小 原	ふれあいサロン小原	いきいきサロン小原	毎月1回	208
	梶山田	ふれあいサロン梶山田	J A 原田支所	毎月1回	230
高須	全 域	鶴羽会 高須男性サロン	東部公民館 大田ふれあい館ほか	毎月2回 毎月1回	702 138
	太 田	太田ふれあいサロン	大田ふれあい館	毎月1回	233
	横 路	およねサロン	横路公民館	毎月1回	179
	西 藤	西藤のつどい	福田ふれあい館	毎月1回	363
浦崎	戸 崎	戸崎いきいき手城会	戸崎区クラブ	毎月1回	275
	上 組	ふれあいサロン上組	上組区クラブ	毎月1回	243
	下 組	サロン住吉	下組区クラブ	毎月1回	263
	灘	ふれあいサロンなだ	灘区クラブ	毎月1回	150
		なだいきいきサロン	灘区クラブ	毎月3回	318
	満 越	満越いきいきサロン	満越クラブ	毎月1回	250
	新 田	新田ふれあいサロン	新田区クラブ	毎月1回	168
	海 老	海月ふれあいサロン	海老公民館	毎月1回	115
向東	高 尾	いきいきサロン高尾	高尾公民館	毎月1回	165
	矢 立	ふれあいサロン矢立	矢立クラブ	毎週1回	807
	彦ノ上一区	ふれあいサロン彦一	彦ノコミュニティセンター	毎月1回	289
	彦ノ上二区	ゆうゆうサロン彦二	向島リーフ	毎月1回	204
	彦ノ上三区	ふれあいサロン彦の上三区	彦ノ上三区公民館	毎週1回	766
	肥 浜	ふれあい、イキイキ「サロン」ひばま	肥浜公民館	毎月1回	157
		ふれあいサロンスマイル	肥浜公民館	毎月1回	149
	谷 水	ふれあいサロン谷水	谷水公民館	毎月1回	186

堤	ふれあいサロン堤	堤区集会所	毎週 1 回	628
森 金	ふれあいサロン森金	森金公民館	毎月 1 回	200
寺 内	寺内ふれあいサロン	寺内公民館	毎月 1 回	216
新 開	ふれあいサロン「しんがい」	新開公民館	毎週 1 回	737
天女浜	ゆうゆう天女	天女浜公民館	毎月 1 回	0
歌	ふれあいサロン歌	歌公民館	ほぼ毎日	3,454
大 町	コミュニティ大町	大町公民館	毎月 1 回	236
古江奥	古江奥ふれあいサロン	古江奥公民館	毎月 1 回	118
才 越	才越ふれあいサロン	才越公民館	毎月 1 回	184
古江浜	ふれあいサロンひといき	古江浜公民館	毎月 1 回	797
百 島	「やすらぎのつどい」	いきいきサロン百島	年間 7 回	218

〔御調地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
菅 野	菅野地区ふれあいサロン	菅野公民館	年間 6 回	107
	仁野ハッピースマイル会	仁野福祉会館	毎月 1 回	35
	大塔タンポポ	大塔集会所	毎月 1 回	147
上川辺	上川辺地区ふれあいサロン	上川辺公民館	概ね月 1 回	243
	ふれあいサロン三郎丸	三郎丸集会所	毎月 1 回	134
	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	毎月 1 回	164
市	市地区ふれあいサロン	市公民館	概ね月 1 回	253
	平なごみ会	平集会所	概ね月 1 回	75
	すみれ会江国	江国公会堂	毎月 1 回	236
河 内	河内地区ふれあいサロン	河内公民館	概ね月 1 回	343
	大田ふれあいサロンひまわり	いきいきサロン大田	毎月 1 回	186
	丸河南ふれあいサロンなごみ	丸河南集会所	毎月 1 回	272
今津野	きらく会	今津野公民館	概ね月 1 回	223
	サロンうぐいす	川西集会所ほか	毎月 1 回	181
綾 目	綾目ふれあいサロン	綾目公民館	概ね月 1 回	174
	笑福の家 in あやめ	國西さん宅	毎月 1 回	45
大 和	大和地区ふれあいサロン	大和公民館	毎月 1 回	116
	下山田ふれあいサロン	下山田集会所	毎月 1 回	77
全 域	お茶の間サロン「ふくふく」	市公民館	毎週 1 回	952

〔向島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
兼 吉	兼吉サロン	兼吉やすらぎ荘他	毎月 1 回	208
	兼吉 4 丁目すみれ	4 丁目公民館	毎月 1 回	224
江 奥	文化サロン	ひだまり交流館	毎週 1 回	901
	イキイキ広場	ひだまり交流館	毎月 1 回	192
	紫竹会の集い	柏原公民館・奥山公民館 ・ 烏帽子公民館	概ね月 1 回	80
東富浜	東富浜 1・2 区にこやか ふれあいサロン	東富浜公民館	年間 6 回	292
	東富浜 3 区いきいきサロン	東富浜 3 区コミュニティ センター	毎月 1 回	256
小歌島	さざなみ	サロンおかじま	毎月 1 回	484
中富浜	ふれあいいきいきサロン 「なかよし会」	中富コミュニティセンター	毎月 1 回	1, 213
西富浜	西富浜ふれあいサロン	西富浜ふれあい交流センター	毎月 1 回	431
田 尻	田尻いきいきサロン和楽	田尻公民館	毎月 1 回	80
宇 立	宇立いきいきサロン	宇立公民館	毎月 1 回	174
	サロンなかよしこよし	宇立公民館	毎月 1 回	131
有 道	有道ふれあいいきいきサロン	有井公民館	毎月 1 回	108
津部田	津部田地区ふれあい いきいきサロン	津部田コミュニティセンター	毎月 1 回	217
岩子島	めだかの学校	めだかの学校	月火水金	1, 445
立 花	立花いきいきサロン	いきいきサロン立花「和」	毎月 1 回	130

〔因島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地 区	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
土 生	へんろ茶屋	へんろ茶屋	ほぼ毎日	1, 362
	語ろう会	安郷区民館	毎月 1 回	120
	塩東すみれ会	いきいきサロン土生南	毎月 1 回	140
	すずの会	郷区会館	毎月 1 回	236
	ふれあいサロン・ニコニコ会	江の内区県営住宅集会 所	毎月 1 回	128
	土生健康サロン	土生公民館	毎月 2 回	623
	さわやかホーム	田熊公民館	毎月 1 回	447
田 熊	ひよこ会	竹長区民会館	毎月 2 回	466
	サロン絆	金山区民館	毎月 1 回	131
	サロンなごみ	西区区民館	毎月 1 回	205
	三庄サロン	三庄公民館	毎月 1 回	193
三 庄	ふれあいサロンハッスル	ふれあいセンター	毎週 1 回	530
	小用サロンの会	小用会館	毎月 1 回	225
	サロン棕浦	いきいきサロン棕浦	毎月 1 回	137
	千守サロン	千守地藏堂	毎月 1 回	268
	8 区愛互会サロン	8 区会館	毎月 1 回	119
	九区サロン	九区会館	毎月 1 回	186

中 庄	ふれあいサロン「たんぽぽ」	中庄公民館	毎月 1 回	352
	ふれあいサロンあじさい	中庄町新開研修所	毎月1～2回	311
	西浦地区ポプラの会	因島西浦ふれあい館	毎月 2 回	149
	ふれあいサロンコスモス会	蘇功区民館	偶数月	313
	ふれあいサロン丸池	丸池集会所	偶数月	146
	サロン外浦	外浦町集会所	偶数月	208
	サロン室陣	室陣集会所	毎月 2 回	406
重 井	喜楽会	重井公民館	毎月 1 回	198
	つどいの家	重井公民館	毎月 1 回	208
	すこやかサロン	因島ふれあいセンター	毎月 1 回	122
大 浜	ラビット	大浜公民館	毎月 1 回	81
東生口	東生口地区カモメ会	因島洲江ふれあい館	毎月 1 回	57
	レディサロン	いきいきサロン東生口	毎月 1 回	80
	ドリームサロン	いきいきサロン東生口	毎月 1 回	93

〔瀬戸田地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地 区	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
名 荷	いきいきサロン名荷	名荷公民館	毎月 1 回	220
林	林いきいきサロン	林公民館	毎月 1 回	312
中 野	つくし会	中野集会所	毎月 1 回	232
鹿田原	鹿田原ふれあいサロン	鹿田原集会所	毎月 1 回	117
沢	沢ふれあいサロン	沢公民館	毎月 1 回	166
瀬戸田	微助っ人	瀬戸田光照苑	毎月 1 回	241
高 根	高根ふれあいサロン	高根潮香園	毎月 1 回	264
福 田	港福いきいきサロン	福田たちばな荘	毎月 1 回	242
垂 水	なでしこ会	垂水垂幸園	毎月 1 回	195
田高根	田高根なぎさ会	田高根なぎさ園	毎月 1 回	150
荻	荻 福々会	荻南風園	毎月 1 回	198
宮 原	ほのぼの会	生口島開発センター	毎月 1 回	155
御 寺	レインボー	御寺集会所	毎月 2 回	286

(3) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

障害などによって判断能力が不十分な方に対して、福祉サービス利用手続きの援助や代行及び日常的な金銭管理の援助や通帳の預かり等の支援をした。

生活支援員等のスキルアップや交流等を目的に、生活支援員交流会の開催や県社協主催の生活支援員等養成研修に 2 日間参加し、生活支援員のスキルアップやモチベーションの向上に努めた。

今年度も昨年度に引き続き、契約件数が増加し、関係機関等に役割の重要性が期待されている。今後も複雑な問題を抱えた相談や世帯支援の必要性も考えられるため、一人ひとりにあった支援を迅速に提供し、関係機関との情報交換や支所との連携を深める。また、契約締結審査会等も有効に活用して支援体制を強化していく。

① 相談・支援状況

(令和7年3月末現在)

問い合わせ・契約者対応件数・・・8,690件			
契約終了者	新規契約者	利用者（内生活保護）	生活支援員
11名	20名	78名（31名）	24名
利用者内訳	認知症 15名、知的障害 37名、精神障害 23名、その他 3名		
	旧尾道地域 46名、御調地域 5名、向島地域 6名、因島地域 16名、瀬戸田地域 5名		

② 研修会等

ア 職員研修等

開催日	内 容
4月16日(火)	ケアホームひだまり運営推進会議
4月23日(火)	因瀬民児協連絡会議
5月16日(木)	令和6年度中核機関体制整備・強化機能研修（第1回）
5月22日(水)	因瀬民児協連絡会議
6月3日(月)	かけはし基本研修
6月4日(火)	尾道市地域共生包括化推進会議（権利擁護部会）
6月7日(金)	第1回かけはし担当課長等会議
6月19日(水)	かけはし・法人後見事業推進会議
7月11日(木)	令和6年度中核機関体制整備・強化機能研修（第2回）
7月24日(水)	因瀬民児協連絡会議
8月6日(火)	尾道市地域共生包括化推進会議（権利擁護部会）
8月23日(金)	因瀬民児協連絡会議
8月28日(水)	令和6年度中核機関体制整備・強化機能研修（第3回）
9月3日(火)	第13区民児協勉強会
9月5日(木)	第16区民児協勉強会
9月21日(土)	令和6年度権利擁護普及・啓発講座
9月25日(水)	因瀬民児協連絡会議
10月1日(火)	令和6年度第1回生活支援員フォローアップ研修（第1日目）
10月8日(火)	尾道市地域共生包括化推進会議（権利擁護部会）
10月10日(木)	尾道市人権啓発推進プラン検討委員会
10月15日(火)	令和6年度第2回生活支援員フォローアップ研修（第2日目）
10月23日(水)	因瀬民児協連絡会議
10月28日(月)	令和6年度意思決定支援研修（1日目）
10月31日(木)	令和6年度中核機関体制整備・強化機能研修（第4回）
11月14日(木)	依存症対策支援者スキルアップ研修
12月3日(火)	尾道市人権啓発推進プラン検討委員会
12月6日(金)	（公社）成年後見センター・リーガルサポート設立25周年記念シンポジウム
12月10日(火)	尾道市地域共生包括化推進会議（権利擁護部会）
12月13日(金)	令和6年度意思決定支援研修（2日目）
12月17日(火)	令和6年度意思決定支援研修（2日目）
12月20日(金)	令和6年度第2回かけはし事業推進会議
1月8日(水)	第16区民児協定例会
1月15日(水)	まるごと相談会
1月29日(水)	因瀬民児協連絡会議
2月4日(火)	尾道市地域共生包括化推進会議（権利擁護部会）

2月20日(木)	尾道市民児協会会長会議
2月26日(水)	第22回成年後見制度推進団体連絡会
2月26日(水)	尾道市人権啓発推進プラン検討委員会
2月27日(木)	因瀬民児協連絡会議
2月27日(木)	災害シミュレーション
3月24日(月)	因瀬民児協連絡会議

イ 支援員研修

開催日	内 容	参加者
① 10月1日(火)	令和6年度第1回生活支援員フォローアップ研修 (県社協主催 第1日目)	10名
② 10月15日(火)	令和6年度第2回生活支援員フォローアップ研修 (県社協主催 第2日目)	12名
③ 2月21日(金)	かけはし生活支援員研修会(本会主催)	10名

(4) 法人後見事業

法人後見人として4件受任している。成年被後見人が安心した生活が送れるよう支援を進めている。

① 受任件数 (令和7年3月末現在)

補 助	保 佐	後 見	法人後見支援員
0名(件)	0名(件)	4名(件)	6名
利用者内訳	認知症高齢者3名、知的障害者1名 尾道地域1名、向島地域2名、因島地域1名		
延べ支援回数	専門員：銀行支援回数41回、訪問回数38回、電話対応回数330回、ケア会議・同行・窓口対応等195回、死後事務0件 支援員：銀行支援回数23回、訪問回数20回、電話対応回数14回、ケア会議・同行・窓口対応等10回		

② 新規受任件数・終了件数

内 訳	後見等新規受任件数(件)				後見等終了件数(件)				終了理由
	後見	保佐	補助	計	後見	保佐	補助	計	
	0	0	0	0	0	0	0	0	

③ 研修会等への参加

関係機関との連携やスキル向上のため、次の研修会や会議等に参加した。

- ア 令和6年度第1回かけはし事業・法人後見事業推進会議
- イ 令和6年度かけはし専門員・法人後見担当者等研修
- ウ 令和6年度第2回法人後見事業推進会議
- エ 第22回成年後見制度推進団体連絡会議

- オ 令和6年度中核機関体制整備に向けた市町研修会
- カ 令和6年度家事関係機関との連絡協議会
- キ おのまる会議（権利擁護部会）

④ セミナー等開催

開催日	場 所	内 容
3月18日（火）	総合福祉センター	内容：令和6年度権利擁護セミナー 成年後見人の業務を知ろう！ ～成年後見制度をより分かりやすく～ 講師：県立広島大学 保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース 講師 手島 洋さん 実践報告者：広島司法書士会 （公社）成年後見センター・リーガルサポート 広島県支部所属 司法書士 亀谷昌宏さん （公社）広島県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあひろしま 社会福祉士 安棟みささん 参加者 71名

（5）認知症高齢者見守り事業

在宅で暮らす認知症高齢者や介護している家族等に対し、やすらぎ支援員を派遣し支援する事業。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、支援を必要としている人に情報が伝わるよう事業の周知を図った。ニーズに合わせた支援を行うことで信頼関係を築き、利用者本人の生きがい感の向上、家族の心身のリフレッシュにつながった。また、やすらぎ支援員研修会を開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図った。あわせて2か月に1回偶数月に在宅介護者の集いを開催した。

区 分	旧尾道	向島	御調	因島	瀬戸田	合 計
年間利用者数(人)	73	8	10	13	9	113
年間活動実績回数	1,015	106	99	149	95	1,464
登録やすらぎ支援員(人)	59	16	14	8	13	110

① やすらぎ支援員研修会

開催日	場 所	内 容
5月1日（水）	総合福祉センター	認知症高齢者見守り事業について 交流会 ～活動における情報交換～ 参加者 29名
10月31日（木）	総合福祉センター 他4会場	「傾聴の技法」～こころの声に耳をすませて～ 講師：臨床心理士・公認心理師 浮田明子さん 参加者 57名

※10/31 は、総合福祉センター、御調保健福祉センター、向島愛あいセンター、因島福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をつないだリモート開催

② 認知症講演会

開催日	場 所	内 容
11月9日(土)	市民センターむかいしま文化ホール	内容：認知症にやさしいまちづくり講演会 「絶対介護時代」 ～あなたも必ず介護する人、される人～ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科学科長、一般社団法人広島県介護福祉士会会長 吉岡俊昭さん 参加者 約240名
12月14日(土)	総合福祉センター4階大会議室	内容：「身近な人が認知症になった時に」 ～認知症基本法元年～ 講師：メープルヒル病院 院長 石井信弥さん 内容：介護体験談 「夫へ感謝の気持ちをこめて～そして、父の介護から学ぶ」 講師：家族の会広島県支部 若年性認知症担当 堀操さん 参加者 121名

③ 在宅介護者の集い

開催日	場 所	内 容	参加者
4月23日(火)	総合福祉センター	ミニ講話「消費者被害について」 介護者同士の情報交換・交流会	21名
6月25日(火)	総合福祉センター	「高齢者の栄養について」 講師：健康推進課 管理栄養士 村上直子さん 介護者同士の情報交換・交流会	25名
8月27日(火)	総合福祉センター	尾道市認知症の人と家族の会紹介 介護者同士の情報交換・交流会	17名
10月22日(火)	総合福祉センター	介護の日イベント「認知症の症状の理解～在宅介護とその先～」 介護者同士の情報交換・交流会	29名
12月17日(火)	総合福祉センター	ミニ講話「高齢者の家庭内事故、みんなで見直し防ぎましょう！」 介護者同士の情報交換・交流会	18名
2月25日(火)	総合福祉センター	公開講座「認知症のある方の金銭管理が不安になったら」～成年後見人等の役割から学ぶ大切な事～ 講師：みはらしさぽーと行政書士事務所 三原尾道相続遺言相談センター 専門職後見人の行政書士 中野辰悟さん	22名

【成果】

- ・ やすらぎ支援員が訪問を重ねることで笑顔のなかった利用者が支援員の訪問を楽しみに待つようになり、生きがい感の向上につながることができた。
- ・ やすらぎ支援員研修会を開催し、事業目的や成果の確認を通して、やすらぎ支援員の活動意欲の向上につながった。
- ・ 2か月に1回「在宅介護者の集い」を開催し、介護者の日頃のストレスを発散し悩みや思いを打ち明け、自分自身の介護について振り返るよい機会となった。

【課題】

- ・ 認知症の基礎知識や傾聴の技法に関する研修会を継続的に開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図っていく必要がある。
- ・ やすらぎ支援員やケアマネジャーとの連携、情報交換を密に行い、チームの一員としての視点をもてるよう、やすらぎ支援員を多面的にサポートしていく必要がある。

（6）認知症サポーター養成事業

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し「認知症サポーター養成講座」を開催。認知症について正しく理解し認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」が 637 名誕生し、市内の認知症サポーターは合計 22,077 名となった。

また、小・中・高等学校でも認知症サポーター養成講座に取り組み、116 名の学生サポーターが新たに誕生し、市内の学生サポーターは合計 6,039 名となった。

講座開催に向けては、その講師役となる「キャラバン・メイト」の連絡会を定期的に開催し、講座の振り返りとともに講座内容の検討を行う等スキルアップを図った。

年間 71 講座を開催し、そのうち年間 57 講座に寸劇やロールプレイを取り入れ、「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会」「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会因島グループ」としてチームで講座を担当し、受講者の心に響く講座となるよう工夫した。

認知症サポーター養成講座終了後には、おのみち見守りネットワーク徘徊等 SOS 情報メールや尾道市認知症サポーターのステッカー等について情報発信し普及啓発に努めた。あわせて『オレンジメイト』への登録を呼びかけ、年間 21 名の登録があり累計 512 名となった。

キャラバン・メイトが、オレンジカフェの開催やおのみち見守り訓練、オレンジネットワーク会議、認知症にやさしいまちづくり講演会、オレンジカフェ連絡会、チームオレンジの整備、チームオレンジ連絡会等に積極的に関わり、認知症事業推進の一翼を担った。

① 認知症サポーター養成講座

尾道市内 71 か所で開催（参照「開催一覧表」）

② キャラバン・メイト連絡会

開催日	内 容	参加者
4月 11 日（木）	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定、総会について	10 名

4月 25 日 (木)	役員会	7 名
5月 9 日 (木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、声かけのロールプレイングについて	8 名
6月 13 日 (木)	総会&尾道グループと因島グループの交流会 研修会「チームオレンジの取り組み、新教材について」	18 名
6月 13 日 (木)	活動の振り返り、今後の活動予定	13 名
7月 4 日 (木)	ステップアップ研修「認知症予防について」講演会参加	6 名
7月 11 日 (木)	見守り訓練について、令和 6 年度キャラバン・メイト養成研修について	7 名
8月 8 日 (木)	講座進行資料の共有、見守り訓練について	7 名
8月 21 日 (水)	因島Gの認知症サポーター養成講座見学	8 名
9月 5 日 (木)	新規キャラバン・メイト紹介、見守り訓練について	10 名
10月 10 日 (木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定	9 名
11月 7 日 (木)	認知症の人と家族の会講演会の情報共有、尾道市オレンジカフェ連絡会について	8 名
12月 12 日 (木)	尾道市オレンジカフェ連絡会、配布テキスト添付プリントについて	7 名
1月 9 日 (木)	見守り訓練、尾道市オレンジカフェ連絡会について	8 名
2月 13 日 (木)	見守り訓練の振り返りについて	8 名
3月 13 日 (木)	交流会、多様な通い場のフォーラムでの発表の鑑賞と共有、第 7 回尾道市オレンジカフェ連絡会の振り返り、令和 7 年度ふれあいサロン講師派遣依頼について	11 名

【因島グループ】

開催日	内 容	参加者
4月 4 日 (木)	活動の振り返り、今後の活動予定、新テキスト資料について	8 名
5月 30 日 (木)	活動の振り返り、今後の活動予定、新テキストの確認、寸劇の変更について	7 名
8月 1 日 (木)	活動の振り返り、今後の活動予定、因島医師会生活習慣病予防講演会（認知症予防について）について	6 名
10月 3 日 (木)	活動の振り返り、今後の活動予定等について	6 名
12月 5 日 (木)	活動の振り返り、今後の活動予定、認知症テキストはせこみ資料見直しについて	7 名
2月 6 日 (木)	活動の振り返り、今後の活動予定、令和 7 年度養成講座（サロン）の日程確認について、令和 7 年度定例会の日程について、講師の代替について	7 名

③ 認知症啓発イベント活動

開催日	内 容 等
9月 1 日 (日) ～30 日 (月)	世界アルツハイマーデー月間パネル展示啓発活動 のぼり旗、認知症啓発グッズなど提供連携

④ 認知症関係事業への参加協力

開催日	場 所	内 容 等	参加者
7月 16 日 (火)	ビロードの丘 1 階会	オレンジメンバー会議（南部圏域因	11 名

	議室	島) 振り返り、今後の予定	
10月16日(水)	栗北公民館	オレンジネットワーク会議(北部圏域) 尾道市の認知症施策と現状について、グループワーク等	30名
10月22日(火)	ビロードの丘 2階 研修室	オレンジメンバー会議(南部圏域因島) 尾道市の認知症施策とGPSについて等	11名
12月10日(火)	向島愛あいセンター 2階 第2会議室	オレンジネットワーク会議(向島圏域) 島内のオレンジカフェ紹介、グループワーク等	38名
1月21日(火)	ビロードの丘 1階 会議室	オレンジメンバー会議(南部圏域因島) 振り返り、DVD鑑賞等	8名

⑤ 認知症サポーター認定所

認知症サポーター養成講座を受講した小売店や事業所、認知症サポーターが経営する個人商店等を認知症サポーター認定所として登録、ホームページに掲載。

登録認定所数：203 か所

【成果】

- ・ 地域や職域、学校等で認知症サポーター養成講座を年間 71 講座開催し、認知症について正しい理解を深めることができた。
- ・ 尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会としてチームで講座を担当し、心に響く講座を実施することができた。

【課題】

- ・ 町内会等、きめ細かい認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。
- ・ 各学校での講座を積極的に働きかけ、子どもの時から認知症について正しく理解し、高齢者を敬う心を養っていく必要がある。
- ・ 「オレンジメイト」が、認知症カフェの開催やチームオレンジの取り組みなど、地域での活動に結び付くような働きかけを継続しておこなっていく必要がある。

【認知症サポーター養成講座 開催一覧】

(敬称略)

回	地区	開催日	開催団体	開催場所	劇	参加人数 ＊		キャラバン・メイト
1	尾	4月26日(金)	尾道会場	尾道市総合福祉センター4階集団指導室	×	39	20	連絡会
2	御	5月9日(木)	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	○	13	1	連絡会
3	尾	5月14日(火)	オレンジカフェサンサンくぼ	いきいきサロン久保	×	26	1	連絡会
4	尾	5月15日(水)	ゆうゆうサロン彦二	向島リーフ	○	34	27	連絡会
5	尾	5月16日(木)	ふれあいサロン矢立	いきいきサロン矢立	×	23	3	連絡会
6	尾	5月17日(金)	駅かふえ	東部公民館高須南分館	○	38	14	連絡会

7	御	5月22日(水)	市地区ふれあいサロン	市公民館	○	31	17	連絡会
8	御	5月24日(金)	河内ふれあいサロン	河内公民館	○	39	13	連絡会
9	尾	6月4日(火)	かぐら浦崎カフェ	浦崎公民館	○	22	8	連絡会
10	尾	6月5日(水)	ふれあいサロン梶山田	旧 JA 原田出張所	○	33	5	連絡会
11	因	6月12日(水)	ふれあいサロンハッスル (スキルアップ)	三庄ふれあいセンター	○	16	0	連絡会 (因島 G)
12	御	6月20日(木)	尾道身体障害者の会御調支部	ふれあいの里	○	21	11	連絡会
13	因	6月21日(金)	九区サロン	九区会館	○	23	1	連絡会 (因島 G)
14	尾	6月25日(火)	モリングア	迎賓館	○	23	11	連絡会
15	尾	6月26日(水)	さくらんぼ	いきいきサロン新高山	○	39	9	連絡会
16	尾	7月1日(月)	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	○	29	1	連絡会
17	尾	7月8日(月)	サロンきぼう (スキルアップ)	サロンきぼう	×	10	0	連絡会
18	尾	7月13日(土)	ふれあいサロンぼたん (スキルアップ)	日比崎公民館	○	27	0	連絡会
19	尾	7月17日(水)	コミュニティ大町 (スキルアップ)	大町公民館	○	20	0	連絡会
20	向	7月20日(土)	立花地区子ども会親子	立花公民館	○	29	19	連絡会
21	尾	8月6日(火)	ふれあいサロン歌	歌公民館	×	32	7	連絡会
22	瀬	8月6日(火)	名荷ふれあいサロン	名荷公民館	○	19	2	連絡会 (因島 G)
23	尾	8月19日(月)	ふれあいサロン松岡団地	松岡団地集会所	×	14	1	連絡会
24	瀬	8月21日(水)	微助っ人 (スキルアップ)	瀬戸田光照	○	27	0	連絡会 (因島 G)
25	因	8月21日(水)	重井地区社会福祉協議会	重井公民館	○	75	54	連絡会 (因島 G)
26	尾	9月3日(火)	三美園団地ふれあいサロンひだまり	いきいきサロン三美園	○	32	14	連絡会
27	向	9月11日(水)	宇立いきいきサロン (スキルアップ)	宇立公民館	○	18	0	連絡会
28	御	9月12日(木)	サロンうぐいす	川西集会所	○	21	1	連絡会
29	御	9月25日(水)	御調西小学校5年生	御調西小学校	○	15	9	連絡会
30	因	9月26日(木)	サロンなごみ	西区区民館	○	22	11	連絡会 (因島 G)
31	尾	9月28日(土)	尾道会場	尾道市総合福祉センター 4階集団指導室	○	18	4	連絡会
32	因	10月4日(金)	田熊保健推進委員	田熊公民館	○	21	13	連絡会 (因島 G)
33	瀬	10月8日(火)	林いきいきサロン	林公民館	○	27	5	連絡会 (因島 G)

34	尾	10月16日(水)	木ノ庄東ふれあいサロン	木ノ庄東公民館	○	23	2	連絡会
35	御	10月23日(水)	仁野ハッピースマイル会	仁野福祉会館	×	7	5	連絡会
36	因	10月28日(月)	因北小学校4年生	因北小学校	○	55	50	連絡会 (因島G)
37	尾	10月29日(火)	尾道福祉専門学校	尾道福祉専門学校	○	29	20	連絡会
38	因	10月29日(火)	因島会場	はっさく交流館	○	25	14	連絡会 (因島G)
39	御	10月30日(水)	今津野地区社会福祉協議会	今津野公民館	○	26	7	連絡会
40	因	11月6日(水)	因島高校	因島高校	○	13	7	連絡会 (因島G)
41	因	11月15日(金)	サロン宝陣	宝陣集会所	○	28	1	連絡会 (因島G)
42	尾	11月19日(火)	新田ふれあいサロン	新田公民館	○	18	5	連絡会
43	尾	11月20日(水)	商店街サロンどんぐりの会	もりあげ隊	×	18	4	連絡会
44	向	11月27日(水)	中富なかよし会	中富コミュニティセンター	○	43	11	連絡会
45	尾	12月9日(月)	土堂ふれあいサロン ほっとかん・土堂小学校4年生	土堂公民館	○	46	38	連絡会
46	尾	12月13日(金)	フレンド大宮	いきいきサロン久保	○	22	1	連絡会
47	御	12月16日(月)	健康学びあい講座	御調保健福祉センター	○	28	10	連絡会
48	尾	12月25日(水)	いきいきサロン新浜 (スキルアップ)	いきいきサロン新浜	○	13	0	連絡会
49	尾	1月20日(月)	村上記念病院①	村上記念病院	×	15	12	連絡会
50	尾	1月20日(月)	村上記念病院②	村上記念病院	×	23	19	連絡会
51	因	1月22日(水)	へんろ茶屋	へんろ茶屋	○	16	2	連絡会 (因島G)
52	尾	1月24日(金)	村上記念病院③	村上記念病院	×	21	17	連絡会
53	尾	1月24日(金)	村上記念病院④	村上記念病院	×	13	10	連絡会
54	御	1月28日(火)	御調中央小学校6年生	御調中央小学校	○	36	29	連絡会
55	向	1月29日(水)	向島こども図書館	向島こども図書館	○	21	14	連絡会
56	向	2月3日(月)	立花いきいきサロン	いきいきサロン立花	○	23	1	連絡会
57	因	2月4日(火)	重井小学校3年生	重井小学校	○	14	9	連絡会 (因島G)
58	因	2月7日(金)	すこやかサロン	小田浦集会所	○	12	1	連絡会 (因島G)
59	尾	2月11日(火)	サロン住吉	下組集会所	○	22	6	連絡会
60	瀬	2月18日(火)	宮原ほのぼのサロン	生口島開発センター	○	15	6	連絡会 (因島G)
61	御	2月19日(水)	ふれあいサロン三郎丸 (スキルアップ)	三郎丸集会所	○	13	0	連絡会
62	尾	2月22日(土)	尾道会場	尾道市総合福祉センター 4階集団指導室	×	32	16	連絡会

63	尾	2月27日(木)	およねサロン	横路公民館	○	15	7	連絡会
64	因	2月28日(金)	大浜地区認知症勉強会(スキルアップ)	いきいきサロン大浜	×	31	0	連絡会(因島G)
65	向	3月8日(土)	西富浜ふれあいサロン	西富浜ふれあいセンター	○	40	3	連絡会
66	因	3月12日(水)	脳いきいきひよこ会	竹長区民館	○	17	2	連絡会(因島G)
67	尾	3月15日(土)	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	○	35	9	連絡会
68	因	3月17日(月)	サロン外浦	外浦集会所	○	37	1	連絡会(因島G)
69	御	3月18日(火)	大和地区ふれあいサロン	大和公民館	○	16	3	連絡会
70	尾	3月19日(水)	竹屋団地ふれあいサロン会	竹屋団地集会所	○	14	12	連絡会
71	御	3月25日(火)	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	○	18	1	連絡会
				計		57	1,769	637

注. *参加人数の左は全数、右は内数で初めて参加した人数

(7) 認知症カフェ推進事業

認知症の人ができるだけ住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、様々な主体が地域で自主的に運営する認知症カフェの取り組みを推進する事業。今年度は、新たな認知症カフェが1か所開設し、合計31か所の認知症カフェが開設。主催者内訳は、地域住民主催が21か所、介護事業所主催が5か所、医療機関主催が5か所となる。

年間317回の認知症カフェを開催し、合計7,047名の参加があった。その内、5,745名が実績助成金交付対象者に該当し、一人当たり100円の実績助成金を交付した。

今年度開催したカフェは、市内全31か所の内、介護事業所主催の2か所を除く29か所である。

① 新規認知症カフェの立ち上げ支援

開設検討会議を開催し、今年度西部圏域に「やまびこカフェ」が1か所新規開設。北部圏域では1か所、介護事業所が開設を検討中。

名 称	開設日	開催日	場 所
やまびこカフェ	4月2日(火)	第1火曜日	中央公民館久山田分館

② 既存認知症カフェの支援

年間96回各認知症カフェに出向き、カフェの運営や反省会等、開設運営方法等についての側面支援を行った。また、参加者の緊急時への対応として「カフェ安心カード」を紹介し、主催者や参加者の安心・安全につながっている。

③ 認知症カフェ連絡会

開催日	内 容 等	参加者
2月10日（月）	東部圏域オレンジカフェ連絡会 会場：東部公民館 内容：東部圏域オレンジカフェの活動状況について 意見交換・交流会	24名
2月26日（水）	第7回尾道市オレンジカフェ連絡会 会場：尾道市総合福祉センター4階 大会議室 内容：講演「傾聴の技法～こころの声に耳をすませて～」 講師：臨床心理士・公認心理師 浮田明子さん 傾聴についての振り返り、意見交換・交流会	89名

④ 認知症カフェ普及啓発活動

開催日	内 容 等	参加者
10月19日（土）	出張カフェ（オレンジカフェこれから） 会場：市民センターむかいしま 内容：むかいしま健康福祉まつりにて、カフェの周知啓発	34名

⑤ おのみち福祉まつりパネル展示

31か所のカフェの内10か所から展示希望あり、パネル展示を行った。

開催日	内 容
10月20日（日）	内容：各カフェの取り組み紹介（10か所） 【北部圏域2件】ありがとう三成、耳をすませて 【東部圏域1件】シニア・カフェ西しんがい 【西部圏域1件】オレンジカフェ吉浦 【中央圏域2件】やすらぎカフェ、きららカフェ 【向島圏域2件】オレンジカフェこれから、オレンジカフェ天女浜 【南部圏域（因島）2件】しまの輪カフェ、歌声カフェ

【成果】

- ・ 地域住民主催の認知症カフェは、認知症の方やその家族が居心地良くくつろげる場として、また虚弱・閉じこもりがちな人の居場所として、認知症をキーワードとした認知症の人にやさしい地域づくりの拠点となっている。さらに、軽度認知症と思われる人に支援者が早くに出会う場となっている。
- ・ 医療介護の専門職主催による認知症カフェでは、その強みを活かした勉強会や相談機能の充実が図られている。
- ・ 認知症カフェ連絡会やオレンジネットワーク会議を通して、カフェの意義や目的の再確認とともに、運営方法等について改めて振り返ることができた。
- ・ 各圏域の地域包括支援センターとの連携が、充実した認知症カフェ開催につながっている。

【課題】

- ・ 各包括圏域別や主催者別の交流会を細やかに開催し、認知症カフェの意義、目的の再確認を行うとともに、主催者の士気向上を図っていく必要がある。
- ・ 新規カフェ開設に向けて、引き続き地域包括支援センターと連携していく必要がある。

[認知症カフェ開設一覧]

(名)

番号	カフェの名称 (主催団体)	開催日時	開催場所 (住所)	参加 人数
		参加費		
1	オレンジカフェ長江 (明德町内会・ケアホーム長江)	第3木曜日 13:30～15:00 無し	長江公民館 1 階会議室 (尾道市長江二丁目 10-34)	0
2	菜の花カフェ (チームオレンジ菜の花)	第4月曜日 10:00～12:00 100 円	小林宅 (尾道市高須町 3794)	232
3	とまり木カフェ (公立みつぎ総合病院)	第3木曜日 13:30～15:00 100 円	御調保健福祉センター 2 階 機能訓練室 (尾道市御調町市 107-1)	161
4	オレンジカフェ商店街 (尾道市認知症の人と家族の会)	第1・2金曜日 13:00～15:00 無し	本通り もりあげ隊 内 (尾道市土堂二丁目 3-29)	383
5	オレンジカフェむかいしま♥ 愛あい (オレンジメイト♥愛あい)	第4木曜日 10:00～11:30 100 円	向島愛あいセンター (尾道市向島町 5888-1)	409
6	オレンジカフェ福祉センター・友 (オレンジメイト・友)	第2水曜日 13:30～15:00 100 円	尾道市総合福祉センター 1 階和室 (尾道市門田町 22-5)	356
7	シニア・カフェ西しんがい (高須町西新涯町内会)	第2金曜日 13:30～15:30 100 円	高須町西新涯町内会集会所 (尾道市高須町西新涯)	337
8	こころカフェ (医療法人社団はっぴねす)	第2木曜日 13:00～14:30 100 円	こころ尾道駅前クリニック 6 階 (尾道市土堂一丁目 11-6)	150
9	オレンジカフェむかいひがし (オレンジメイトむかいひがし)	第3月曜日 10:00～11:30 100 円	サンボル尾道 分館 (尾道市向東町 8670-2)	377
10	やすらぎカフェ (尾道市医師会 介護老人保健施設 やすらぎの家)	月末営業日 13:30～15:00 無し	介護老人保健施設 やすらぎの家 (尾道市久保町 1718)	130
11	レモンカフェ (ボランティアレモン)	第4金曜日 13:00～15:00 無し	出口宅 (尾道市瀬戸田町垂水 1411-1)	145

12	オレンジカフェびんご倶楽部 びんご茶屋 ((有)ブレイクスルー びんご倶楽部)	不定期 無し	びんご倶楽部 (尾道市因島三庄町 3472)	0
13	因島医師会ビロードカフェ (一社)因島医師会)	第4土曜日 13:30~15:00 100円	ビロードの丘2階研修室 (尾道市因島中庄町 1955)	220
14	耳をすませて (オレンジメイト茶話駄)	第2火曜日 13:30~15:00 100円	貝ヶ原集会所 (尾道市御調町貝ヶ原 478-2)	216
15	オレンジカフェおお〜いで (星の里・今津野の家)	第4金曜日 10:00~11:00 100円	星の里・今津野の家 (尾道市御調町津蟹 611-4)	0
16	きららカフェ (きららラポール尾道)	第3木曜日 13:30~15:00 100円	きららラポール尾道 (尾道市十四日町 59-8)	116
17	かぐら 浦崎カフェ (チームオレンジかぐら)	第1火曜日 10:00~11:30 100円	浦崎公民館 (尾道市浦崎町 2102-5)	286
18	しまの輪カフェ (しまの輪会)	第2土曜日 13:30~15:00 100円	ケアホームひだまり (尾道市因島中庄町 3805-1)	139
19	喫茶かたふじ (オレンジメイトかたふじ)	第2月曜日 13:30~15:00 100円	いきいきサロン高根 潮香園 (尾道市瀬戸田町高根 595)	233
20	オレンジカフェこれから (オレンジメイト岩子島)	第3月曜日 13:30~15:30 100円	めだかの学校 (尾道市向島町岩子島 148-1)	353
21	ひかりカフェ原田 (福)原田ヒカリ会 高齢者 総合ケアセンターひかり苑)	第3水曜日 15:00~16:00 無し	住宅型有料ホームひかり苑 (尾道市原田町梶山田 3581-1)	207
22	カフェ「集」 (医療法人社団 精彩会)	第3土曜日 13:30~15:00 100円	地域ネットワークコミュニティ「集」 (ニチエー三成店敷地内)	157
23	オレンジカフェひだまり (オレンジメイトひだまり)	第1木曜日 13:30~15:00 100円	江奥コミュニティセンター (ひだまり交流館) (尾道市向島町 1919-2)	212
24	オレンジカフェみにみに (オレンジメイトみにみに)	第2木曜日 10:00~11:20 無し	寺内公民館 (尾道市向東町 2621-1)	171
25	歌声カフェ (歌声カフェ運営委員会)	第3木曜日 13:30~15:00 100円	重井公民館 (尾道市因島重井 2978)	262
26	オレンジカフェ天女浜 (オレンジメイトはごろも)	第3木曜日 13:30~15:00	天女浜公民館 (尾道市向東町天女浜 925-)	227

		無し	2)	
27	駅かふえ (ボランティアはなみずき)	第3金曜日 10:00～11:30 100円	東部公民館高須南分館 (尾道市高須町4750-2)	475
28	オレンジカフェサンサンくぼ (久保地区社会福祉協議会)	第2火曜日 10:00～11:40 100円	いきいきサロン久保 (尾道市西久保町24-23)	283
29	ありがとう三成 (オレンジメイトありがとう)	第1水曜日 10:00～11:30 100円	中国鍼灸ビル1階 (尾道市美ノ郷町三成874-1)	133
30	オレンジカフェ吉浦 (チームオレンジ吉浦)	第3日曜日 13:30～15:00 100円	いきいきサロン吉浦 (尾道市吉浦町26-26)	294
31	やまびこカフェ (チームオレンジやまびこ)	第1火曜日 10:00～11:30 無し	中央公民館久山田分館 (尾道市久山田町33-3)	413

※ 令和7年3月末現在／開設の早い順に記載

(8) 尾道市チームオレンジ整備事業

認知症になっても安心して自分らしく暮らし続けることができる共生の地域づくりを推進することを目的に、認知症の人や家族のニーズ・困りごとに対して認知症サポーターや本人・家族、地域、専門職等が一緒になって考え支援をつなぐ仕組みである「チームオレンジ」を地域ごとに整備する事業。

今年度、新たに「チームオレンジかぐら」を正式登録。令和5年度に登録された4チームと合わせ、令和6年度には5か所のチームオレンジが整備された。

5か所のチームオレンジ総地域活動回数は113回、総連携（つないだ）人数は88人。

登録順	登録年月日	チーム名称	包括圏域
①	令和5年10月1日(日)	チームオレンジ菜の花	東部圏域
②	令和6年2月6日(火)	チームオレンジやまびこ	西部圏域
③	令和6年2月18日(日)	チームオレンジ吉浦	西部圏域
④	令和6年3月1日(金)	チームオレンジひだまり	中央圏域
⑤	令和6年11月5日(火)	チームオレンジかぐら	東部圏域

① 尾道市との協議

2年目の事業推進に向け、初年度1年間の事業報告と課題の共有を図り、活動報告書の見直し及び市提出への実績報告書の様式変更等を行い、事業推進に向けての基盤を固めた。

開催日	場 所	内 容	参加者
6月7日(金)	尾道市役所	第5回尾道市との協議	7名
8月23日(金)	尾道市役所	第6回尾道市との協議	5名

② 「チームオレンジ菜の花」の取り組み

菜の花カフェを拠点にチームオレンジを整備

ア 活動内容

- ・地域：菜の花カフェ、笑食の会の開催、見守り訓練の実施
- ・個人：電話、訪問、見守り・声かけ、外出支援、来宅

イ 活動回（人）数

- ・地域活動延回数 25 回（菜の花カフェ 12 回、笑食の会 12 回、見守り訓練 1 回）
- ・連携延人数 8 人

連携先：地域包括支援センター、介護事業所

ウ リーダー会議（2～4 か月に 1 回）の開催（4 回）

エ 令和 6 年度多様な通いの場のフォーラムにてチームオレンジ菜の花の取り組み発表

日時：令和 7 年 3 月 11 日（火）13 時 00 分～15 時 00 分

会場：広島県医師会館

③ 「チームオレンジやまびこ」の取り組み

オレンジカフェ（認知症カフェ）開設にあたりチームオレンジを整備

ア 活動内容

- ・地域：やまびこカフェの開催
- ・個人：電話、訪問、見守り・声かけ

イ 活動回（人）数

- ・地域活動延回数 11 回（やまびこカフェ 11 回）

ウ リーダー会議の開催（2 回）

④ 「チームオレンジ吉浦」の取り組み

オレンジカフェ（認知症カフェ）開設にあたりチームオレンジを整備

ア 活動内容

- ・地域：オレンジカフェ吉浦の開催
- ・個人：電話、見守り・声かけ、生活支援

イ 活動回（人）数

- ・地域活動延回数 12 回（オレンジカフェ吉浦 12 回）
- ・連携延人数 1 人

連携先：地域包括支援センター

ウ リーダー会議の開催（1 回）

⑤ 「チームオレンジひだまり」の取り組み

サロン「ひだまり防地」を拠点にチームオレンジを整備

ア 活動内容

- ・地域：サロン、カフェの開催、地域行事等へ参加協力
- ・個人：電話、訪問、見守り・声かけ、生活支援、外出支援

イ 活動回（人）数

- ・地域活動延回数 60 回（サロン 31 回、カフェ 10 回、地域行事等 19 回）

- ・連携延人数 77 人
連携先：地域包括支援センター、ケアマネ、民生委員、介護事業所、市社協、かかりつけ医
- ウ リーダー会議（1～4か月に1回）の開催（5回）
- エ 支合せコネくぼとの連携会議（1回）

⑥ 「チームオレンジかぐら」の取り組み

- かぐら浦崎カフェを拠点にチームオレンジを整備
- ア チームオレンジ事前説明会・立ち上げ検討会議の開催（5回）
- イ ステップアップ講座の受講（2回）
- ウ 活動内容
 - ・地域：かぐら浦崎カフェの開催
 - ・個人：電話、訪問、見守り・声かけ、生活支援、外出支援
- エ 活動回（人）数
 - ・地域活動延回数 5 回（かぐら浦崎カフェ 5 回）
 - ・連携延人数 2 人
連携先：民生委員
- オ リーダー会議（1～2か月に1回）の開催（4回）
- カ 一般社団法人 UME プロジェクトとの連携会議（4回）
- キ 送迎体験の実施（1回）

⑦ 第1回尾道市チームオレンジ連絡会の開催（1回）

[チームオレンジ登録一覧]

包括 圏域	地域	番号 (登録順)	登録年月日	チーム名 (運営母体)	活動拠点	活動内容
東 部 圏 域	高 須	①	R5.10.1	チームオレンジ菜の花 (菜の花カフェ)	小林宅	【地域】菜の花カフェ、笑食の会、見守り訓練の実施
						【個人】電話、訪問、見守り・声かけ、外出支援、来宅、連携(つなぎ)
西 部 圏 域	久 山 田	②	R6.2.6	チームオレンジやまびこ (やまびこカフェ)	中央公民館 久山田分館	【地域】やまびこカフェ
	吉 浦	③	R6.2.18	チームオレンジ吉浦 (オレンジカフェ吉浦)	いきいき サロン吉浦	【個人】電話、訪問、見守り・声かけ
						【地域】オレンジカフェ吉浦
						【個人】電話、見守り・声かけ、生活支援、連携(つなぎ)

中央圏域	久保	④	R6.3.1	チームオレンジひだまり (久保地区社会福祉協議会)	いきいき サロン防地	【地域】サロン、カフェの開催、地域行事等へ参加協力
						【個人】電話、訪問、見守り・声かけ、生活支援、外出支援、連携(つなぎ)
東部圏域	浦崎	⑤	R6.11.5	チームオレンジかぐら (かぐら浦崎カフェ)	浦崎公民館	【地域】かぐら浦崎カフェ
						【個人】電話、訪問、見守り・声かけ、生活支援、外出支援、連携(つなぎ)

※令和7年3月末現在

【成果】

- ・ チームオレンジ整備事業の周知啓発を図り、5か所のチームオレンジの整備につながった。
- ・ チームを組むことで、より一層の連帯感の深まりとともに、お互いに気かけ合い支え合う意識が醸成された。
- ・ 訪問や傾聴、電話、声かけ等を通して、認知症の人及び家族の支援ニーズを把握し、早期からの継続支援につながっている。
- ・ 地域包括支援センターや介護事業所等専門職等への連携（つなぎ）も増えてきている。

【課題】

- ・ リーダー会議等を継続し、引き続き伴走支援を行いながらチーム員の士気向上を図っていく必要がある。
- ・ カフェ開催（地域活動）を目的に立ち上がったチームオレンジについては、地域の心地よい居場所となるよう継続した支援を行うとともに、その居場所を通じた取り組みから認知症の人及びその家族の支援ニーズを把握し、個人の支援につながるよう引き続き働きかけていく必要がある。
- ・ 新たなチームオレンジの整備に向け、引き続き地域包括支援センターなど各関係機関と連携していく必要がある。
- ・ 啓発チラシ等を活用し、チームオレンジ整備事業の周知啓発をおこなっていく必要がある。

（9）住民参加型ふれあいサービス事業

暮らしの中で、ちょっとした困りごとのある人（利用会員）とお手伝いできる人（サービス会員）が、近所同士でお互いに会員となり、お互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指し、「住民参加型ふれあいサービス」を推進した。利用会員とサービス会員が、直接利用料を授受することとし、利用料は1時間700円、登録料は年間500円である。介護保険ではカバーしきれない家事援助（掃除、買い物等）、外出支援、草取り等の利用が多かった。

今年度は「はじめてのボランティア講座」を受講された方3名と、他13名がサービス

会員として新規の登録があった。また、既存のサービス会員には交流会を開催し、会員同士の交流を図り、モチベーションの向上につなげた。

① ふれあいサービス運用状況

サービス会員登録者	122 名	サービス回数	延 1,815 回
利用会員登録者	252 名	サービス時間	延 2,636 時間

② サービス会員交流会

開催日	内 容	参加者
2 月 18 日（火）	サービス会員交流会 ・ふれあいサービス実施状況の説明 ・高齢者疑似体験 ・参加者同士の情報交換	17 名

(10) 介護器具等の貸し出し事業

介護保険の対象にならない方や障害者福祉制度の給付対象にならない方、盆や年末年始などで一時退院される方、旅行などで一時使用される方などに介護器具等の貸し出しを行った。

【延べ貸出数】

器具の種類	本 所	御 調	向 島	因 島	瀬戸田	計
車椅子	161	46	44	35	47	333
ポータブルトイレ	8	0	7	2	—	17
チャイルドシート ジュニアシート	21	3	6	23	11	64
杖	3	0	—	—	—	3
計	193	49	57	60	58	417

(11) 福祉総合相談事業

専門相談（弁護士、司法書士を毎月各 1 回）を実施した。また、毎週月曜日に実施している傾聴ボランティア「コスモス」による「こころの悩みごと相談」では、年度内の相談 42 回中 35 件の電話相談があったため電話相談を継続していく。その他、日常的には、本会職員が本所及び各支所で、市民の困り事や福祉相談に応じている。

〔福祉総合相談の実績〕

相 談 事 項		件数	相談件数明細	
			電 話 (件)	来訪(件)
暮らし・ 住まい	生計	0	0	0
	日常生活	42	29	13

年金	0	0	0
職業・生業	3	0	3
住宅	0	0	0

〔専門相談の実績〕

家族	家族	5	4	1
	離婚	13	0	13
健康・医療	健康、衛生	0	0	0
	精神保健福祉	0	0	0
法律	人権、法律	17	0	17
	財産	55	0	55
	事故	1	0	1
福祉・教育	児童福祉・母子保健	0	0	0
	教育・青少年	1	0	1
	心身障害者（児）	0	0	0
	母子・父子福祉	0	0	0
	高齢者福祉	1	1	0
	社会参加	0	0	0
その他		1	1	0
合 計		139	35	104

内 訳	弁護士相談	63 件
	司法書士 相談	33 件
	合 計	96 件

こころの悩み ごと相談	43 件
----------------	------

《こころの悩みごと相談員養成講座》

こころの悩みごと相談員の養成を目的とした講座を全2回企画し、傾聴ボランティア「コスモス」会員及び一般市民が参加し、延べ41名の受講があった。

一日目は傾聴の知識や技術を講義やワークで学び、より傾聴について学びを深める機会となった。二日目は相談員と講師とのディスカッション形式で実施。相談員として携わる上で意識していることや難しいと感じること等を受講者へ伝え、現在活動中の相談員には対応における悩み等を共有できる機会となり、一般の参加者には傾聴を身近なものとして感じられる内容であった。受講後、新規4名が登録。

日 時	内 容	講 師
1月21日（火）	傾聴について【講座】	青山病院公認心理師 天満沙紀さん
2月4日（火）	傾聴について【ディスカッション】	青山病院公認心理師 天満沙紀さん 傾聴ボランティアコスモス 新谷恵さん、高田康子さん

（12）生活困窮者自立支援事業

さまざまな理由により生活に困っている方、働きたいけど働けない等不安を抱えている方、誰にも頼ることができず悩み事をひとりで抱え込んでいる方などの自立に向けた相談支援を行うため各種関係機関と連携した支援を実施した。また、経済的な困窮だけに関わらず、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方を、生活の安定と自立に向けた自立相談支援及び家計改善支援を行った。

相 談 対 応 実 績		年間合計
相談対応件数（延べ件数）		5,734
(内訳)	電話相談・連絡	2,052
	訪問・同行支援	932
	面談	1,077
	その他他機関との会議（支援調整会議以外） 他機関との電話照会・協議	1,360
	その他	313
所内会議		12
支援調整会議（プラン策定及び評価実施）		10
新規相談受付件数（総数）		309
プラン作成件数（総数）		10
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		2
利用 件数 法に基 づく 事業等	住居確保給付金	5
	一時生活支援事業	0
	家計改善支援事業	4
	就労準備支援事業	0
	就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	2
そ の 他	生活福祉資金等による貸付	4
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0
就労者数（一般就労総数）		12
うち就労支援対象プラン作成者分		2

●令和6年度くらサポセミナー

テーマ：知ってあんしん 「相続登記義務化と空き家等の対策」

開催日時：令和6年11月29日（金）10：00～12：00

開催場所：総合福祉センター4階 大会議室

参加者数：136名

講 師：司法書士法人 山本事務所 代表司法書士 山本 学 さん

目 的：令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されたことに伴い、福祉総合相談（司法書士）への相談が増加。関心が高まっている「相続登記の義務化」について、手続きや相続税、遺産分割協議などについて専門職から分かりやすく解説いただく。併せて、空き家の売買や賃貸、空き家バンクについても事例を交えて紹介し、相続や残された空き家の活用（売買、賃貸など）について考える機会を提供する。

【成果】

- ・今年度の新規相談件数は、309 件であった。生活困窮者の置かれた状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。自立支援事業においては、経済的な面だけでなく、社会的孤立の方への居場所支援や、長く失業している方や働いた経験のない不安な方へ、ハローワークや働く人全力応援ステーション（はたすて）などと連携し就労支援を行った。
- ・就労相談の結果、12名の就労が決定した。また、税金の滞納や債務の返済を計画的にできていない方に対して債務整理のため、弁護士事務所への同行支援や家計改善支援などのきめ細やかな支援を継続的に行い、家計改善に向かうことができた。その他、家計管理が困難な方には福祉サービス利用援助事業「かけはし」へつなぐなど、他事業と連携した支援を行い適切な家計管理につなげることができた。
- ・生活困窮者支援の社協独自事業の充実を図るために生活困窮者特別支援事業「きりふだ」（緊急食糧等一時支援事業、リサイクル事業、フードバンク事業及び代用品レンタル事業）を継続して実施した。その結果、緊急的な危機状況を回避するだけでなく、そこから生活課題を相談者自身と振り返り、就労活動などが円滑に進むなどスムーズな生活の立て直しにつながった。
- ・「相続登記義務化と空き家等の対策」をテーマにセミナーを開催。相談者への直接的な対応だけではなく、セミナーを通して地域で潜在化している困りごとが、相談につながる機会になった。

【課題】

- ・相談件数の増加や、相談内容の複雑化などから、多岐にわたる制度や社会資源の知識と相談員の資質の向上を目指す必要がある。
- ・複合的な課題を抱えた相談者や困難な事例が増加の一途を辿っているため、職員の負荷も大きい。一機関だけで抱えるのではなく、多機関との連携体制のほか、予防的支援の仕組みを行政や関係機関と連携し社協ならではの強みを生かしたネットワークの充実を図る中で構築していくことが継続して必要である。

① 生活困窮者特別支援事業「きりふだ」

令和3年度より実施している『き・り・ふ・だ』は、困窮状態により生活や生命の安全を図ることが困難である方を対象としている。自立に対する意欲があるにもかかわらず、環境や物品が揃っていないが故に自立に向けた就労活動や家計改善、生活改善等が困難になっている方を一時的に事業で支えることで、自立に向けた生活環境（健康面含む）を整え、且つ就労活動範囲を広げるなど、生活や生命の安全を図り確実に自立へとつなげることを目的として行った。

※「き・り・ふ・だ」は「緊急食糧等一時支援事業」、「(生活用品) リサイクル事業」、「フードバンク事業」、「代用品レンタル事業」のひと文字目を取り命名した。

ア 緊急食糧等一時支援事業

食べるもの等に困る一時的な生活困窮者・世帯に対して、食糧等を提供し、生活の自立に向けた緊急一時的な支援を行い、危機回避を図った。

(件)

	本 所	御調支所	向島支所	因島支所	瀬戸田支所	合 計
対応件数	20	6	4	2	1	33

イ (生活用品) リサイクル事業

不要となった福祉(生活)用品を「譲りたい方(譲り渡し)」と「譲ってほしい方(譲り受け)」の橋渡しを行い、福祉(生活)用品の有効活用並びに生活困窮者の生活の安定を図った。

(件)

	譲りたい	譲ってほしい	合 計
対応件数	28	9	37

ウ フードバンク事業

スーパーや企業及びNPO団体から、フードバンクに寄付を受けた食糧等を無償提供し、生活の自立や継続的な福祉活動の実施につなげ地域福祉の向上を図った。

(件)

提供件数	406
------	-----

エ 代用品レンタル事業

生活の維持や就労活動に必要な物を代用品としてレンタルし、生活維持と就労活動を円滑に進め、生活環境の一時的な安定を図った。

(件)

内訳 対応件数	ランタン	電話機	電気ポット	電子レンジ	カセット コンロ	合 計
本 所	1	1	0	0	0	2
因島支所	0	0	0	0	0	0

② 居場所づくり事業

相談者の「自分たちの悩みを共有できる居場所がほしい。」との声を受け、コミュニケーションの機会や仲間づくりができる場(居場所)として2か月に1回の頻度で『なごやかカフェ』を開催した。また、「女性ならではの悩みや話ができる場がほしい。」という要望を受け、女性限定の「おのみち女子会『クローバー』」を毎月開催した。

ア なごやかカフェ

様々な原因により社会とのつながりが希薄な状況にある方々が、「地域で自分らしく生活していくこと」を目指し、同じような状況にある人同士が集まり悩みや情報の共有や、様々な体験を通して経験をつめる場を提供した。幅広い年齢層のボランティアスタッフと協力して運営した。

回 数	開催日	参加者数	内 容
第1回	4月24日(水)	3名	アロマバスソルトづくり
第2回	6月26日(水)	1名	尾道本道り商店街周辺散策
第3回	8月28日(水)	2名	お花づくり&座談会
第4回	10月23日(水)	2名	ボッチャ
第5回	12月25日(水)	2名	クッキング (クリスマスケーキ)
第6回	2月26日(水)	4名	クッキング (お好み焼き)

【成果・課題】

同じ悩みを持った仲間と協働して活動する中から、徐々に人とのコミュニケーションを図ることができた。参加者が自分のペースで参加ができるようボランティアとも意識統一を図り、安心して参加しやすい場になるよう取り組んだ。参加者の中には、カフェを通して、他者とかかわり外に出るきっかけになり、就職へつながった。就職して終わりではなく、就職した後でも、安心してつながりが持てる場として運営した。LINE 公式アカウントを用いての活動の周知と、Google フォームを活用し、気軽に申込がしやすいよう取り組んだ。

イ おのみち女子会「クローバー」

今年度予定していた全12回の開催ができた。自らの経験やつらい思い、女性特有の問題、悩みなどを女性同士で語り合い、思いを共有する。お互いの経験を「話す・聞く」をくり返しながら気持ちがふっと軽くなるつどいの場を目指して当事者スタッフと協力し、運営した。

回 数	開催日	参加者数	内 容
第1回	4月12日(金)	8名	フリートーク
第2回	5月10日(金)	6名	フリートーク
第3回	6月14日(金)	4名	烏須井八幡神社、フリートーク
第4回	7月12日(金)	6名	フリートーク
第5回	8月9日(金)	6名	フリートーク
第6回	9月13日(金)	5名	かき氷、おやつ、フリートーク
第7回	10月11日(金)	6名	フリートーク、ポップコーン試作、一斉清掃
第8回	11月15日(金)	6名	フリートーク
第9回	12月13日(金)	6名	フリートーク、クリスマス会
第10回	1月10日(金)	3名	フリートーク
第11回	2月14日(金)	7名	フリートーク
第12回	3月14日(金)	5名	フリートーク

【その他】

- ・ おのみち福祉まつりへの参加・・・ポップコーン販売
- ・ クリスマスキッズフェスタへの参加・・・ポップコーン販売

- ・ 尾道市総合福祉センター一斉清掃への参加

【成果・課題】

年 12 回開催予定の全開催ができた。昨年度に引き続き、お互いの経験を「話す・聞く」をくり返しながら、気持ちが軽くなるつどいの場を目指した。地域の清掃活動や福祉まつり、イベントへ参加することで地域社会と関わることで当事者の自立を促すことに務めた。

また、LINE 公式アカウントを用いて、活動報告を行うことで、参加できなかった方にも女子会の雰囲気を感じてもらえるよう取り組んだ。SNS を活用することにより、支援情報等を必要とする当事者に、確実に情報を発信できるようなネットワークの構築を図った。

(13) 生活福祉資金貸付事業

広島県社会福祉協議会との連携により、低所得者、高齢者、障害者等の自立を目的として、必要な相談支援及び生活福祉資金の申請を受け付けた。また、複合的な課題を抱え、貸付のみでは解決に至らない相談者に対しては、生活困窮者自立支援事業と連携し、相談者に適切な支援を提供することに努めた。

今年度は物価高による家計への影響が大きく、緊急小口資金の貸付相談が多かった。特に低所得者や高齢者世帯からの相談が目立ち、光熱費や食費が高騰し生活もままならない状況であった。

ただし、貸付条件などを丁寧に説明したうえで現況や家計内容を伺うと、貸付申請には至らず、他の公的制度へつなぐ対応を行った。今後も経済状況の変化による家計への影響が懸念されるため継続支援が必要。

① 相談・申請件数

相談件数	265 件
決定件数	4 件

② 決定件数内訳

総合支援資金	福祉資金	緊急小口資金	教育支援資金	不動産担保
0 件	1 件	1 件	2 件	0 件

(14) コロナ特例貸付フォローアップ支援事業

コロナ特例貸付フォローアップセンターにおいて、コロナ特例貸付の借受人世帯を対象としたフォローアップ支援を継続して行った。コロナ禍の影響が薄れていく中、借受人世帯の家計状況は未だ改善しておらず、コロナ特例貸付に関わる相談だけに限らず、生活全般での困りごとや課題に対して、関係機関との連携を行い、きめ細やかな相談支援を行うよう努めた。

借受人からの相談支援対応だけではなく、世帯の生活状況を把握することを目的とし

て、年2回のアンケートや訪問などのアウトリーチ支援で借受人世帯の課題やニーズを掘り起こすよう努めた。

また、支援担当者のフォローの進捗状況を確認する判定会議を2週間に1回開催し、訪問や面談状況ならびに県社協からの情報共有を行った。

新規の取組みとして、令和6年8月より県社協と共同し、生活困窮世帯を含む借受人世帯向けに「お金のお上手な使い方」をテーマとした動画制作に取り組んだ。また、気軽に視聴して頂く為、県内の著名DJをMCに起用した。

① 相談・支援状況

(令和7年3月末現在)

相談対応実績		年間合計
相談対応件数(延べ件数)		1,743
(内訳)	電話相談	939
	面談	158
	訪問	36
	文書	573
	その他	37

② 現況報告実施状況

コロナ特例貸付の借受人世帯の現況確認を目的として、年2回(5月、12月)に借受人全世帯に現況報告のアンケートを送付した。文書、電話だけではなく、Googleフォームなどを活用し、より回答しやすいよう継続して行った。

現況報告に相談希望の有無の項目を入れ、相談希望ありと回答があった世帯には、くらしサポートセンター等と連携しながら相談支援を行った。

<回答状況>

	発送数	回答数	回答率	相談希望数
5月発送	563	197	35%	24名
12月発送	589	163	27%	21名

③ 研修・説明会・訪問協議

日時	内 容	場 所
6月7日(金)	第1回コロナ特例貸付償還促進説明会	広島県社会福祉会館
6月26日(水)	コロナ特例貸付フォローアップ支援訪問協議	尾道市総合福祉センター
7月26日(金)	第1回フォローアップ相談支援研修	広島県社会福祉会館
8月23日(金)	フォローアップ相談支援研修①	広島県社会福祉会館
9月24日(火)	第2回コロナ特例貸付償還促進説明会	広島県社会福祉会館
11月19日(火)	コロナ特例貸付フォローアップ支援訪問協議	尾道市総合福祉センター
11月20日(水)	コロナ特例貸付関係機関合同会議	広島県社会福祉会館
12月12日(木)	第3回コロナ特例貸付償還促進説明会	広島県社会福祉会館

【成果・課題】

- ・ 架電や訪問しても連絡がつかない、未応答の借受人世帯へのアプローチ方法が課題となった。未応答の借受人世帯を分析すると、現役就労者で就労時間が当会の相談対応時間と被り連絡が取りにくい方、償還する意識が全くなく連絡を拒んでいる方、外国人や社会との関りを持つことが上手いかわからない方がいる事がわかった。
- ・ 課題解決の工夫として、借受人の就業状況等に配慮した架電や、訪問時に留守の場合は手書きのDMを投函する等、柔軟にアプローチを行った。
- ・ 成果としてこれまで何年も連絡がつかなかった借受人世帯との接触に成功し、猶予や免除手続きに結び付き、様々な生活課題を伺える効果があった。
- ・ 面談、訪問などを通して得た借受人の世帯情報から、借受人世帯状況や支援ニーズをアセスメントし、支援の優先度を尾道市独自の基準で整理した。整理方法は1件ずつケース検討を行い、フォローアップ支援に関わる職員で協議し決定した。支援優先度や個々のケースの状況に基づき、さらなる電話、面談、訪問など世帯によって効果的な方法を検討しアプローチを行った。
- ・ 令和7年1月より緊急小口資金、総合初回、延長、再貸付全ての償還が始まり、借受人によっては月々2万円を超える償還状態となり家計を圧迫しかねないため、積極的に自立支援や家計改善支援に取り組んでいく。

(15) 生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活をみんなで支える地域づくりとして、尾道市は生活支援体制整備事業を地域包括支援センターの圏域毎に委託し、内5圏域を本会が受託している。

令和3年度から、尾道市が、第2層協議体設立エリアについて、旧尾道地区は地区社協圏域に見直しをされ、これにより地域への取組がしやすくなってきている。

また、各圏域に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、地域のニーズや資源等の情報の取りまとめ、情報共有に努めてきた。

北部圏域（栗原北地区社協区域除く）の御調エリアの第2層協議体「いきいきみつぎの会」では、みつぎ乗合タクシーの実証運行の利用について話し合うとともに、令和6年10月から商業施設の空きスペースでシルバリーハビリ体操を実施しており、乗合タクシーの利用の促進を図っている。また、みつぎ版ねこのて手帳（食と買物編）を作成し、6月の広報おのみちに合わせて配布する準備を進めた。また、美木中エリア（原田地区、木ノ庄東地区、木ノ庄西地区、木頃地区、三成地区）の第2層協議体「住み良くする会みきはら」では、住民アンケートをもとに地域交通や気軽に集まれる場などについて話し合いを行った。

中央圏域では、久保地区第2層協議体「支合せコネくぼ」が、定期的に地域課題等について話し合いを行い、第5回地域づくり講演会と第2回久保ミニフェスタを開催した。

また、新高山地区では、コアメンバー会議を開催し、地域の現状や課題、それぞれの活動状況について共有するとともに、コアメンバーに新たなメンバーを加え、第1回のネットワーク会議を開催した。

西部圏域（日比崎地区社協、栗原北地区社協区域含む）では、栗原・久山田地区の第2層協議体「あんしん栗原・久山田」の会議を年3回開催し、見守り隊活動の拡充などについて協議しており、見守り隊員や住民へ活動を周知するためのチラシを作成して、町内会で回覧した。栗原北地区では、地区社協主催の地域づくり講演会を開催するとともに、西部及び北部地域包括支援センターと連携しながら、5月の第2層協議体の設立に向けて、コアメンバー会議を2回、立上げ準備委員会を4回開催した。

南部（因島）圏域の第2層協議体「ケアネットフォーラム因島」では、認知症をテーマに定例会を年4回開催し、また、3回目となる地域づくり講演会では、認知症の人の居場所となれるまちづくりをテーマに講演され、89人が受講した。第3層協議体の田熊地区と三庄地区では、定期的な例会を開催し、それぞれの生活課題について話し合った。令和4年度から年4回発行している情報誌「こんにち輪（和）」では、地域の活動の様子や住民向けの福祉情報を掲載し、地域回覧や各種団体等に説明を行い、活動の周知啓発を図った。

南部（瀬戸田）圏域では、第2層協議体「せとだでくらそう会」の会議を3回開催し、瀬戸田町在住の75歳以上の方を対象としたアンケート調査結果から、今後、通いの場をテーマとした広報誌を作り、サロンの紹介や地域行事を載せていく方向で話し合った。引き続き地域のニーズ把握や情報収集に努めるとともに、高根地区の買物支援もサポートしていく。

各圏域ともに、包括の介護予防・生活支援部会との合同会議を開催し、現時点の取組状況や困っていることなどをお互いに報告し合い、改めて情報共有の重要性を認識したところである。

また、3市1町（三原市、尾道市、福山市、世羅町）の生活支援コーディネーター会議を開催し、それぞれの課題を共有しながら、お互いのスキルアップを図った。

【成果】

- ・ 地域での見守り活動の意識向上が図られた。
- ・ 小地域ネットワーク推進事業を重層的に行うことで、地域への働きかけや活動がつながりやすかった。
- ・ 地域の情報の共有を図り、地域の行事等に参加するなかで、連携の幅を広げ子どもから高齢者まで住民の地域づくりへの関心とコーディネーターへの認識が高まっている。
- ・ 情報紙を発行し、地域づくりの周知啓発につなげるツールとして活用することができた。
- ・ 地域づくり講演会や研修会を開催したことで、会員相互や住民の意識醸成につながった。
- ・ 住民アンケートをもとに、地域にある課題を踏まえた話し合いのテーマの方向性が示された。

【課題】

- ・ 地域役員の担い手不足及び高齢化。
- ・ 参加者は、高齢者や関係団体の役員の方が大半であり、若い方を取り込む方策が引き続き必要である。

- ・ 本事業を進めていくにあたり、行政及び包括との連携は不可欠である。今後も各関係機関と連携し、役割分担のうえ進めていくことが求められる。
- ・ 協議体の仕組みづくりにおいて、住民主体の運営方法や第1層協議体とのつながりを構築していく必要があり、地域資源の活用の一つとして、幅広い年代へ向けての広報、周知の効果的な方法を模索している。

(16) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催

① 第53回おのみち福祉まつり

令和6年度は5年ぶりに福祉センター全館を使用して開催した。飲食を提供する団体が十分でないため、昨年度同様9:00～12:00までの時間帯で行った。

日 時	10月20日(日) 9:00～12:00
場 所	尾道市総合福祉センター
内 容	○ 開式 加納会長による挨拶、副会長の紹介後、オープニングアトラクションとして、オカリナ同好会「まっかなバラ」によるオカリナ演奏を行った。 ○ ボランティア体験コーナー 手話・点字・要約筆記・高齢者疑似体験と、シルバーリハビリ体操の体験コーナーを大会議室で行った。いろんなボランティアがあることをたくさんの方に知っていただき、ボランティア同士も他のボランティアの活動を知る機会になった。 ○ 赤い羽根共同募金 各スタンプコーナーに赤い羽根共同募金の募金箱を設置し、PRと募金の協力を呼び掛けた。また、宝つりゲームやフォトコーナーなど新しく企画し、たくさんの方の協力を得られた。 ○ 模擬店・即売会コーナー ボランティア団体や福祉事業所等7団体が出店し、バザーやお弁当等の販売を行った。また、子ども向けにスーパーボールすくいやポップコーンの販売、水消火器体験を行った。 ○ 作品展 尾道市内の老人クラブが作成した絵画や陶器等を展示した。また、児童福祉、高齢者、障害者施設等の利用者が作成した作品の展示や施設紹介のパネル展示をした。 ○ 社協事業パネル展 事業ごとにパネルを作成し、社協事業の啓発を行った。 ○ その他 子どもいけばな展、廃材でおもちゃづくり、絵本のへや、紙芝居コーナー、子育てサロンパネル展、授乳・おむつ替えコーナー、高齢者総合相談、障害者よろず相談、スタンプラリーなど

② 尾道市社会福祉大会等の開催

ア 尾道市社会福祉大会

永年にわたり福祉活動に功労のあった方等を表彰し、引き続き記念講演を行った。

日 時	11 月 19 日（火） 13：30～16：00
場 所	尾道市総合福祉センター
内 容	1 福祉功労者及び介護者表彰及び感謝状の贈呈 ① 尾道市社会福祉協議会会長表彰 66 名 社会福祉協議会関係者 8 名 社会福祉施設・団体関係者 45 名 ボランティア（個人） 11 名 介護者 1 名 特別功労者 1 名 ② 尾道市社会福祉協議会会長感謝状 高額寄付者 6 名 3 団体 匿名 6 名 2 記念講演 「注文をまちがえる料理店のこれまでとこれから」 株式会社 小国士朗事務所 代表取締役 小国士朗さん 「ホールスタッフがみんな認知症の状態にある方のレストランを開いた。間違えたけどまあいいかの気持ちで間違いをみんなですれれば間違いでなくなる。社会課題は社会受容の問題である。これからは社会課題にちょっとした“おせっかい”をしたい。」と話された。 （参加者 200 名）

イ 広島県社会福祉大会

日 時	11 月 19 日（火） 13：30～15：40
場 所	JMS アステールプラザ
内 容	福祉活動功労者表彰状の贈呈 広島県社会福祉協議会会長表彰 21 名

ウ 全国社会福祉大会

日 時	11 月 26 日（火） 13：00～15：00
場 所	浅草公会堂
内 容	福祉活動功労者表彰状の贈呈 全国社会福祉協議会会長表彰 4 名

③ 第 40 回御調地区健康福祉展への参加

日 時	10 月 26 日（土）
場 所	公立みつぎ総合病院、御調保健福祉センター
内 容	手話サークル「ひよこ」、朗読録音ボランティア「ひばり会」、おはなしラッコ、子育てほっとサポート、介助ボランティア「どんぐりの会」の 5 グループが、障害者体験コーナー・ボランティア体験コーナーを設け参加を呼びかけた。また、ふれあいサロンや学校の活動状況の パネル展示を行った。 医療福祉ボランティア連絡会の福祉バザーに協力した。

④ むかいしま健康福祉まつりへの参加

日 時	10 月 19 日（土）9 時 30 分～12 時 30 分
場 所	尾道市民センターむかいしま
内 容	出張オレンジカフェこれからの協力により、オレンジカフェの啓発及び学びのコーナーとして、30 分の講話（骨密度、筋肉量を栄養から支える）を行った。常時行っている行事として、「紙芝居」と「季節の歌」を会場の皆さんと一緒に歌い、和やかな雰囲気のカフェを紹介した。ボランティア体験コーナーでは、70 名の方が参加され、アイマスク、高齢者疑似体験、点字、手話、朗読の 5 つのコーナーをスタンプラリー方式により体験した。各活動状況として、いきいきサロン 5 か所、オレンジカフェ 2 か所によるパネル展示を行った。ボランティアバザーコーナーでは、遊休品や手作りの小物等を販売し、ボランティア活動の資金源を確保した。

⑤ 地区福祉健康まつりへの協力

土堂地区と日比崎地区で行われた福祉健康まつりへの協力として、ボランティアを派遣しての手話・点字・高齢者疑似体験コーナーの設置や防災グッズの展示等を行った。公民館や小学校を会場に開催され、地域住民同士の交流や福祉・健康等についての学びにつながる内容であった。

(17) 広報啓発活動

① 市社協だより

偶数月に、市社協だより第 293 号～第 298 号を発行し、全世帯に配布して、地域福祉に関する情報の発信、各種行事の案内やボランティア活動等の啓発を行った。

② ホームページ

各種行事や教室の案内、職員募集、既存ページの更新など、必要に応じてタイムリーな情報発信を行った。

(18) 民生委員児童委員協議会との連携

連民児協会長会議に出席し、新任職員のあいさつ、市社協事業の説明、共同募金の協力依頼と実績報告、ボランティア保険の情報提供等を行った。また、必要に応じて尾道市内 18 区の単位民児協会に各地域担当職員が出席し、連携を図った。

因島、瀬戸田地域では、月 1 回の因瀬会長連絡会議に市社協、南部地域包括支援センターの職員が出席し、地域課題の共有を図ると共に、情報の提供を行った。

(19) 福祉まるごと相談窓口事業

どこに相談すればいいかわからない、8050 問題やダブルケアなど多くの課題を抱えて悩んでいらっしゃる方に相談員が寄り添い、関係機関へつなぐなど、解決に向けて取り

組んだ。

単一機関だけでは解決が困難な複合化した課題の解決を図るために、多機関協働の更なる円滑化を目的に、重層的支援体制整備事業として本格に実施した。昨年度まで取り組んだ地域共生包括化推進会議を本年度よりおのまる会議と名称を変え、参加支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業を加え、おのまる会議、おのまる委員会、個別ケース会議、課題解決会議の会議体において行政や各支援機関と地域共生の実現に向けた協議を重ねた。

また、広く市民にも地域共生社会の実現に向けた尾道における取り組みや今後の展望について理解啓発を目的としたおのまるフォーラムを開催した。

福祉まると相談窓口実績

相談件数	相談内容
46 件	180 項目（例示は次のとおり。） 病気、けが、障害（手帳有）、障害（疑い）、自殺企図、その他メンタルヘルス、住まいの不安定、経済的困窮、債務、家計管理の問題、就職活動困難、就職定着困難、生活習慣の乱れ、社会的孤立（ひきこもり含む）、家族関係、介護、子育て、不登校、非行、ひとり親、DV・虐待、外国籍、コミュニケーションが苦手、本人の能力の課題、その他（ごみ屋敷、8050 問題など）

令和 6 年度 おのまる会議 実績

	本会議	実務者会議	個別ケース会議	課題解決会議	事務局会議
4 月					開催
5 月	第 1 回	第 1 回	1 ケース		
6 月			2 ケース	第 2 回	開催
7 月		第 2 回			開催
8 月				第 3 回	開催
9 月		第 3 回			開催
10 月				第 4 回	開催
11 月	第 2 回				開催
12 月				第 5 回	開催
1 月		第 4 回			開催
2 月			2 ケース	第 6 回	開催
3 月	第 3 回		2 ケース		

■おのまる会議

月日・会議名	内 容
5 月 20 日（月） 第 1 回会議	・地域共生社会の実現にむけて ・尾道市における重層的支援体制整備事業について ・令和 6 年度の取り組み内容（スケジュール）について ・おのまる会議委員長の選出
11 月 12 日（火） 第 2 回会議	・課題解決会議（権利擁護専門部会）について ・まると相談会、研修交流会について ・協議：権利擁護専門部会の中間報告を受けて

	・重層的支援体制整備事業開始記念「おのまるフォーラム」について ・まちかどフードパントリー尾道の開所について
3月24日（月） 第3回会議	・令和6年度おのまる会議の実績について ・次年度の事業方針について ・おのまるフォーラム開催結果について ・協議：令和6年度おのまる会議の実績及び次年度事業方針 まると相談会、研修交流会の意見を受けて

■おのまる委員会

月日・会議名	内 容
5月20日（月） 第1回会議	・地域共生社会の実現にむけて ・尾道市における重層的支援体制整備事業について ・令和6年度の取り組み内容（スケジュール）について ・おのまる会議委員長の選出
7月31日（水） 第2回会議	・尾道版）重層的支援会議の仕組みの考え方の整理について ・参加支援事業について ・福祉まると相談会/研修交流会について
9月30日（月） 第3回会議	・尾道版）重層的支援会議の仕組みについて ・権利擁護部会の内容について
1月29日（水） 第4回会議	・課題解決会議（権利擁護専門部会）の報告について ・研修交流会、福祉まると相談会で出た意見について

■個別ケース会議

開催月・地区ケース	参 加 団 体
5月 吉和1人世帯	尾道市社会福祉課保護係、尾道市社会福祉課障害福祉係、尾道市高齢福祉課、尾道市健康推進課、西部地域包括支援センター、尾道市障害者サポートセンターはな・はな、広島みらい法律事務所、くらしサポートセンター尾道
6月 向島4人世帯	尾道市子育て支援課、尾道市健康推進課、尾道市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、尾道市障害者サポートセンターはな・はな、尾道市社協向島支所、尾道市ひきこもり支援ステーションみらサポ、くらしサポートセンター尾道
6月 吉和1人世帯	尾道市社会福祉課保護係、尾道市社会福祉課障害福祉係、尾道市健康推進課、西部地域包括支援センター、ねんりんはうす尾道、くらしサポートセンター尾道
2月 古浜2人世帯	尾道市社協地域福祉課（西部地区コーディネーター、ふれあいサービス担当）、障害者サポートセンターはな・はな、こころ駅前クリニック、尾道市健康推進課、尾道市社会福祉課保護係
2月 向島4人世帯	尾道市社会福祉課保護係、尾道市子育て支援課、尾道市健康推進課、スクールソーシャルワーカー、障害者サポートセンターはな・はな、広島みらい法律事務所、尾道市社協向島支所、尾道市ひきこもり支援ステーションみらサポ、くらしサポートセンター尾道

3月 御調1人世帯	長女（オンライン参加）、御調保健福祉センター、北部地域包括支援センター、広島みらい法律事務所、尾道市社会福祉課保護係、くらしサポートセンター尾道
3月 因島1人世帯	東部保健所、尾道市障害者サポートセンターはな・はな因島・瀬戸田相談センター、尾道市健康推進課、尾道市因島福祉課、尾道市秘書広報課、尾道市維持修繕課、尾道市社会福祉課保護係、尾道市環境政策課、三崎法律事務所（オンライン）、パレアモア（オンライン）

■課題解決会議

今年度は、「権利擁護」をテーマとした課題解決会議を開催した。委員による日頃の実践を踏まえた議論を活発に行うことができた。おのまる会議へ最終報告を行うため、次年度も引き続き同テーマで課題解決会議を開催する。

開催月・会議名	内 容
テーマ：権利擁護	
6月4日（火） 第2回会議	・尾道市における権利擁護を取り巻く現状について ・尾道市成年後見制度利用促進基本計画 ・グループ協議 「意見集約から見えた権利擁護に係る課題解決にむけて」
8月6日（火） 第3回会議	・前回までのふりかえり ・「中核機関について」 説明：広島県社会福祉協議会 寺西主事 ・グループ協議 「判断能力の低下した人の課題（ニーズ）について」
10月8日（火） 第4回会議	・前回までのふりかえり ・グループ協議 「おのまる会議」への中間報告に向けて
12月10日（火） 第5回会議	・前回までのふりかえり ・おのまる会議への中間報告の回答 ・グループ協議 「地域権利擁護ネットワークの構築と多機関連携の取り組みをベースにおいた中核機関（権利擁護センター）の設置について」
2月4日（火） 第6回会議	・前回までのふりかえり ・中核機関について（おさらい） 説明：広島県健康福祉局地域共生社会推進課 大上主任 広島県社会福祉協議会 寺西主事 ・グループ協議 「尾道版～中核機関の具体的な4つの機能について～」

■その他

○アウトリーチ事業

開催月	内 容
11月27日（水） 福祉まるごと相談会 in 中央 つながる茶談会	・勉強会「認知症について」 ・支援機関の紹介 ・お茶を飲みながらの座談会
12月11日（水） 研修交流会 in 北部	・自己紹介（アイスブレイク） ・重層的支援体制整備事業について説明 ・他分野・多職種とのまるごと交流会
1月15日（水） 福祉まるごと相談会 in 瀬戸田 つながる茶談会	・勉強会「地域のつながり活動」（実践報告） ・支援機関の紹介 ・お茶を飲みながらの座談会
1月31日（金） 研修交流会 in 向島	・重層的支援体制整備事業について説明 ・他分野・多職種とのまるごと交流会
2月17日（月） 福祉まるごと相談会 in 西部 つながる茶談会	・重層的支援体制整備事業について説明 ・支援機関の紹介・事例紹介 ・お茶を飲みながらの座談会

なお、開催にあたり各圏域ごとに準備チームを構成し、多機関協働で企画、実施を行った。

【準備チームメンバー】

民生委員、地区社会福祉協議会、障害者サポートセンターはな・はな、地域包括支援センター、御調保健福祉センター、子育て世代包括支援センター「ぽかぽか」、市健康推進課、市因島総合支所、市向島支所しまおこし課、教育委員会、市子育て支援課、市社会福祉課、市社会福祉協議会地域福祉課、市社会福祉協議会くらし支援課

○重層的支援体制整備事業開始記念おのまるフォーラム

テーマ：尾道で描く地域共生社会のこれまでとこれから 重層的支援体制整備を通じた福祉のまちづくり

開催日時：3月3日（月）10：00～12：30

開催場所：市民センターむかいしま むかいしま文化ホール（尾道市向島町 5531 番地 1）

対象者：市民、企業、福祉関係事業所、NPO、その他地域共生社会の取組みに関心のある方、重層的支援体制整備事業に関心のある方

受講者：会場 144 名、オンデマンド配信 32 名

内容：第1部基調講演「つながりを楽しめるまちづくり 尾道でかんがえるビジョン」

講師：中央大学 教授 宮本太郎さん

第2部パネルディスカッション「地域共生社会を描く尾道の現在地とこれから」

アドバイザー：中央大学 教授 宮本太郎さん

コーディネーター：ノートルダム清心女子大学 准教授 中井俊雄さん

パネリスト：尾道市福祉保健部社会福祉課 課長補佐 藤原一宏さん
 尾道市社協くらし支援課 課長 高橋望
 尾道市民生児童委員連合協議会 11 区会長 下兼操幸子さん
 広島県社会福祉協議会地域福祉課 主事 川崎翔子さん

【成果】

- ・各種会議を運営していく中で、課題の複雑化に対応できる多機関協働の体制整備に向けた取り組みを行うことができた。
- ・研修交流会、福祉まるごと相談会では、分野を超えて支援機関や事業所、地域住民がお互いの顔の見える関係構築のきっかけを作ることができた。
- ・おのまるフォーラムの開催によって、重層的支援体制整備事業についてや事業における尾道市のこれまでの取り組みや展望についてなど、福祉関係者を含め一般市民に知ってもらいきっかけにつながった。

【課題】

- ・おのまるフォーラムの企業・団体の参加がなく、今後地域共生社会に向けた動きの中で、一般企業や民間団体等を巻き込みながら、重層的支援体制整備事業の運営を行う必要がある。

(20) 尾道市ひきこもり支援ステーション事業

ひきこもりに関する相談対応、課題整理を行い、ひきこもり状態にある当事者やその家族と一緒に、本人のペースを大切にしながら、寄り添った支援に取り組んだ。

ひきこもりに関する理解啓発を目的としたひきこもりサポーター養成講座を継続して開催した。直接的な支援だけでなく、ひきこもり状態の本人や、その家族が安心して暮らせる地域として、ひきこもりに対する理解のある街を市民と一緒に作っていきけるよう取り組んだ。

また、従来のネットワーク会議（みらいネット会議）を全体会議として位置づけ、ひきこもりに関して抽出された課題の整理検討する検討部会（みらいネット会議コア会議）、課題を解決する実動部会を新たに設置し、尾道市ひきこもり支援みらいネット会議の構成を整理。不登校児の課題やニーズを通して、ひきこもり支援の今後の取り組みについて検討を行った。

活 動 実 績		年間合計
相談対応	実件数（内：R6 新規）	42（24）
相談対応	延べ件数	736
（内訳）	電話相談・連絡	180
	訪問・同行支援	166
	来所面談	187
	メール	111

	その他機関連携、居場所支援、zoom 面談等	86
みらいネット会議	全体会	1
	コア会議	4
	実働部会	1
ひきこもり支援連絡会		6
みらいサポーターの集い		4
家族の集い（7家族8名参加）		1
その他活動 視察対応		3

※視察：宮崎県新富町（7名：町議、町職員）・竹原市（3名：市議会）・廿日市市（4名：市職員、支援機関）

●「尾道市ひきこもりサポーター養成講座」

開催日時：8月27日（火）13：30～15：30

開催場所：総合福祉センター4階 大会議室（尾道市門田町22-5）

参加者：42名

内 容：「ひきこもりってどんなこと？ ひきこもり状態の方とかかわる上で大切なことって何？」

講師：ノートルダム清心女子大学准教授 中井俊雄さん

「ひきこもりの本人や家族が安心して生活できる地域を作るために」

講師：尾道市ひきこもり支援ステーションみらサポ

「演習」

講師：広島ひきこもり相談支援センター東部センター

高橋耕介さん・得能千佳さん

【成果】

- ・ 今年度の相談対応延べ件数は736件であった。ひきこもり状態にある本人や、その家族に継続的な相談支援を実施した。
- ・ ひきこもりに関する正しい理解啓発として、サポーター養成講座を開催した。講義・ハンドブックを元にした劇・演習の形で実施し、参加者からわかりやすかったとの感想を多くいただき、ひきこもりに対するかかわりなどのイメージを具体的に伝えることができた。
- ・ 不登校児の支援とひきこもり支援は本質の異なる支援であるが、当事者支援や家族支援において支援の連続性を確保するため、教育委員会や、不登校児支援機関と連携していける体制構築に取り組めた。

【課題】

- ・ ひきこもりに対する理解啓発を広げていくにあたり、現在のサポーター養成講座の開催だけでは十分ではなく、開催方法について、継続した検討と新たな取り組みが必要。
- ・ 社会体験が乏しいひきこもりの人が、自律に向けたきっかけをつくっていけるよう、ひきこもりに対する理解啓発を継続して図り、企業等と連携した活動に取り組んでいくことが必要である。

(21) まちかどフードパントリー事業

尾道市内に居住する、児童扶養手当や就学援助を受給している子育て世帯や、困窮世帯が身近な場所で安心して食品を受け取ることができ、食に困る状況を回避するとともに、食品等を地域企業や個人から提供いただくことで、フードロス対策につながる形で運用した。

食品を提供いただける個人・地域企業等を「フードパートナー」、フードパントリーを利用される方を「フードメイト」とし、支援する・されるの垣根をなくし、対等な立場で食品ロス対策や食の支援を行い、お互いに支えあう取り組みとなることを目指した。

フードメイトが安心・安全に利用できる場所となるよう、フードパントリー入り口には、フードメイトのみが開錠できる電子ロックを使用し、寄付物品はオンラインデータにて管理している。

フードメイトから提供いただいた物品については、フードバンク事業や子どもの居場所づくりネットワーク事業と連携し、より必要な世帯や団体等へ物品の提供ができるよう取り組んだ。

●開設拠点

開設日	開設地区	開設場所	利用開所日
令和6年10月31日	西部	総合福祉センター内	平日及び土日
令和7年3月11日	因島	はっさく交流館敷地内	平日のみ
令和7年3月31日	向島	向島ふれあい館敷地内	平日のみ

●フードメイト登録者数（地区別/申込別）

登録者数 153 名（内訳：就学援助 62 名・児童扶養手当 87 名・その他 4 名）

※その他：くらしサポートセンター尾道にて継続的相談支援を行っている世帯。

エリア	中央	北部	向島	因島	東部	瀬戸田	西部	合計
就学援助	12	12	8	6	8	2	14	62
児童扶養手当	11	16	17	8	11	1	23	87
その他	1	0	0	0	3	0	0	4
合 計	24	28	25	14	22	3	37	153

●フードメイト利用状況

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
実利用人数	4	66	80	89	91	100	430
延べ利用人数	9	203	278	333	364	452	1639

●フードパートナー登録数

個人	企業	計
13	26	39

●寄付物品実績：寄付物品重量にて表記

	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (kg)
寄付物品実績	65	524.07	886.56	667	654.9	2,797.53

●開設記念講演会

開催日時：令和7年2月2日（日）13：30～15：30

会 場：尾道市総合福祉センター4階大会議室

参加者数：70名

内 容：まちかどフードパントリー尾道 概要説明

専用アプリのデモンストレーション

基調講演「～こどもの貧困と食の支援を通じたつながりづくり～」

講師：認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

理事長 湯浅 誠さん

【成果】

- ・無人の常設型フードパントリーを開設し、専用アプリで物品管理を行うシステムを構築することで、フードメイトは、開設時間内であれば人目を気にせず、必要な食料を受け取ることができるようになった。フードメイトから、メッセージボードへ「もらったイチゴをデザートにします」「いつも助かっています」などの感謝メッセージが届いている。
- ・パントリー内に冷凍庫・冷蔵庫を設置することで、従来の食糧支援では、取り扱うことができなかった生鮮食品や加工食品、冷凍食品等も受取可能となった。
- ・登録者の中には、フードメイト兼フードパートナーという方もおり、支援する・されるの垣根がない一面が見られた。今後も、互いに支え合える地域づくりの一つとして取り組んでいく。

【課題】

- ・今後もフードメイト登録者、利用者件数ともに増加が見込まれるなか、フードパートナー登録の増加につながるよう個人・地域企業・団体への周知や訪問等の活動と工夫が必要である。
- ・提供いただいた食料等を受け取るだけでなく、フードメイト同士のつながりや、他事業と協働した活動展開なども意識して取り組む必要がある。

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業

行政、ハローワーク、尾道福祉専門学校、福祉施設、高等学校等と連携して尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議を開催した。今回初めて小学生の親子向けに、施設を見学して回るバスツアーを開催した。施設の様子や職員が働いている姿を実際に見てもらうことで、介護の仕事を身近に感じてもらうことができた。また、人材定着率の向上を目的に「福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会」を開催し、昨年に引き続きコミュニケーションスキルの向上を目指した研修を行った。

① 尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議

年2回（6月、2月）を開催し、協議会の実施事業について、協議及び報告を行うとともに、委員同士の情報交換と交流を図った。

開催日	場 所	内 容	参加者
6月5日（水）	総合福祉センター	①令和5年度事業報告及び収支決算 ②おのみち福祉ツアー2024 について ③介護施設の管理者向け研修会について ④情報交換	10名
2月6日（木）	総合福祉センター	①令和6年度実施事業について ②「外国人労働者の雇用を考えるセミナー」開催について ③令和7年度事業計画及び収支予算について ④情報交換	6名

② 福祉・介護職理解促進説明会（福祉出前授業）の実施

福祉・介護を取り巻く現状を伝えるとともに、介護職のやりがい・魅力を発信した。

開催日	場 所	内 容	参加者
9月25日（水）	御調高等学校	演題：福祉出前講座 講師：尾道福祉専門学校 専任教諭 重岡秀和さん	1年生 36名
2月12日（水）	尾道商業高等学校	演題：絶対介護時代 ～この時代を生きる全ての人たちへ～ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭さん	1年生 162名

③ 「おのみち福祉ツアー2024」の開催

子どもたちに、福祉・介護職を将来の職業選択の一つとして意識してもらうためにバスツアーを開催した。福祉施設を訪問して、施設職員の体験談を聞き、利用者ふれあうことにより、「福祉・介護」の仕事の魅力を感じ、やりがいを持って働ける魅力的な仕事であることを理解していただく機会とした。

開催日	開催方法	内 容	参加者
8月21日（水）	バスツアー	障害・高齢の2施設を回り、施設見学や利用者との交流を図る。 ①就労継続支援B型楽生苑ボナプール 見学・作業体験 ②尾道福祉専門学校 福祉・介護の仕事について、ゲームやIT器具体験などを取り入れた学習 ③デイサービス楽生苑 見学・利用者との交流	子ども 15名 大人 7名 計 22名

④ 「福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会」の実施

人材定着率向上のため、働きやすい職場づくりに必要な取り組みや、管理職と職員との円滑なコミュニケーションスキルについて、学びや気づきを促した。

開催日	場 所	内 容	参加者
11月15日（金）	総合福祉センター	講義：「職場内の活発なコミュニケーションを目指して」 具体的な事例に基づくグループワーク 講師：介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	尾道市内の高齢者および障害者施設・事業所の管理職または管理者 29名

⑤ 「外国人労働者の雇用を考えるセミナー」の実施

人材不足が深刻な高齢者施設や事業所向けに、外国人労働者・技能実習生の受け入れについての説明会を開き、人材確保の一つの手段として検討する機会を設けた。

開催日	場 所	内 容	参加者
3月14日（金）	総合福祉センター	講演：「外国人労働者を受け入れるための方法・手続き」 講師：広島県外国人介護人材協議会 会長 坂本尚己さん 受け入れ実績のある事業所の経験談 発表者：新生福祉会楽生苑ひなたの家 管理者 河原大樹さん 発表者：株式会社ゆず 代表取締役 川原奨二さん	尾道市内の高齢者および障害者施設・事業所の経営者または管理者 15名

（２）大学、専門学校等ソーシャルワーク実習生等の受け入れ

大学から見学実習4名、ソーシャルワーク実習3名の実習生を受け入れた。

学 校 名	内 容	期 間	人 数
新見公立大学	コミュニティ・ソーシャルワーク実習	6月17日（月）～7月31日（水） （28日間・210時間）	1名

川崎医療福祉大学	施設見学	9月4日(水)	4名
県立広島大学	ソーシャルワーク実習Ⅱ	9月9日(月)～10月11日(金) (24日間・180時間)	1名
日本文理大学	ソーシャルワーク実習Ⅱ	11月19日(火)～12月19日(木) (24日間・180時間)	1名

(3) 日本赤十字社講習会

- ア 旧尾道地域…7月12日(金)栗原北地区、11月14日(木)三成地区、2月13日(木)高須地区、2月14日(金)吉和地区で、幼児安全法講習会を行い、子育てサロンの親子が受講した。もしもの事故や怪我に備え、AEDの使用方法や応急処置について学ぶことができた。
- イ 御調地域……6月6日(木)に保育ボランティアと養成講座受講生、10名が受講した。0歳から3歳の幼児に起こりやすい事故や怪我への対応、誤飲の防ぎ方、AEDの使用方法について学ぶことができた。
- ウ 向島地域……9月20日(金)に向島地区で、健康生活支援講習会を行い、子育てサロンの親子16名が受講した。防災について家族で考えるきっかけになった。チラシでスリッパを作り、避難所において衛生的に保つコツも学んだ。
- エ 因島地域……5月21日(火)に因島地区いのしま子育てサロンうきうきで、幼児安全法講習会を親子10名が受講し、気道に物が詰まった時の対処法や怪我の手当などを学ぶことができた。
- オ 瀬戸田地域…9月18日(水)に「生口島子育て支援センターはっぴい」と共催で、幼児安全法講習会を開催した。子育て中の親子と子育て支援に関わるボランティア8名が受講した。家の中で事故が起こりやすい場所や事故が起きた時の対処法を中心に、事故や怪我に備え、応急処置について学ぶことができた。

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育

① ボランティア活動実践校事業

ア 指定校

各指定校は、工夫をしながら、清掃活動や花植え、地域住民との交流、共同募金活動などを行った。

(指定校)

小学校(21校)	長江小、土堂小、栗原小、吉和小、山波小、日比崎小、三成小、美木原小、西藤小、浦崎小、向東小、栗原北小、御調中央小、御調西小、高見小、向島中央小、三幸小、因島南小、因北小、重井
----------	---

	小、瀬戸田小
中学校(9校)	栗原中、日比崎中、高西中、浦崎中、御調中、向島中、因北中、重井中、瀬戸田中

イ ボランティア実践校会議

(ア) 計画発表会

オンライン形式で実施した。今年度の活動計画や、地域と学校のつながりで心がけている事をテーマに、グループワークを行った。

(イ) 報告会

オンライン形式で実施した。今年度の取り組みや、工夫した点、福祉教育を推進するうえで、課題に感じる事・困っている事についてグループに分かれて共有した。

② 出前福祉教室の開催

ア 御調地域

(ア) 御調中央小学校 (1月28日(火))

障害者・高齢者への支援を行うボランティアを多く体験し、介護、福祉への関心を高めることを目的に、ボランティアを講師として、手話、朗読録音、アイマスク(白杖)、車椅子操作などの体験を、4グループに分かれ、(6年生32名)がスタンプラリー形式で体験した。

(イ) 御調西小学校 (5月14日(火)・5月31日(金))

高齢者や障害者の思いについて考え、福祉への関心を高めることを目的として、5月14日に車イス・高齢者疑似体験とアイマスク(白杖)、5月31日に手話、朗読録音の体験を児童(6年生9名)対象に、2グループに分かれ行った。

イ 向島地域

(ア) 向島中学校 (7月18日(木))

生徒(2年生107名)を対象に向島地域の福祉ボランティアについて知ろうというテーマにより向島で活躍している5ボランティア団体から活動内容を報告した。

また、職場体験で活かせる活動を事前にボランティアから学び、ボランティアからの知識やスキルを身につけ、地域貢献活動につなげていくように体験学習を行った。

(イ) 向島中央小学校 (9月25日(水))

児童(3年生65名)・保護者を対象に、朗読録音、点字、手話、アイマスク(白杖)、車椅子の5つのコーナーを親子で体験し、人のやさしさや温もりを感じ取り、誰にでもやさしく接しようという意欲をもつとともに、社会の一員としてともに生きる社会を実現していこうとする態度を育てる目的でボランティア体験事業を行った。

(ウ) 三幸小学校 (10月25日(金))

児童(4年生16名)を対象に、朗読録音、手話、点字、アイマスク(白杖)、車椅子の5つのコーナーをスタンプラリー形式による体験をし、ボランティア意識の高揚と啓発を図った。

(エ) 高見小学校 (12月5日(木)、9日(月)、13日(金))

児童(5年生16名)を対象に、12月5日(木)車イス体験、12月9日(月)点字体験、12月13日(金)手話体験を各ボランティアサークルから活動体験を通じて、ボランティアの方々の思いを知り、ボランティアのあり方について貴重な体験を学んだ。

ウ 因島地域

(ア) 因北小学校4年生(10月30日(水))

児童(4年生48名)を対象に、「みんなが気持ちよく住めるまち」について学ぶなかでの児童以外の目線を持つことを目的として講座を行った。高齢者疑似体験、車イス体験、視覚障害者体験ではアイマスクを装着し白杖で点字ブロックの移動を体験した。高齢者・障害者と関わる時に自分ができることを考えてもらう機会となった。

(イ) 重井中学校全校生徒(12月12日(木))

全校生徒(1年3名、2年11名、3年11名、計25名)を対象に、福祉体験の経験が少ないことから、いろいろな立場や状況の人がいることを知るため、また、介助方法や介助者の必要性を学ぶために講座を行った。校内から体育館、校庭まで使った長いコースを設定し、車イス体験と、視覚障害者体験を行った。視覚障害者体験ではアイマスク・白杖を使用し、介助者がいない状態で歩き、その後介助者に誘導されることで違いを体験してもらった。普段接点がないが、今後関わる可能性があることについて、積極的に関わるきっかけになった。

(ウ) 重井小学校3年生(2月5日(水))

児童(3年生7名)を対象に、「優しいまちづくり」の学習の一環として講座を行った。高齢者の特徴や体の動きについて、高齢者疑似体験セットを装着し、続けて車イス体験に乗って体験した。また、アイマスクを装着して白杖で点字ブロックの移動を行い、貴重な体験から高齢者・障害者に対する理解が深まった。

(エ) 因島南小学校4年生(2月25日(火))

児童(4年生34名)を対象に、ユニバーサルデザインを学ぶなかで、高齢者や障害者がどのようなことに困るのか実体験をするために講座を行った。高齢者疑似体験、車イス体験、視覚障害者体験としてアイマスク・白杖を使って点字ブロックを通ってもらった。積極的な姿勢で学んでもらい、貴重な経験となった。

エ 瀬戸田地域

(ア) 瀬戸田小学校(7月2日(火)、7月3日(水))

身体の不自由な方や障害のある方の体験を通して、福祉への関心を高めることを目的として、4年生45名を対象に、車イス・高齢者疑似体験、アイマスク(白杖)体験、点字体験学習を行った。

③ 夏休みヤングボランティアスクール

今年度は、センター行事のボランティア体験に加え、福祉施設でのボランティア体験

を実施した。中学生・高校生を対象に、ボランティア体験を行った。

日 時	場 所	行 事	参加者
7 月 20 日 (土) 13:30～14:30	総合福祉 センター	事前説明会 (夏休みヤングボランティアスクールに 参加する市内中学生・高校生・専門学生 に活動時の注意事項やボランティア活動 について説明を行った。)	32 名
7 月 21 日 (日) 13:30～16:00	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「タイダイ染め体験～T シャツを作ろう ～」	6 名
7 月 25 日 (木) 10:15～11:45	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「ふしぎな水族館～浮沈子～」	2 名
① 7 月 28 日 (日) ② 8 月 4 日 (日) 10:00～12:00	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「子ども手話教室」	① 2 名 ② 2 名
7 月 30 日 (火) 10:15～11:45	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「ネイチャークラフト教室」	2 名
7 月 31 日 (水) 10:30～12:00	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「スポーツを楽しもう！」	3 名
8 月 1 日 (木) 10:15～11:45	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「笑顔で Let' s enjoy dancing」	0 名
8 月 2 日 (金) 10:00～12:30	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「防災パッククッキング」	2 名
8 月 3 日 (土) ① 10:15～11:45 ② 13:30～15:00	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「ビー玉コロコロゲームづくり」	① 2 名 ② 3 名
8 月 7 日 (水) 10:15～11:45	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「紙粘土でスイーツデコを作ろう！」	① 2 名 ② 2 名

福祉施設体験

施設名称等	参加者
児童施設 (9 施設)	23 名
障害者施設 (2 施設)	4 名
高齢者施設 (3 施設)	5 名

御調地域では、高校生を対象に乳幼児とその兄弟姉妹 17 名を預かる保育体験を行った。
参加者 (高校生) 7 名

④ Let' s 食育！御調グループの取り組み

御調地域の関係団体 (尾道市地域おこし協力隊、御調保健福祉センター、子育て支援センターみっけ、みつぎ子ども図書館「すくすく」、第 11 区主任児童委員、子育てオープンスペース 0123、尾道市社会福祉協議会) の協働開催で 1～3 歳児までの親子を対象に「食」についての大切さを伝えた。

日 時	場 所	内 容	参加者
5 月 25 日（土） 10:00～12:00	河内公民館 ・近隣畑	「Let's 旬の野菜をみて、さわって、味わおう」	19 組

5. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動を推進するため、地域の実情に応じた相談対応を行い、交流会の開催や情報発信等を通じてボランティアの育成や新規会員確保に取り組んだ。

（1）ボランティアセンターの運営（相談・派遣・ネットワーク・広報等）

① ボランティアの相談・情報提供

ボランティアの新規活動希望や派遣依頼等の対応を行うとともに、ボランティア団体に向けた各種ボランティア情報の発信や助成金、研修会等の情報提供を行った。

② ボランティア依頼への対応

登録ボランティア数 991 名で、団体、個人の依頼により派遣した。依頼件数は託児 21 件、点字 1 件、行事 2 件となっている。また、点訳と朗読録音依頼については次のとおりである。

区 分	内 容	利用者
点訳依頼	市役所の各課や身障協会からの通知など公的な依頼が 31 件、個人的な依頼が 25 件あった。公的書類の通知文書、バスや電車の時刻表、川柳作品など、視覚障害者の生活に必要なものや生活の充実につながるものを点訳した。	11 名
朗読録音依頼	広報おのみち、市社協だより、市議会だよりをはじめ、新聞記事、小説などを朗読した CD を視覚障害者の希望で送付した。	22 名

③ 各地域ボランティア連絡協議会の活動

ア 尾道ボランティア連絡協議会（参加サークル 14 団体）

定例会を毎月 1 回開催し、意見や情報の交換、ボランティア同士の交流を図りながら、次の活動を行った。

- ・ 定例会の開催（毎月第 4 木曜日）
※11 月の定例会では、移動例会として、ボナプール楽生苑と HAKKO パーク万田酵素の工場見学へ行った。因島の「ことのは」で昼食をとり、サークルを越えた交流ができた。
- ・ 共同募金運動への協力。

イ 御調地区ボランティア連絡協議会（参加サークル 4 団体）への協力

町内で活動するボランティア団体が相互交流や研修、実践発表を行い、福祉の増進を図っている。具体的には、次のような活動を行った。

- ・ 共同募金街頭募金への協力 10 月・12 月 1 日、2 日
- ・ 御調中央小学校ボランティア体験学習 1 月 28 日

- ・ 御調西小学校ボランティア体験学習 5月31日
- ・ ボランティア研修会 7月31日
- ・ ヤングボランティア体験学習 8月22日
- ・ 御調地区ボランティア連絡協議会会議実施（年6回）
- ・ 御調健康福祉展 ボランティア体験コーナー 福祉バザー 10月26日
- ・ 尾道市ボランティアネットワーク会議への参加
- ・ 活動展示パネルの掲示（御調保健福祉センター）

ウ 向島ボランティアグループ連絡会「花あかり」（参加サークル5団体）への協力
「花あかり」は5団体が参加。毎月1回役員会を開催し、ボランティアグループ同士の情報交換を行った。このほか、次の活動を行った。

- ・ 「花あかり」役員会……毎月第1金曜日
- ・ 尾道市ボランティアネットワーク会議への参加
- ・ 小学校による総合学習体験と活動紹介
三幸小学校4年生にスタンプラリーによるボランティア体験学習
向島中央小学校3年生にボランティア体験学習
高見小学校5年生にボランティア体験学習
- ・ 向島中学校出前福祉講座 7月18日
- ・ 花いっぱい！笑顔いっぱい運動（17年目）
- ・ 向島ボランティアグループ連絡会移動例会 11月22日
ボランティア会員同士による視察研修及び交流を兼ねて、コミュニティホームゆずの家とグループホームみそのつこを視察研修した。
- ・ 喫茶クッキング 毎月第4水曜日
- ・ 向島中学校点字クラブと向島点字サークル「きずな」との交流
- ・ むかいしま健康福祉まつり 10月19日
- ・ 街頭募金への協力

エ 因島ボランティア連絡協議会（参加サークル 7団体）への協力

原則2か月に1回、定例会を開催し、尾道市ボランティアネットワークの報告及び因島ボランティア連絡協議会の活動内容の検討、各サークルの情報交換を行った。毎年恒例となっている「大浜しまなみビーチ清掃活動」も開催し、コロナ禍前の活動に戻っている。

地元の公民館まつりに併せて、因島ミニボランティアまつりを初めて開催した。7団体の活動を地元住民に知っていただく良い機会となった。

今後もボランティア同士の活動が活性化するような取組みを進めていきたい。

オ 瀬戸田ボランティア連絡協議会（参加サークル 2団体）への協力

尾道市ボランティアネットワーク役員会を受けて、報告及び活動内容の検討、各サークルの情報交換を定期的に行った。

瀬戸田ボランティア連絡協議会でセルフリンパ講座と交流会を企画し実施した。

セルフリンパ講座では、足を中心にリンパマッサージを習った。その後、食事をしながら交流会を行った。ボランティア同士の交流と学びの場となった。

来年度も参加サークルの活動がより活性化できるよう支援していきたい。

④ 尾道市ボランティアネットワーク事業

尾道市ボランティアネットワークを立ち上げてから 17 年目となり、加入ボランティア団体数は 32 団体となっている。年 4 回の定例会を開催し、各ボランティア連絡協議会の活動の共有や意見交換を行いながら交流を深めた。

その他、市社協だよりを活用して情報発信を行った。

ア 尾道市ボランティアネットワーク会議の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
4 月 15 日 (月)	総合福祉センター	・2024 年度新役員候補の決定 ・2024 年度地域づくり講演会&尾道市ボランティアネットワーク総会について ・2024 年度おのみちボラネット研修会について ・ボランティア応援ブックについて ・各V連の情報交換	12 名
7 月 3 日 (水)	総合福祉センター	・地域づくり講演会&ボラネット総会のふりかえり ・2024 年度おのみちボラネット研修会について ・ボランティア応援ブックについて ・各V連の情報交換	11 名
9 月 4 日 (水)	総合福祉センター	・役員の交代について ・2024 年度おのみちボラネット研修会について ・ボランティア応援ブックについて ・各V連の情報交換	9 名
2 月 28 日 (金)	総合福祉センター	・2024 年度おのみちボラネット研修会の振り返り ・2025 年度市社協だよりの担当V連について ・2025 年度地域づくり講演会&尾道市ボランティアネットワーク総会について ・2025 年度事業計画について ・役員改選について ・各V連の情報交換	11 名

イ 尾道市ボランティアネットワークの活動

開催日	場 所	内 容	参加者
6 月 21 日 (金)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、愛あいセンター、因島	◆2024 年度地域づくり講演会&ボランティアネットワーク総会 【講演会】 演題「能登半島地震災害の現状と求められるボランティア活動」 講師：BIG UP 石巻 阿部由紀さん 【総会】	111 名

	総合福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をWebで接続	①2023年度事業報告及び2024年度事業計画 ②2024年度役員紹介	
11月12日(火)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、愛あいセンター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をWebで接続	◆2024年度おのみちボラネット研修会 内容 知ろう！考えよう！私たちの住む尾道のふくし～高齢・障がい・児童・生活困窮の分野から～ 講師：尾道市高齢者福祉課 久松寛明さん 尾道市社会福祉課 山口美樹さん 尾道市社協くらし支援課 藤本里沙さん 尾道市社協くらし支援課 高橋 望さん	75名

ウ 市社協だよりの記事提供

尾道市ボランティアネットワークや各ボランティア連絡協議会の取り組み、行事7のお知らせ、ボランティアの活動紹介や募集など、尾道市民に向けて情報の発信を行った。

【成果】

- ・ 定例会で各ボランティア連絡協議会の活動や課題を共有することで、各地域の状況を理解し、今後の活動を考える機会となった。
- ・ 地域づくり講演会では、能登半島地震の被災地で活動されている阿部由紀さんを講師にお招きし、被災地の現状を聞くことで、ボランティア活動者に何が求められるのかを知ることができた。
- ・ ボラネット研修会では、高齢・障害・児童・生活困窮の分野から、尾道市の現状について学んだ。各分野で困ったときに相談できる窓口について知ることができ、グループワークではボランティア同士で意見交換し、つながりを作ることができた。

【課題】

- ・ 多くの団体でボランティアの高齢化や担い手不足が課題となっているため、新規ボランティア会員の確保及び後継者の育成について検討していく。
- ・ 役員会の開催方法など、既存の活動の見直しを行い、活動が継続できる方法を検討していく。
- ・ ボランティアの存在や活動を幅広く市民に周知できるよう、尾道市や各種団体との連携を図りながら、情報発信の手法を検討していく。

- ・ ボランティア活動者同士の交流や親睦を図りながら、活動の悩みや成果を共有し、尾道市全体でボランティアの課題解決に向けて考えていく。

⑤ ボランティア活動保険・行事用保険などの受付

安心してボランティア活動をしてもらうために、研修会や民児協定例会などでボランティア保険の周知を行い、加入の促進と事故への対応を行った。

区 分	本所	御調	向島	因島	瀬戸田
ボランティア活動保険 加入者数	2,328 名 事故 1 件	334 名 事故 1 件	864 名 事故 2 件	492 名	511 名
ボランティア行事用保険 加入件数	110 件 事故 1 件	29 件	29 件 事故 1 件	10 件	4 件
送迎サービス補償保険 加入件数	2 件	2 件	—	—	—
福祉サービス総合補償保険 加入件数	6 件 事故 1 件	—	—	—	—
社協の保険（ふれあいサロン・社協行事障害補償保険） 加入件数	218 件 事故 4 件	—	—	—	—

⑥ 福祉活動機材等の貸し出し

車椅子や高齢者疑似体験グッズ、パネル、テントなどを貸し出し、地域行事や学校での福祉教育、各種イベントで活用された。

（２）ボランティア養成事業

ボランティア養成のために各種講座を実施した。

① 保育ボランティア養成講座

ア 旧尾道地域

1月17日（金）に子育てサロンの現状や、小さな子どもとの関わり方についての講座を行い、新規申込者3名、おのママサポーターズ19名が参加された。新規参加者は2～3月にブックスタート、おやこタイムで体験実習を行った。

イ 御調地域

6月6日（木）、7月11日（木）、9月19日（木）の全3回、幼児安全法、助産師による講座と保育体験を行い、「子育てほっとサポート」へ1名が新規登録された。

② 読み語りボランティア養成講座

ア 旧尾道地域

9月25日(水)～11月28日(木)までの全5回の読み語りボランティア養成講座を行い、7名が受講した。内2名は、瀬戸田の読み語りボランティア「ひよこちゃん」に入会し、12月から活動を始めた。

イ 御調地域

11月14日(木)にひろしま子どもの読書活動団体等ネットワーク協議会副代表 田中いづみさんを講師に迎え絵本の読み語りボランティア入門を、11月28日(木)にブックスタートの見学を行い、「おはなしラッコ」へ4名が新規登録された。

③ はじめてのボランティア応援講座

ア 旧尾道地域

5月24日(金)、6月14日(金)、6月28日(金)の全3回、尾道市在住の地域活動・ボランティアに興味がある人を対象に、養成講座を実施した。やすらぎ支援3名・ふれあいサービス3名の新規登録、認知症カフェ1名・ふれあいサロン1名の見学につながった。

④ お掃除ボランティア「さわやか」活動

お掃除ボランティア「さわやか」を立ち上げてから14年目となった。隔月で年5回の定例会を開催し、活動についての情報共有をおこなった。

活動依頼に対しては、事前の現地確認をはじめ、ボランティアを調整しスムーズな活動につなげた。また、民生委員や地域包括支援センター等に協力支援を図った。

環境ウォーキングは、因島地域で3ルートに分かれて清掃活動を実施した。活動後に、「みつばち」で昼食を食べながら交流した。

ア お掃除ボランティア「さわやか」定例会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
5月15日(水)	愛あいセンター	・お掃除ボランティア「さわやか」総会 ・令和5年度事業報告及び収支決算について ・令和6年度事業計画及び収支予算について ・交流会	31名
7月17日(水)	総合福祉センター	・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和6年度環境ウォーキング&交流会について	10名
9月18日(水)	総合福祉センター	・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和6年度環境ウォーキング&交流会について ・因島での活動について	8名

1月15日（水）	総合福祉センター	・令和6年度環境ウォーキング&交流会の振り返り ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和7年度総会及び交流会について（案） ・令和7年度環境ウォーキングについて ・令和7年度定例会開催日程（案） ・（御調）リョービ社会貢献基金について	8名
3月19日（水）	総合福祉センター	・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和7年度役員改選について ・令和7年度総会及び交流会について（案） ・令和7年度環境ウォーキングについて	9名

イ お掃除ボランティア「さわやか」因島グループ定例会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
7月18日（木）	因島総合福祉保健センター	・お掃除ボランティア定例会（7/17）の報告 ・令和6年度環境ウォーキング&交流会について ・その他・情報共有	9名
9月19日（木）	因島総合福祉保健センター	・お掃除ボランティア定例会(9/18)報告について ・令和6年度環境ウォーキング&交流会について ・その他・意見交換	8名
10月24日（木） （意見交換会）	因島総合福祉保健センター	・事例紹介 ・お掃除できること、できないこと ・意見交換 ・これからの活動について	15名
1月16日（木）	因島総合福祉保健センター	・お掃除ボランティア定例会（1/15）の報告 ・令和7年度総会及び交流会について（案） ・令和7年度環境ウォーキング&交流会について ・令和7年度定例会開催日程(案) ・その他	9名
3月21日（金）	因島総合福祉保健センター	・お掃除ボランティア定例会（3/19）の報告 ・その他	7名

ウ お掃除ボランティア「さわやか」交流会

開催日	場 所	内 容	参加者
11月20日（水） 10：00～12：30	因島(市民会館・郷区会館・あおかげ苑周辺)	・令和6年度環境ウォーキング&交流会 目的地を目指して歩きながら、道端や溝などに落ちているゴミを拾い、会員同士のコミュニケーションを図った。清掃活動後、「みつばち」で昼食を食べながら交流を行った。	30名

エ お掃除ボランティア「さわやか」活動実績

実施月	旧尾道地区		御調地区		向島地区		因島地区		瀬戸田地区		合 計	
	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア
4月			1	4	2	11					3	15
5月	1	4									1	4
7月					1	5					1	5
9月					1	6					1	6
11月	1	3									1	3
12月	2	8			1	7			1	13	4	28
1月	1	3									1	3
2月					1	6					1	6
3月			1	4	1	11					2	15
合計	5	18	2	8	7	46	0	0	1	13	15	85

※尾道クリーンセンターのパッカー車利用： 17 回

【成果】

- ・ 尾道市内全域において 15 件の活動を実施し、利用者宅の衛生環境を整えるとともに、ボランティア自身の充実感を高めることができた。
- ・ 尾道市清掃事務所によるパッカー車の派遣により、ゴミ処理がスムーズに行えた。
- ・ 環境ウォーキングを通して、市内の環境美化及びお掃除ボランティア会員同士の交を図ることができた。
- ・ 大変なケースが増えているが、活動後には達成感を得ることができ活動のモチベーションにもつながっている。
- ・ 因島、瀬戸田圏域で1件活動があった。

【課題】

- ・ 高齢化に加え、障害や生活困窮等、複合的な課題を抱えているケースもあり、時代のニーズに合わせて柔軟に対応していく必要がある。
- ・ 地区社協や民生委員、地域包括支援センター、ケアマネジャー等と連携を深め、幅広い情報発信を行い、活動を周知していく必要がある。
- ・ 会員の高齢化や担い手不足という課題があり、今後は新規会員の発掘や育成について検討していく。
- ・ 清掃活動をする際は、当日スムーズな活動が行えるよう、ゴミの分別や運び出しの動線確認など、事前の調整を丁寧に行う。
- ・ ゴミが溜まって生活が立ち行かなくなる前に、関係機関が問題に気づき、早い段階で清掃活動に入る必要がある。
- ・ 清掃活動後に衛生環境を維持できるよう、継続的な支援へつなげる必要がある。

6. 高齢者福祉事業

(1) 第50期尾道いきいき大学

尾道市在住、60歳以上の方を対象に、生涯学習として尾道いきいき大学を開講した。

《大学の概要》

期 間：令和6年4月12日（入学式）～各講座の最終日

会 場：尾道市総合福祉センター・おのみち生涯学習センター・しまなみ交流館・
むかいしま文化ホール

学生数：実技講座 199名、教養講座 166名、合計 365名

教養講座：5講座（下表参照）

実技講座：7講座（次頁表参照）

その他の主な行事

- ・ 実技講座講師会 : 7月29日（月）・12月9日（月）
- ・ 運営委員会 : 10月23日（水）
- ・ 実技講座作品展示 : 1月21日（火）～3月30日（日）

教養講座

開催日 会場	テーマ・演題	講 師
5月10日（金） しまなみ交流館	笑って笑ってお元気に！	落語家 笑福亭 学光さん
7月12日（金） むかいしま 文化ホール	どじょうすくい女将の笑顔で元気になる方法	さぎの湯温泉旅館「竹葉」 女将/しまね観光PR大使ど じょうすくい女将 小幡美香さん
9月13日（金） 尾道市総合福祉 センター	日本絵画 鑑賞の愉しみ～俵屋宗 達「風神雷神図屏風」を考えてみ る～	尾道市立大学 美術学科 博物館実習・日本美術史教 授 市川 彰さん
11月15日（金） しまなみ交流館	いきいき！秋のコンサート♪	広島県警察音楽隊
1月10日（金） むかいしま 文化ホール	カラダは食べた物からできている～ 元気な人生100年のためのヒント～	株式会社 明乳松浦 食育担当栄養士 藤山香織さ ん

第50期 尾道いきいき大学 修了生数

講座名	講師名	受講生		合計	修了者	皆勤賞		
		1年生	2年生			1年生	2年生	合計
書道かな	友宗杉径	19	19	38	18	3	7	10
書道漢字	榎本緑水	15	18	33	16	5	5	10
絵画	山根 悦	16	14	30	14	0	3	3

自由花	進来せい子	9	12	21	11	1	1	2
英会話	能登セドリッ ク	11	25	36	21	4	8	12
俳句	郷坪敏行	9	19	28	19	5	8	13
パソコン	熊谷隆次	13		13				
実技講座 合 計		92	107	199	99	18	32	50
教養講座		166						
合 計		365						

※パソコン講座… 9 月以降休止

◇尾道いきいき大学 50 周年記念式典

日 時：令和 7 年 2 月 14 日（金） 10 時～12 時

本 会 場：しまなみ交流館

ライブ配信会場：因島総合福祉保健センター “はっさく交流館”

記念式典：10 時～10 時 20 分

記念講演：10 時 30 分～12 時

講演『一隅を照らす～自分の持ち場で一生懸命～』

講師：露の団姫さん（落語家/僧侶）

○実技講座作品展示：しまなみ交流館 1 階市民ギャラリー

2 月 10 日(月)13 時～2 月 14 日（金）～13 時

（書道かな・書道漢字・絵画・自由花・英会話・俳句）

（２）敬老会

尾道市と連携し、地区社協や町内会が主体となって地域の実情に応じた可能な取り組みがなされるよう事業を展開した。

開催概要

・開催地区及び箇所数

地域名	地区社協または町内会単位等で式典開催した地区（箇所数）	地区社協単位で記念品配付した地区	町内会単位等で記念品配付した地区（箇所数）
旧尾道	久保、長江、土堂、吉和、栗原・久山田（7）、木頃、木ノ庄東、原田、西藤、高須（9）、浦崎（8）、百島、向東（3）	山波、新高山、筒湯、日比崎、三成、木ノ庄西	栗原・久山田（10）、栗原北（12）、浦崎（1）、向東（4）
御調	菅野、上川辺、市、河内、今津野、綾目、大和		

向島	兼吉、江奥、東富浜 1・2区、東富浜3区、 小歌島、中富、西富、 川尻、宇立、有道、 田、岩子島、立花	田尻、土井	
因島	田熊、三庄（1）、中庄 （1）、大浜、重井、東 生口	土生	三庄（1）、中庄（3）
瀬戸田	御寺、宮原、荻、田高 根、垂水、福田、瀬戸 田、高根、沢、鹿田 原、中野、林、名荷	港	

- ・箇所数において、2箇所以上の地区社協又は町内会が合同で実施した場合は、1箇所としている。この為、地区社協数及び町内会数と箇所数は必ずしも同数とはならない。
- ・招待者年齢・・・75歳以上
- ・委託料・・・運営費として、一人あたり1,500円（地区社協が尾道市と直接契約する）
- ・招待者数・・・27,967人（男性11,384人、女性16,583人）
- ・出席者数・・・42,000人

令和6年度 敬老会実施状況（招待者人数） (人)

	地区名	開催日	開催時間	会 場	男性	女性	合計	出席者
旧尾道	山 波	記念品のみ配付			288	450	738	-
	新高山	記念品のみ配付			158	228	386	-
	久 保	10月14日 (月・祝)	9:30～ 11:30	尾道市立久保中学校・体育館	331	485	816	117
	筒 湯	記念品のみ配付			171	307	478	-
	長 江	9月29日 (日)	9:00～ 11:00	長江中学校（体育館）	246	456	702	476
	土 堂	9月16日 (月)	13:00～ 16:00	しまなみ交流館大ホール	179	301	480	128
	日比崎	記念品のみ配付			446	720	1,166	-
	吉 和	9月15日 (日)	9:30～ 11:30	尾道市立吉和小学校体育館	554	873	1,427	219
	栗 原	【「詳細」表参照】			1,000	1,476	2,476	322
	栗原北	【「詳細」表参照】			471	696	1,167	-
	三 成	記念品のみ配付			240	351	591	-
	木 頃	10月26日 (土)	11:30～ 13:30	尾道市農村改善センター	166	198	364	64
	木ノ庄西	記念品のみ配付			100	118	218	-
	木ノ庄東	9月15日 (日)	10:30～ 12:50	木ノ庄東公民館	71	112	183	35
	原 田	9月23日 (月)	11:00～ 15:00	旧原田中学校体育館	110	155	265	58
	西 藤	9月15日 (日)	13:30～ 16:00	福田ふれあい館	129	159	288	106
	高 須	【「詳細」表参照】			522	799	1,321	229
	浦 崎	【「詳細」表参照】			300	425	725	219
	百 島	9月16日 (月)	9:30～ 12:00	いきいきサロン百島	65	121	186	41
	向 東	【「詳細」表参照】			815	1,147	1,962	193

	小 計				6,366	9,570	15,936	2,207
御 調	菅 野	9月8日 (日)	10:00～ 13:00	菅野公民館	31	56	87	27
	上川辺	9月8日 (日)	10:00～ 13:00	上川辺公民館	84	119	203	35
	市	9月8日 (日)	10:00～ 12:30	市公民館大ホール	194	272	466	70
	河 内	9月8日 (日)	10:00～ 13:30	河内公民館	125	195	320	60
	今津野	9月16日 (月)	11:00～ 14:00	今津野公民館大ホ ール	57	84	141	45
	綾 目	9月8日 (日)	10:00～ 12:15	綾目公民館大ホー ル	55	74	129	30
	大 和	9月8日 (日)	11:00～ 13:50	大和公民館	33	35	68	16
	小 計				579	835	1,414	283
向 島	兼 吉	9月15日 (日)	10:00～ 12:00	向島中央老人福祉 会館 やすらぎ荘	132	201	333	51
	江 奥	9月16日 (月)	10:00～ 11:30	江奥コミュニティ センター	221	286	507	52
	東富 1・2 区	9月15日 (日)	13:30～ 15:00	尾道市民センター むかいしま（ここ ろ）2階大研修室	38	48	86	31
	東富浜 3	9月15日 (日)	10:00～ 11:30	東富浜三区コミュ ニティセンター	25	54	79	15
	小歌島	9月16日 (月)	10:00～ 11:30	サロンおかじま	26	38	64	37
	中 富	9月8日 (日)	10:00～ 11:30	中富コミュニティ センター	94	141	235	68
	西 富	9月15日 (日)	10:00～ 12:00	西富浜塩田の里ふ れあい交流センタ ー	66	82	148	45
	田 尻	記念品のみ配付			60	95	155	-
	川 尻	9月16日 (月)	10:00～ 12:00	川尻コミュニティ センター	102	133	235	90
	土 井	記念品のみ配付			20	28	48	-
	宇 立	9月16日 (月)	10:00～ 12:00	宇立公民館	97	120	217	41
	有 道	9月14日 (土)	10:00～ 12:00	有道ふれあいセン ター	146	222	368	76
	津部田	9月8日 (日)	9:00～ 11:00	津部田コミュニテ ィセンター	125	170	295	80
	岩子島	9月16日 (月)	13:30～ 15:30	岩子島農業構造改 善センター	61	102	163	49
	立 花	9月16日 (月)	13:30～ 15:30	いきいきサロン立 花「和」	66	96	162	36
	小 計				1,279	1,816	3,095	671
因 島	土 生	記念品のみ配付			445	676	1,121	-
	田 熊	9月14日 (土)	9:30～ 12:00	田熊公民館	391	521	912	148
	三 庄	【「詳細」表参照】			425	581	1,006	145
	中 庄	【「詳細」表参照】			500	681	1,181	45
	大 浜	9月8日 (日)	10:00～ 12:00	大浜公民館	75	125	200	46
	重 井	9月14日 (土)	10:00～ 12:00	重井公民館	295	430	725	71

	東生口	9月15日 (日)	9:00～	東生口公民館	142	173	315	105
	小 計				2,273	3,187	5,460	560
瀬戸田	御 寺	9月15日 (日)	11:00～ 14:00	御寺集会所	43	58	101	21
	宮 原	9月16日 (月)	11:00～ 15:00	生口島開発総合セ ンター	45	63	108	28
	荻	9月16日 (月)	11:30～ 14:00	荻南風園	49	52	101	30
	田高根	9月15日 (日)	11:30～ 15:00	田高根なぎさ園	28	45	73	26
	垂 水	9月15日 (日)	11:00～ 13:00	垂水垂幸園	60	74	134	39
	福 田	9月16日 (月)	11:30～ 14:00	福田たちばな荘	117	133	250	32
	港	記念品のみ配付			17	28	45	-
	瀬戸田	9月15日 (日)	11:30～ 14:00	瀬戸田光照苑	71	106	177	34
	高 根	9月15日 (日)	11:30～ 14:00	いきいきサロン高 根潮香園	59	96	155	48
	沢	9月15日 (日)	11:00～ 13:00	沢公民館	44	60	104	34
	鹿田原	9月15日 (日)	11:00～ 14:00	鹿田原集会所	14	22	36	19
	中 野	9月15日 (日)	11:00～ 13:00	中野集会所	68	91	159	40
	林	9月15日 (日)	11:00～ 13:00	林公民館	116	147	263	62
	名 荷	9月15日 (日)	10:00～ 12:30	名荷公民館	161	196	357	66
	小 計				892	1,171	2,063	479
	合計				11,384	16,583	27,967	4,200

		町内会 等	開催日	開催時間	会 場	男性	女性	合計	出席 者
旧尾道	栗原久山田	下組北	記念品のみ配付			27	45	72	-
		本通り 第二	記念品のみ配付			53	88	141	-
		本通り 第三	記念品のみ配付			52	81	133	-
		本通り 第四	記念品のみ配付			7	9	16	-
		本通り 第五	記念品のみ配付			2	5	7	-
		則末町 連合会	9月16日 (月)	10:00～ 11:30	尾道市総合福祉セ ンター	176	274	450	107
		則末第 四	記念品のみ配付			3	6	9	-
		向ヶ峠	記念品のみ配付			103	145	248	-
		向 山	9月16日 (月)	10:00～ 12:00	向山クラブ	55	77	132	31
		竹 屋	9月16日 (月)	11:00～ 14:00	竹屋会館	92	121	213	26
		川 上	記念品のみ配付			119	176	295	-
		大 地	9月16日	10:00～	大地公民館	25	26	51	21

栗原北		(月)	11:00					
	緑ヶ丘	記念品のみ配付			8	14	22	-
	門 田	9月15日 (日)	9:30～ 11:00	門田コミュニティ センター	141	237	378	60
	竜王台	9月22日 (日)	10:00～ 14:00	尾道ふれあいの里	25	37	62	7
	大 迫	記念品のみ配付			8	11	19	-
	久山田	9月15日 (日)	9:00～ 11:30	尾道市立大学第一 体育館	102	117	219	70
	小計				998	1,469	2,467	322
	三美園 団地	記念品のみ配付			111	188	299	-
	大迫団 地	記念品のみ配付			83	117	200	-
	三成ヶ 丘	記念品のみ配付			57	78	135	-
	松岡団 地	記念品のみ配付			28	41	69	-
	堂 面	記念品のみ配付			16	27	43	-
	三美園 住宅	記念品のみ配付			17	30	47	-
	竹屋東	記念品のみ配付			20	24	44	-
	松 岡	記念品のみ配付			37	65	102	-
	竹屋団 地	記念品のみ配付			69	87	156	-
	内 郷	記念品のみ配付			1	1	2	-
	幸が丘	記念品のみ配付			24	29	53	-
	幸ヶ丘	記念品のみ配付			8	9	17	-
小計				471	696	1,167	-	
高須	関屋大 新	9月14日 (土)	10:00～ 11:00	東部公民館	75	120	195	47
	阿 草	9月16日 (月)	13:30～ 15:00	いきいきサロン阿 草	36	48	84	19
	横 路	9月15日 (日)	13:30～ 15:00	横路公民館	6	11	17	7
	ポレス ター ブロー ド シティ 高須	9月16日 (月)	10:00～	ポレスターマンシ ョン内ラウンジ	7	11	18	6
	今 宮	9月16日 (月)	10:00～ 11:00	いきいきサロン大 元山	48	61	109	21
	横 浜 唐 樋 一丁田 県営自 治会 グリーン ヒルズ ビアン カ	9月15日 (日)	10:00～ 11:30	東部公民館	79	129	208	32
	尾道東 駅前 東新涯	9月15日 (日)	10:00～ 11:00	東部公民館 高須南分館	78	128	206	20

		ソラリス							
		太 田	9 月 22 日 (日)	13:30～ 15:00	大田ふれあいの館	111	179	290	45
		西新涯	9 月 13 日 (金)	13:30～ 15:30	西新涯集会所	82	112	194	32
		小計				522	799	1,321	229
	浦 崎	上組	9 月 15 日 (日)	10:00～ 15:00	上組集会所	39	60	99	27
		灘	9 月 15 日 (日)	11:00～ 14:00	灘クラブ	41	59	100	22
		高尾	9 月 15 日 (日)	11:00～ 13:00	高尾集会所	39	50	89	32
		新田	9 月 15 日 (日)	11:00～ 13:00	浦崎公民館	33	44	77	21
		永田	記念品のみ配付			12	18	30	-
		下組	9 月 15 日 (日)	11:00～ 13:00	下組集会所	45	64	109	20
		満越	9 月 15 日 (日)	11:00～ 13:30	満越区集会所	27	33	60	33
		戸 崎	9 月 15 日 (日)	11:00～ 13:30	戸崎公民館	38	45	83	37
		海老	9 月 15 日 (日)	11:00～ 13:00	海老区公民館	26	52	78	27
		小計				300	425	725	219
	向 東	彦ノ上 二	9 月 16 日 (月)	10:00～ 11:30	向島リーフ	47	71	118	36
		彦ノ上 三	記念品のみ配付			37	48	85	-
		堤	記念品のみ配付			23	41	64	-
		寺 内	記念品のみ配付			76	127	203	-
		谷 水	記念品のみ配付			22	24	46	-
		古江奥	9 月 28 日 (土)	11:00～ 13:00	古江奥公民館	19	23	42	17
		向 東	9 月 16 日 (月)	13:00～ 14:30	サンボル尾道	591	813	1,404	140
		小計				815	1,147	1,962	193
	因 島	三 庄	9 月 15 日 (日)	9 : 00～ 12 : 00	三庄公民館	410	562	972	145
		棕 浦	記念品のみ配付			15	19	34	-
		小計				425	581	1,006	145
		中 庄	記念品のみ配付			365	478	843	-
		鏡 浦	記念品のみ配付			18	26	44	-
		外 浦	9 月 16 日 (月)	10 : 00～ 11:30	外浦集会所	45	66	111	45
		西 浦	記念品のみ配付			72	111	183	-
		小計				500	681	1,181	45

7. 障害者福祉事業

障害者が地域で安心して暮らせるよう、ボランティア活動の促進、福祉人材の育成等を行った。また、当事者団体への支援等を行い、あらゆる機会を通じて障害者の自立と社会参加の促進を図った。

(1) 障害者社会参加促進事業

障害者の自立と社会参加を推進するため、各種講座やボランティアの養成を行った。

① 各種養成講座

ア 手話奉仕員養成講座

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
市 域	5月16日～3月6日	毎週木曜日 38回	21名	12名

イ 手話講習会 (※講師は、いずれも手話サークル会員とろうあ協会)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月17日～9月20日	毎週金曜日 17回	5名	3名
御 調	5月18日～7月20日	毎週土曜日 10回	4名	3名
向 島	5月13日～9月30日	毎週水曜日 17回	8名	8名
因 島	5月21日～7月23日	毎週火曜日 10回	2名	2名

ウ 尾道市登録手話通訳者学習会〈専門研修〉

外部講師：広島県ろうあ連盟、尾道ろうあ協会、尾道市社会福祉課・市民課

受 講 者：延べ82名 12回

対 象 者：手話通訳派遣に登録している方

エ 子ども手話教室

日 時：7月28日、8月4日（日）

講 師：尾道ろうあ協会、手話サークルつくし

受講者：19名（小学4～6年生）

オ 点字一日体験講座

日 時：5月7日（火）

受講者：3名

カ 点字講習会 (※講師は、点字サークル会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月14日～7月16日	毎週火曜日 10回	6名	6名
向 島	6月14日～11月8日	第2・4水曜日 10回	1名	1名

キ 朗読録音講習会 (※講師は、朗読ボランティア会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	10月8日～2月25日	第2・4火曜日 10回	4名	4名
御 調	6月6日～8月1日	第1・3木曜日 5回	3名	3名
向 島	6月14日～10月22日	第2・4金曜日 10回	3名	3名
因 島	9月18日～2月19日	第1・3水曜日 10回	3名	3名

ク 朗読録音講習会〈専門研修〉

講 師：武田智子さん

受講者：115名 11回

対象者：旧尾道地域朗読録音ボランティア会員

ケ 要約筆記講習会 (※講師は、要約筆記サークル会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	12月12日～2月13日	木曜日 6回	4名	3名

② 手話通訳者、要約筆記者派遣事業

ア 手話通訳者派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	62件	154時間	病院・学校行事等	11名	13名
御 調	26件	33時間	病院・講演会等	3名	3名
向 島	0件	—	—	—	—
因 島	18件	25時間	病院・会議等	5名	2名
市 外	22件	41時間	病院・相談等	5名	7名

イ 手話通訳者派遣（尾道市手話通訳者設置事業）

設 置 日：毎月第3火曜日 9:30～11:30

設置場所：尾道市役所社会福祉課

通訳者数：2名

ウ 要約筆記者派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	7件	11時間	講演会・手続き等	4名	1名

③ 障害者スポーツ教室開催事業

地域名	教室等の行事名	参加人数
旧尾道	フライングディスク	27名
	スポーツ吹き矢	26名
	ボッチャ	68名
	モルック	21名
御 調	ふれあい交流会	23名
	スポーツ大会	9名
因 島	水泳教室	16名
	ふれあい運動会	中止
	グラウンドゴルフ大会	24名
	卓球教室	中止
瀬戸田	スポーツ大会（ボッチャ）	18名

④ 啓発普及事業

第31回「障害者週間」尾道福祉大会

ア おのみち福祉音楽祭 2024

日 時	12月7日（土）10:00～12:00
場 所	尾道市総合福祉センター
内 容	◇ステージ出演 ・オカリナ同好会「まっかなばら」 ・ルーリーズ（バンド演奏） ・スペシャルオリックス広島

	尾道支部フラダンスチーム ポエラニ尾道 ・楽しむハーモニカ
--	----------------------------------

イ 作品展

日時：12月 3日（火）～12月9日（月）

場所：尾道市役所、総合福祉センター

⑤ 生活訓練事業

ア 介助ボランティア養成講座（障害者福祉）

開催日時	内 容
1月12日（日） 13：30～15：00	テーマ：「障がいとボランティアの必要性について」～障がいの ある方との共生社会をめざして～ 講 師：あいサポートメッセンジャー 特別支援介助員 藤山秀男さん
1月19日（日） 13：30～15：00	テーマ：「知的障害の理解」 講 師：特定非営利活動法人 COR コル 管理者 サービス管理責任者 看護師 佐々木真実さん
1月26日（日） 13：30～15：00	テーマ：①介助を実際に体験しよう ～車いすの扱い方、白杖体験など～ ②「どんぐりの会について」 講 師：介助ボランティア「どんぐりの会」

イ チャレンジクッキング（11回） 参加者 139 名

在宅の知的障害者を対象に介助ボランティアと一緒に簡単な調理実習を楽しむ教室を開催した。教室を通して達成感、充実感を味わい日常生活でも挑戦するなどの意欲につながっている。また休日の居場所づくり・仲間づくりの場となった。

ウ は一とらんど（11回） 参加者 70 名

知的障害者の休日の居場所づくりや仲間づくりを目指して開催した。障害者同士の交流がもてるように支援した。

エ 簡単料理教室（向島：6回）

向島地域で知的障害者を対象に料理教室を行った。地元の野菜を使った料理を作るなど工夫し、調理を重ねていくことで日常生活につながる活動となった。

参加者：向島 96 名

※瀬戸田地域では予定していたが、実施されなかった。

⑥ 障害者 IT 総合推進事業

ア パソコン入門（46回） 参加者 365 名

障害者を対象に、日常生活の向上及び社会参加の促進を図る目的で開催。参加者のレベルにあわせた講座で、パソコンの操作技術を習得した。

イ タブレット体験会（1回） 参加者 7 名

広島県障害者 IT サポートセンターによるデジタル活用ワークショップを開催した。
視覚障害者を対象としたタブレットの基本操作と便利な機能の体験会を行った。

⑦ 芸術文化講座開催事業

ふでふで工房（12回）

参加者 120 名

月 1 回知的障害者を対象に習字教室を 11 回、絵手紙教室を 1 回開催。知的障害者の休日の居場所づくり、仲間づくりに役立つ教室となった。尾道市役所 1 階市民交流スペースで作品展を行い、日頃の成果を多くの方に見て頂くことで、参加者の意欲向上につながる機会となった。

（2）障害者当事者団体への支援・協力

ア 障害者団体等に協力した。

イ 地域で活動する障害者関係団体のスポーツ大会、研修会等を支援した。

ウ 尾道市身体障害者福祉連合会及び福祉協会の各活動の支援を行った。

8. 児童福祉事業

（1）子育て支援

ブックスタートから始まる子育て支援を推進し、おやこタイムやおやこ広場、子育てサロンの充実や子育て支援ネットワークへの協力を行った。

① ブックスタート事業（4 か月児健診の乳児へ絵本の読み聞かせとプレゼント）

社協、図書館、健康推進課、民生委員児童委員、読み語りボランティア、保育ボランティアなどが協力して実施し、503 人の赤ちゃんへ絵本等のプレゼントを行った。

地 域 名		旧尾道・向島	御 調	因 島	瀬戸田
実施回数		年間 24 回	年間 6 回	年間 9 回	年間 5 回
場 所		総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター
対象児数		434 名	16 名	40 名	13 名
役割分担	健 診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	受付等	民生児童委員	民生児童委員	民生児童委員	民生児童委員
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	因島図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	「なのはな」	「おはなしラッコ」	「さざなみ会」	「ひよこちゃん」
	赤ちゃんの抱っこ	「おのママサポーターズ」	民生児童委員	民生児童委員	「ほっとレモン瀬戸田」

② ブックスタート・プラス事業

1 歳 6 か月児健診の幼児に図書館、読み語りボランティアの協力を得て、545 人に絵本を読み聞かせしたうえでプレゼントした。

地 域 名	旧尾道・向島	御 調	因 島	瀬戸田
実施回数	年間 27 回	年間 6 回	年間 9 回	年間 5 回
場 所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター
対象児数	452 名	21 名	51 名	21 名
役割分担	健 診	健康推進課	健康推進課	分役担割
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	なのはな	おはなしラッコ	さざなみ会

③ ブック・ステップアップ事業

3歳児健診の幼児に図書館、読み語りボランティアの協力を得て、668 人に絵本を読み聞かせしたうえでプレゼントした。

地 域 名	旧尾道・向島	御 調	因 島	瀬戸田
実施回数	年間 31 回	年間 6 回	年間 9 回	年間 5 回
場 所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター
対象児数	554 名	26 名	58 名	30 名
役割分担	健 診	健康推進課	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	なのはな	おはなしラッコ	さざなみ会

④ ブックスタート関連取組み

ア 交流会

11月8日（金） ブックスタート交流会の開催

イ 研修会

5月28日（火） 新担当者向けブックスタート研修会（オンライン）

7月5日（金） 多言語対応絵本試験実施報告会（オンライン）

1月29日（水） ブックスタート全国研修会（オンライン）

ウ 読み語りボランティア養成講座

9月25日（水）～11月28日（木）（旧尾道地区）

11月14日（木）、11月28日（木）（御調地区）

【成果】

- ・ 事業のアンケートにおいて、ブックスタート事業を受けた方は、絵本を通じて親子でふれあう時間が増えていると感じる割合が高い。また、図書館を利用されるきっかけになっている。
- ・ 民生委員児童委員協議会のご案内や子育て支援情報をお伝えいただくことで、親子に地域で見守ってくれる存在を周知することができている。

【課題】

- ・ コロナ禍より1歳6か月児、3歳児は3冊の絵本のうち1冊しか読み聞かせしておらず、残りの2冊は紹介のみにとどめている。

⑤ 子育てサロンの推進事業

市内 15 か所で原則毎月1回以上サロンを開催した。少子化や育休復帰の早期化により、参加人数は減少傾向にあるが、イベント時には参加人数が多く賑わっている。

子育てサロン連絡協議会と協力しながら、サロン同士の情報交換や連絡調整を目的に行う子育てサロン交流会の開催や、福祉まつりへの参加により、サロン同士の交流を図った。交流会の企画等について各サロンの意見を反映させ、より良いサロンの運営を行うための子育てサロン運営委員会も開催した。

子育てサロン連絡協議会と各子育てサロンを巡回し、サロン運営について相談、助言を行った。

[子育てサロン一覧]

サロン名	場 所	回 数	参加人数
高須子育てサロン「らっこクラブ」	東部公民館	月1回	191
山波子育てサロン「クローバー」	山波公民館	月1回	138
久保子育てサロン「クッピル」	いきいきサロン久保	月1回	143
土堂子育てサロン「たいよう」	土堂公民館	月1回	60
日比崎子育てサロン「ひびきっず」	日比崎公民館	月4回	257
吉和子育てサークル「ドレミサークル」	吉和公民館	月1回	103
栗原子育てサークル「お日さまクラブ」	栗原公民館	月1回	75
栗原北子育てサロン「日だまりカフェ」	栗原北公民館	月1回	125
三成子育てサロン「にこにこ」	才原なごみ館	月1回	34
西藤子育てサークル「ぞうさんクラブ」	福田ふれあい館	月1回	209
浦崎子育てサークル「ほっとにこにこ」	浦崎公民館・浦崎認定こども園	月2回	184
向東子育てサロン「ぴよぴよ」	向東公民館	月1回	140
向島子育てサロン「すくすく」	愛あいセンター	月1回	172
因島子育てサロン「うきうき」	中庄公民館	月2回	237
瀬戸田子育てサロン「バンビ」	瀬戸田福祉保健センター	月4回	501

⑥ おやこタイム、おやこ広場等子育て支援事業（母子・父子福祉センター事業参照）

乳幼児の親子の子育て支援を行った。

⑦ 関係機関との連携

ア 医師会少子化対策等検討委員会への参加

イ 「尾道子育て支援ネットワーク」の会議へ月1回の参加、活動への協力

ウ Let's 食育！御調グループのイベント（1回）、協働会議（年3回）への参加

【成果】

- 近年、地域のつながりの希薄化が進み、子育てへの不安や孤立感が高まる中、子育てサロンの必要性が再認識され、つながり、支え合いの場となり、地域と家庭の子育て力の向上等の役割を担っている。

【課題】

- 少子化、共働き家庭の増加の影響で、子育てサロンへ参加する親子の減少や、運営の担い手不足により活動継続が困難となってきた子育てサロンが数か所ある。

(2) 子どもの居場所づくり

① 子どもサポート事業

近年、社会構造や家族形態、働き方の変化などにより、「たくさんの経験をわが子にさせたいが、思いが叶わない」「家庭の事情で子どもと関われる時間が十分でない」「子どもの成長や家族のことで、周囲に相談できる人がいない」といった悩みをもつ親が増えている。

本事業は、そのような社会課題を受け、旧尾道地域及び因島地域に2か所の拠点を開設した。平日の放課後から夜間までを開設時間とし、主に小学校低学年を対象に、学習支援や夕食提供をはじめとした生活習慣形成の支援、体験機会の提供などを行っている。

令和6年度末時点で、尾道拠点が10世帯16人、因島拠点が15世帯17人の登録があり、子どもたち一人ひとりに寄り添ったサポートを実施した。日々の生活支援に加え、野外活動や社会見学など、年間を通じて様々な活動を実施し、児童の成長を後押しした。

両拠点ともに、生活習慣が整い、検定試験に合格するなど、学力向上した子どもが増えている。「将来、社会の一員として生きていくための自立につながる力を身に着ける」という事業目標が達成できるよう、これからも運営の工夫を継続する。

b & g 尾道 開設時間：月～金 放課後～19時（長期休業時は12時～19時）
登録：10世帯16人 実施回数：256回 延参加人数：3,148人
b & g 因島 開設時間：月～金 放課後～19時（長期休業時は12時～19時）
登録：15世帯17人 実施回数：242回 延参加人数：2,657人

② 子どもの居場所づくりネットワーク事業

子どもたちが健やかに育つ地域環境づくりのため、子ども食堂や学習支援等の居場所づくりに取り組む団体の連携体制の整備、活動支援を行った。

ア 意見交換会、研修会の開催

計画通り年間6回の意見交換会（内2回研修）を実施し、情報や課題の共有を行った。

●研修会

開催日時	内 容
4月23日(火) 10:00～11:00	テーマ「子ども食堂における衛生管理のポイント」 講 師：広島県東部保健所 白石さん
9月24日(火) 10:00～11:00	テーマ「助成金にチャレンジしてみよう」 講 師：広島NPOセンター 松原裕樹さん

	テーマ「助成金申請の経験と実際の活用について聞いてみよう」 事例発表者：一般社団法人 UME プロジェクト高橋真理子さん
--	---

■令和6年度講演会「こども食堂フォーラム in おのみち ～こども食堂の実態と意義～」

日時：令和7年2月16日（日）13：00～16：00

テーマ「こども食堂の実態と意義」

講師：NPO 法人広島こども食堂支援センター 理事長 越智 誠輝 さん
尾道市子どもの居場所づくりネットワーク事業紹介

事例発表①楽だ食堂 発表者：広島市立美鈴が丘高校 寺本緋音さん

②こども食堂れもん 発表者：副代表 雲谷美加さん

③こども食堂たかすの波（WAVE） 発表者：副代表 杉谷美咲さん

ワークショップ

【成果】

研修会を通して、衛生管理についての理解を深め、安定した資金調達としての助成金の活用を学び、全体で共有を図ることができた。

また、市社協内で児童福祉に関連する事業の担当者と児童部会を立ち上げ、12月に開催したクリスマスキッズフェスタでは、ネットワーク加盟団体に有志ボランティアを募り、3団体が参加した。意見交換会や研修会、イベント・フォーラムへの参加を通じて、加盟団体同士の横のつながりができ、「子どもの居場所支援」について広く市民に広報することへとつながった。また、課題や情報を共有する中で、加盟団体から派生し、地域で教育、社会活動をしている団体が集まり、一つの共同体とし、企業からの支援や協賛を受ける際や広報活動をしやすくしていきたいと話が出るなど、活動の活性化につなげることができた。

イ フードドライブの実施

予定していた全4回を実施した。食品などを期間中に78件、期間外に52件、合計130件の寄付をいただいた。その他、昨年に引き続き、企業や団体から自社で行ったフードドライブで集まった食品の寄付もあった。集まった食品は、生活困窮世帯の子どもたちや子ども食堂などの子育て支援団体へ渡した。

(件)

実施日程	6/10～14	9/9～13	12/9～13	3/10～14	合計
寄付件数	25	19	18	16	78

ウ 相談支援

子ども食堂等の開設を検討している個人・団体への相談対応を行い、本年度は5団体が本ネットワークに参加いただくこととなった。

9. 母子・父子福祉事業

尾道市総合福祉センター事業のうち、「(4) 母子・父子福祉センター事業」を参照

10. 尾道市総合福祉センター等の管理

(1) 尾道市総合福祉センターの管理

総合福祉センター利用状況 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

階	室名等		市社協	福祉センター	市	無料登録団体	有料	合計	件数(件)	総合計(人)
1階	作業室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	会議室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	小会議室	午前	339	410	674	387	86	1,896	629	4,265
		午後	874	3	671	256	77	1,881		
		夜間	112	67	47	155	107	488		
	和室	午前	264	1,893	668	498	30	3,353	624	7,412
		午後	1,323	85	734	817	15	2,974		
		夜間	838	0	0	247	0	1,085		
	ボランティア室	午前	0	0	14	805	0	819	249	1,345
		午後	0	0	0	525	0	525		
		夜間	0	0	0	1	0	1		
	機能回復訓練室	午前	3	1,029	5	0	0	1,037	574	1,777
		午後	3	734	3	0	0	740		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
2階	会議室	午前	1,824	1,022	1,466	543	0	4,855	508	12,221
		午後	879	1,969	2,780	715	0	6,343		
		夜間	478	9	364	172	0	1,023		
	小会議室	午前	387	44	457	514	57	1,459	552	3,672
		午後	501	12	1,137	358	22	2,030		
		夜間	7	0	71	88	17	183		
	教養娯楽室	午前	496	0	0	455	0	951	279	1,698
		午後	747	0	0	0	0	747		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	創作室	午前	70	6	101	724	0	901	323	1,724
		午後	257	4	140	408	0	809		
		夜間	2	0	12	0	0	14		
	技能習得室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	児童センター	午前	956	14,096	0	0	0	15,052	291	15,052
		午後	0	0	0	0	0	0		

3 階	保育室	午前	1,912	999	1,545	0	0	4,456	344	8,182
		午後	2,182	502	867	0	0	3,551		
		夜間	15	0	160	0	0	175		
	調理実習室	午前	84	551	359	216	0	1,210	202	2,299
		午後	72	511	327	179	0	1,089		
	集会会議室	午前	507	541	1,111	237	38	2,434	413	4,867
		午後	162	15	1,415	247	122	1,961		
		夜間	30	0	18	424	0	472		
	栄養指導室	午前	154	0	756	244	7	1,161	395	2,973
		午後	110	0	1,136	66	5	1,317		
		夜間	12	0	0	473	10	495		
	健康相談室	午前	3	0	1,030	0	0	1,033	384	2,101
		午後	0	0	1,068	0	0	1,068		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	保健指導室	午前	0	0	924	0	0	924	379	2,003
		午後	34	0	1,045	0	0	1079		
4 階	集団指導室	午前	1,936	96	1,650	266	56	4,004	387	7,955
		午後	984	31	1,790	436	275	3,516		
		夜間	14	0	226	165	30	435		
	会議室	午前	353	265	689	399	10	1,716	361	3,342
		午後	443	27	819	288	24	1,601		
		夜間	0	3	0	22	0	25		
	大会議室	午前	620	2,751	3,554	956	100	7,981	300	16,436
		午後	1,997	1,085	3,978	724	51	7,835		
		夜間	290	0	210	120	0	620		
共有	全館	午前	1,360	0	1,030	0	0	2,390	9	3,780
		午後	1,360	0	30	0	0	1,390		
	1 F ロビー	午前	0	0	0	0	0	0	7	72
		午後	0	0	0	72	0	72		
合 計			24,994	28,760	35,081	13,202	1,139	103,172	7,210	103,176

(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理

愛あいセンター使用状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

室名等	利用件数（件）	利用人数（人）
第1会議室	135	1,067
第2会議室	189	4,394
第3会議室	121	1,049
ロビー	27	181
ひまわり	21	442
コチョウラン	26	70
コスモス	39	190
カーネーション	35	300
はなみずき	50	330
アーモンド	67	281
相談室	301	644
合 計	1,011	8,948

(3) 因島総合福祉保健センターの管理

因島総合福祉保健センター使用状況 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

室 名	利用件数 (件)	利用人数 (人)
調理室・和室	201	2,480
プレイルーム	86	1,104
相 談 室	258	2,458
会 議 室	230	745
合 計	775	6,787

11. 尾道市総合福祉センター事業

(1) 障害者福祉センター事業

市内在住の障害者手帳（身体、療育、精神）を持つ人を対象に、障害者福祉センター事業として各種の教室、講座を開催した。

平日の教室は、主として身体・精神の障害者への外出支援と社会参加の促進、リハビリに役立つ講座や場の提供を、土・日曜日の教室は、知的障害者の安心安全な居場所となるよう、仲間づくり、生活訓練、自立支援に役立つ教室を開催した。安定して教室等に参加する障害者同士の交流が深まり、身体のリハビリだけでなく生活に張りが出て、他行事への参加意欲にもつながっている様子が伺えた。今年度は3階調理実習室と4階大会議室が年間を通して使用することができて、毎月の開催を楽しみに誘い合っの参加が多い傾向となった。

「チャレンジクッキング」「あったかクッキング」の教室は、継続の利用が多く、料理をしながら自然に交流し、でき上がった料理を囲んでさらに交流が深まっていた。

また、スポーツの教室では定例の「ボッチャ」「モルック」に加えて「フライングディスク」「スポーツ吹き矢」を再開し、新規の利用者が増加し、他の教室にも参加するなどの効果が見られた。さらに、介助ボランティアの資質や人数を充実するため「介助ボランティア養成講座」を開催した。新規受講者向けと現在活動中のどんぐりの会会員向けにスキルアップも図れるよう配慮した講座内容で行った。新規受講者は熱心に受講し、数名がどんぐりの会に入会することになり、引き続き連携し、支援していく。

知的障害者のための習字教室「ふでふで工房」では今年度も市役所での作品展を開催した。たくさんの方に1年間の成果を見てもらい、寄せ書きに励ましの言葉をたくさんいただき達成感を味わうことができた。

引き続き、障害者に寄り添い、安心・安全に教室を開催し、日頃から気軽に相談などができる関係を築けるよう努める。

障害者福祉センター事業の内容

基本事業	事 業 名	開催回数	参加人数
機能訓練	日常生活動作、歩行訓練	287 回	(障害者) 662 名
	あったかクッキング	10 回	132 名

I T総合推進事業	パソコン入門	46 回	365 名
芸術文化講座	ふでふで工房（知的障害者のための習字クラブ）	12 回	120 名
本人支援事業	チャレンジクッキング	11 回	139 名
	はーとらんど	11 回	70 名
社会参加活動	うたの花束	11 回	114 名
	つどい	11 回	133 名
スポーツを楽しもう	フライングディスク	2 回	27 名
	スポーツ吹き矢	2 回	26 名
	ボッチャ	5 回	68 名
	モルック	1 回	11 名
創作・趣味活動	楽しむハーモニカ	12 回	132 名
	交流会「まんまるの会」	1 回	12 名
	介助ボランティア養成講座	3 回	78 名
同好会	栗クラブ	44 回	272 名
	習字同好会	21 回	82 名

（２）老人福祉センター事業

市内在住の 60 歳以上の方を対象に体力の維持・増進、仲間づくり、出かけるきっかけづくりを目的に各種教室を企画・実施した。体操教室や脳を刺激する脳トレ教室、歌を唄う音楽療法の教室など様々な内容を行い、高齢者のフレイル予防、介護予防・認知症予防に取り組んだ。創作・趣味活動では、「パンとスープの日」を初めて企画し、仲間と交流しながらパン作りの楽しさを体感した。手順や段取りを考えることで脳の活性化にもつながり、調理を通して達成感や生きがいを感じられたと参加者にとっても好評だった。男性の外出支援では「男のストレッチ」を開催し、男性が気兼ねなく集まれる雰囲気づくりや運動習慣のない方のために実施した。「囲碁・将棋クラブ」は開催曜日を決め、共通の娯楽を楽しむ居心地のよい居場所になった。囲碁には男性だけでなく女性も加わって意欲的に知の競技を学ぶ姿が見られた。音楽療法「うたを楽しもう」では、生伴奏に合わせて童謡・唱歌・懐かしの歌謡曲など、幅広いジャンルの曲をリズムに乗って手拍子や身体を揺らして楽しそうに唄い、爽快感を味わった。曲が作られた経緯や時代背景、作詞家や作曲家が込めた思いなどを知り、あの頃の感情を再び蘇らす回想法の効果もあった。歌うことで免疫力向上、口腔機能の維持など健康面で効果をもたらし、音楽を通してリラックス効果や不安やストレスの軽減を図った。開催曜日を決めて教室を行うことで生活リズムが付き、曜日感覚の乱れを防ぎ、どの教室も健康維持のためや外出の場を求めてたくさんの方が利用された。仲間と体操に励んだり、歌を唄ったり楽しい時間を共有し合い、他者とのつながりを持つことで生きがいを感じ、友だちの輪を広げるいい機会になった。今後も高齢者が健康な状態を維持できるよう介護予防・フレイル予防（運動・栄養・口腔・社会参加）、遅発性障害の予防など健康寿命を延伸する取り組みを実施していく。

老人福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能回復訓練事業	機能回復訓練	287回	1,783名
高齢者の社会参加事業	むつみカフェ	10回	260名
男性の自立支援事業	囲碁・将棋クラブ	51回	1,739名
	男のストレッチ	22回	492名
音楽療法	うたを楽しもう	12回	990名
啓発事業	呼吸法と体操	6回	231名
	脳もいきいき	10回	621名
	ヨガ de イ〜ス	1回	44名
	背骨コンディショニング	1回	50名
創作・趣味活動	パンとスープの日	3回	91名
心と体の健康づくり事業	スマイルの時間	21回	1203名
	ここからケア	5回	166名
	ぽかぽか体操	11回	724名
	じんわりストレッチ	22回	914名
同好会	絵手紙同好会	12回	98名
	男の手料理同好会	12回	182名

(3) 児童センター事業

予約なしで自由来館できて、土・日が開館していることが利用者から大変喜ばれた。感染対策を徹底し、安心・安全に遊べるように配慮した。

主に小・中学生を対象とした健康・体力増進・情緒育成・創作意欲を育てる目的の教室や行事を開催した。日常的な遊びの中で子どもたちは、友人や地域の方達とカプラ・ボードゲーム・すごろく・トランプなどのアナログな遊びで時間を共有した。一輪車や卓球、竹馬などの体を使った遊び、コマ回し・けん玉などの昔遊びを通して交流が生まれていた。

今年度で3年目になる三世代交流「卓球大会」では、地域の方とつながり親睦を深めた。卓球の礼儀やルールを高め、様々な年代の方と真剣勝負をして交流を図った。

また、四季折々の工作・歳時記体験で昨年に引き続きしめ縄作りを行い、日本の伝統文化に親しんだ。華道は定例の教室に加え、発表の場を設け、多くの方に観てもらい、褒めてもらう事で自信や達成感につながった。茶道は単発ではなく、年間の教室開催として継続的に行った。

そして、平日の午前中の時間を利用した子育て支援事業「あーと・らぼ」では、子どもの体験だけではなく、親もリフレッシュやストレス発散できる活動を取り入れ、親子で絆を深める支援を行った。

保護者の子育ての不安や日常生活に寄り添うことで、安心して子育てができる場所、信頼できる関係性を結んだ。子どもの遊びの拠点・居場所となり、子どもの活動の様子から必要に応じた機能や役割の充実と関係機関との連携を密にし、適切に対応することができた。

今後も世代、年齢、立場を超え、複合施設の利点を生かし地域ボランティアの方々と連携を図りながら、いかに子どもたちと関わるかを最優先にし、実施できることに一つ一つ取り組む。「あそび」を通して体験・発見・喜び・悔しさなどを体験し、家族や友だちと人間関係を築き、ルールやマナーなどの社会性を育てて逞しく生きていく学ぶ場を提供し、子どもたちの健全育成を継続していく。

児童センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
子育て支援事業	えほん・よみかたり	12回	146名
	あーと・らぼ	24回	390名
	親子あそび（ぬりえ・ままごと・知育玩具）	290回	9,812名
児童・生徒の健康・体力に関すること	卓球・卓球であそぼ～！	234回	3,224名
	一輪車	159回	696名
	竹馬	161回	681名
	カブラ	99回	510名
	けん玉教室・けん玉	206回	1259名
	ボードゲーム （オセロ・人生ゲーム・カロム・将棋）	288回	10,146名
	コマ	158回	1014名
	ねころびシアター	49回	579名
他学年・他校との交流	子どもいけばな教室	8回	336名
	子ども茶道教室	16回	181名
	新年おたのしみ会	1回	76名
	カブラであそぼ～！	1回	25名
	夏休みチャレンジ教室	10回	233名
	世界のボードゲームであそぼ～！	11回	258名
	夏休み特別企画「タイダイ染めに挑戦しよう！」	2回	55名
三世代交流	卓球大会	2回	51名
健全な情緒育成に関すること	コンサート（クリスマス・七夕）	2回	118名
	子ども歳時記体験（工作・しめ縄・料理）	9回	132名
	お手玉であそぼ～！	1回	29名
	忍者ショー	1回	100名

年間登録者数

小学校	中学校	高校生	乳幼児	合計
641名 (610)	110名 (80)	26名 (9)	749名 (633)	1,526名 (1,332)

*（ ）内は前年度

① 防犯・不審者対策について

子どもたちへ不審者対処法を指導した。他の職員に定期的に見回りしてもらった。
また、毎月1回、災害や火災の想定で避難訓練を実施した。

② 安全対策について

点検チェック表を作成し、蛍光灯、おもちゃ、本棚、カーテン、机、イス、ベッド、遊具などを定期的に点検した。

③ 相談や要配慮児童への対応

相談に応じるときは、常に子ども・子育て家庭の置かれている状況や緊急性・重要度に注意し、関係機関との連携を密にした。また、要配慮児童については土・日曜日、長期休暇の様子を注視し、職員間での対応の仕方、言葉掛けなどに留意したほか、学校や地域、各関係機関と連携を図った。

（４）母子・父子福祉センター事業

ひとり親（母子・父子）家庭及び寡婦の方々、乳幼児の親子を対象に、就労支援事業や子育て支援講座を通して福祉の向上に努めた。就労支援講座として、医療事務講座・メディカルドクターズクラーク講座・調剤薬局事務講座・簿記入門講座・日商簿記３級検定対策講座・パソコン教室を開催した。今年度初めて企画したメディカルドクターズクラーク講座は、子育て中の若い母親達に人気があり、育児休業中に資格取得を目指す方に喜ばれた。調剤薬局事務講座、簿記入門講座にて託児依頼があり、受講生は子どもを預け安心して授業に取り組むことができた。講師は、一人ひとりに目を向けて、丁寧な指導をされ、講義終了後、残って質疑応答の対応も行われた。回数を重ねるたびに講師との距離も縮まり、和やかな雰囲気の中で授業が進行し、勉強だけではない良い関係が築けていた。

また、ひとり親家庭の就労支援として、就職活動時の託児を設け子育て支援課からの紹介で１件の託児を行った。ハローワークでの面談や面接を集中して受けることができた」と好評だった。

子育て支援事業としては、おやこタイム・おやこ広場を開催し、乳幼児の親子の子育て支援に力を入れた。４か月健診後のおやこタイムでは、同じ月齢の子を持つ父・母親達が集まり、子育ての楽しさや悩みを共有している。他の親子とのつながりを求める親が積極的に参加し、最近では父親が主体的に子育てに関わっている様子が伺える。

少子化の影響で参加人数自体は減少しているが、少人数は一つの輪になりやすく、全体的に落ち着いて交流できている。おやこ広場ではゆったりと遊びながら親子の時間を過ごし、継続して来る方が多く、安心して楽しく遊べる場所になっている。

ひとり親家庭の親子交流会は、今年度７回の開催となった。人気のある料理交流会ではパン作りに挑戦し、たくさんの方が参加された。４年ぶりのバーベキューも定員を超える申し込みがあった。外で食べると子どもたちも良く食べ、進んで手伝ってくれた。調理をしながら楽しい時間を過ごすことができた」と喜ばれた。１２月は『クリスマスキッズフェスタ』と同日に交流会を行い、子どもの救命救急体験、ゲストの消防士さんが作られたカレーを食べ、一緒にゲームをして楽しい１日を過ごした。日頃業務の違う職員同士の連携も図れ有意義な企画になった。新しい親子の参加も増えつつあり、楽しい交流の場になっている。

母子・父子福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
就労支援事業	パソコン教室（入門編）	10回	54名
	医療事務講座	20回	40名
	メディカルドクターズクラブ講座	8回	23名
	簿記入門講座	10回	97名
	日商簿記3級検定対策講座	9回	60名
	調剤薬局事務講座	8回	54名
	託児	18回	38名
子育て支援	おやこタイム	48回	821名
	おやこ広場	44回	361名
	ひとり親家庭の親子交流会	7回	153名
	託児	1回	1名
母子・児童センター合同企画	ハッピー子育て講座	3回	61名

（５）福祉センター事業「よりあい広場」

尾道市民の方々に広く福祉センターを知ってもらうため様々な内容で実施した。今年度は、コロナ禍前のように定期的に事業を開催することができ、どの企画も多くの市民から申し込みがあった。中でも音楽鑑賞は人気が高く幅広い年齢層の方々が集まった。初企画の『阿波おどり』では踊りを披露してもらい本場に行った気分を味わった。創作活動では『まんまるリボンの弁当袋づくり』、『手ぬぐいでエコバックを作ろう』を行い、初めてミシンを使う子どももいたが、ボランティアから丁寧に教えてもらい自分だけの作品作りに没頭された。『新春邦楽✿コンサート』では伝統楽器の尺八と箏の流麗な演奏の世界に引き込まれ、新年を彩る最高の企画となった。さらに恒例となっている「たおるマジック」では毎年欠かさず参加する方がおられ、一枚のタオルから干支ができあがった。1年通して色々なジャンルの内容を実施し、広く市民の方に福祉センターを知ってもらう機会になった。次年度も引き続き市民のニーズをくみ取りながら魅力ある講座を開催していく。

事業（よりあい広場）の内容

事業名	開催日	参加人数
まんまるリボンのお弁当袋を作ろう！	5月19日（日）	25名
阿波おどり	6月23日（日）	83名
手ぬぐいでエコバックを作ろう！	10月5日（土）	10名
ウクレレと一緒に歌いましょう	10月31日（木）	57名
あの素晴らしい歌をもう一度	11月2日（土）	66名
クリスマスを彩る☆ツリーづくり	11月16日（土）	21名
たおるマジック～干支の“巳”を作ろう～	12月19日（木）	41名
お正月飾り♡羽子板	12月21日（土）	43名
新春邦楽✿コンサート	2月1日（土）	73名

ひだまりサロン@おのみち	3月 2日 (日)	70名
いやしのハワイアン・フラ	3月 13日 (木)	88名
合 計		577名

12. 共同募金事業

(1) 赤い羽根共同募金

各地区・自治会からの戸別募金をはじめ、尾道駅や店舗前での街頭募金、法人や学校・団体からの募金及び募金箱の設置などの募金活動を実施した。様々な工夫をしながら活動を展開したが、人口減少や物価高騰、町内会組織の変化等厳しい状況であり、募金実績額は前年度より減少した。

令和5年度募金実績による令和6年度配分金は、各地区社協やボランティア団体等へ還元し、地域福祉活動に役立てられた。

ア 監査・実施委員会会議の開催

- ・ 監査 5月24日 (金)
- ・ 審査委員会会議 8月 8日 (木)
- ・ 運営委員会会議 9月13日 (金)
- ・ 目標額と実績 令和6年度 [参考] 令和5年度
目標額 21,500,000円 目標額 21,500,000円
実績額 17,878,191円 実績額 18,208,216円

イ 募金実績の内訳

(単位：円)

地域名	旧尾道	御調	向島	因島	瀬戸田	合 計
戸 別	6,587,460	552,300	1,366,800	1,944,650	1,024,800	11,476,010
街 頭	727,069	135,434	116,155	634,131	51,985	1,664,774
法 人	1,279,000	301,569	522,000	257,000	318,000	2,677,569
学 校	169,182	16,405	29,994	23,620	11,443	250,644
職 域	932,876	111,542	110,780	379,160	274,836	1,809,194
合計	9,695,587	1,117,250	2,145,729	3,238,561	1,681,064	17,878,191

ウ 令和6年度配分実績（令和5年度の募金を、令和6年度の事業費として活用）

- 1 地区社協に配分（63地区社協） 5,545,600円
 - (1) 募金実績助成金（3,444,600円）
 - (2) 自主事業助成金（2,101,000円）
- 2 ボランティア・福祉団体等に配分 1,435,000円
 - (1) ボランティア・福祉団体助成金
手話・朗読・点字・介助・読み語りボランティア団体等 26団体
 - (2) 当事者団体助成金
尾道市老人クラブ連合会、身体障害者福祉連合会等 12団体
 - (3) 地域福祉団体助成金

尾道市連合民生委員児童委員協議会、因島地区区長連合会 2 団体

3 市社協事業費に配分 4,196,738 円

福祉総合相談、福祉まつり、福祉教育、ボランティア養成、子育て支援、ふれあいサロン、尾道いきいき大学の6事業

4 広島県共同募金会より県内の福祉活動に配分 8,047,000 円

(2) 能登半島地震災害義援金

本会では、令和6年能登半島地震により被災された方々を支援することを目的に、本所・各支所にて義援金を受け付けた。

【総額＝612,682 円】(令和7年3月31日現在)

皆様から寄せられた義援金は、中央共同募金会を通じて被災地へ届けられます。

13. 災害支援事業

(1) 被災者生活サポートボラネット推進事業

災害時において迅速な連携のもと被災者支援が行えるよう、被災者生活サポートボラネット推進会議や勉強会を開催した。

また、「マニュアル改訂ワーキングチーム会議」では、災害ボランティアセンターの設置及び運営について協議を重ね、有事の際には、社協全体で一体感を持ったスムーズな運営ができるよう、市社協職員を対象とした第1回のシミュレーション研修を開催した。

《会議・勉強会》

開催日	場 所	内 容	参加者
10月4日(金)	総合福祉センター	「尾道市被災者生活サポートボラネット推進会議」 ・能登半島地震における中国ブロック応援派遣の報告について ・勉強会「近年の大規模災害発生時等におけるボラネット構成団体の実際の動き」 講師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課主任 松井寛泰さん ・グループワーク	10名

《研修》

開催日	場 所	内 容	参加者
2月20日（木） 2月27日（木）	総合福祉 センター	「災害ボランティアセンター 第1回シミュレーション研修」 ・ 災ボラ設置までの流れ及び6班の役割や対応フローの説明 ・ ロールプレイング形式による災害ボランティアセンターのシミュレーション ・ グループワーク ・ 県社協総括	85名

（２）防災研修会

災害時の備えの啓発を行うため、研修会を開催した。

《会議・勉強会》

開催日	場 所	内 容	参加者
7月9日（火）	因島総合福祉保健センター	「できることから始めよう 防災研修会」 ・ できることから始めよう 災害に備えよう 講師：尾道市総務課生活安全係 信藤 俊壮さん ・ 「一時避難用非常用持ち出し袋の基本」	29名

14. 地域包括支援センター事業

西部圏域の高齢化進展に伴い、介護予防プランの作成件数は6,062件と、前年比23.6%の増加となったが、そのうち居宅介護支援事業所へのプラン作成委託件数は1,585件と、作成を担ってもらえず、業務負担が大きい中、加えて本来業務である総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防普及啓発事業、介護予防把握事業、認知症地域支援・ケア向上事業を、職員9人体制で実施した。

(1) 総合相談・支援業務

相談内容														
	認知症	高齢者虐待	権利擁護	困難事例	入退院時連携	入院入所支援	介護保険	総合事業	一般介護予防	精神	社会資源等	介護離職防止	その他	計
実件数	57	25	9	45	63	33	527	71	50	5	31	0	33	949
延件数	184	106	34	157	181	85	1,298	189	129	22	82	0	105	2,572
区域外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 介護プラン作成件数（延べ） 6,062 件

	介護予防	総合事業	合 計
直営作成	2,068件	2,409件	4,477件
委託作成	843件	742件	1,585件
合 計	2,911件	3,151件	6,062件

(3) 介護予防普及啓発事業

月 日	事 業	参加者数
4月3日（水）	平原はつらつサロン・平原台ぽかぽかサロン「介護予防体操」 「身体と脳のゲーム」 講師：兼長亜実 有元 愛	25名
4月18日（木）	むつみカフェ「心の健康について」「心と身体の体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	26名
4月24日（水）	いきいきサロン新浜「ACP・終活について」 講師：赤瀬真由美 土橋健太郎	7名
4月30日（火）	モリंगा「介護保険制度について」 講師：有元 愛 土橋健太郎	12名
5月7日（火）	第3区民生委員・児童委員定例会「暑熱順化について」 講師：土橋健太郎	28名
5月7日（火）	第10区民生委員・児童委員定例会「暑熱順化について」 講師：赤瀬真由美	8名

5月8日（水）	第4区民生委員・児童委員定例会「暑熱順化について」 講師：有元 愛 楠千賀子	19名
5月12日（日）	いきいきサロン栗原「知っておいていただきたい腎臓病のおはなし」 講師：内科・腎臓内科かつたにクリニック院長 勝谷昌平先生	39名
5月30日（木）	シルバーリハビリ定例会西部地区「熱中症予防について」 講師：有元 愛	22名
6月3日（月）	第10区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：住田八重	8名
6月4日（火）	第3区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」「SNSを利用した特殊詐欺について」 講師：野田知子	28名
6月6日（木）	平原はつらつサロン「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	22名
6月6日（木）	第9区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」「SNSを利用した特殊詐欺について」 講師：兼長亜実	15名
6月10日（月）	ふれあいサロン松岡団地「熱中症予防について」「フレイル予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	7名
6月12日（水）	男のストレッチ「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	22名
6月12日（水）	門田ほほえみサロン「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	31名
6月17日（月）	福寿会「熱中症予防について」「脳と身体の体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	18名
6月19日（水）	平原台ぽかぽかサロン「熱中症予防について」 講師：兼長亜実	9名
6月28日（金）	スマイルの時間「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	52名
7月3日（水）	尾道健志塾「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	23名
7月3日（水）	第4区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：有元 愛	19名
7月6日（土）	にこにこクラブ「熱中症予防について」「フレイル予防・認知症予防について」 講師：兼長亜実 住田八重	24名
7月10日（水）	尾道市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 講師：尾道市健康推進課 中国労働衛生協会 第一生命 兼長亜実 有元 愛	20名
7月12日（金）	吉浦さくらクラブ「熱中症・食中毒の予防について」「消費者被害について」「通いの場の大切さについて」「頭と身体の体操」 講師：西部圏域生活支援コーディネーター 柏原有利菜 兼長亜実 赤瀬真由美	15名
7月18日（木）	シルバーリハビリ体操吉浦教室「熱中症予防について」「頭と身体の体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	13名

7月19日（金）	尾道市老人クラブ連合会「認知症について」「消費者被害について」講師：楠 千賀子 土橋健太郎	48名
8月22日（木）	門田ほほえみサロン「回想法」 講師：兼長亜実 有元 愛	30名
9月17日（火）	福寿会「認知症についてのお話」 講師：住田八重 楠千賀子	14名
10月9日（水）	男のストレッチ「インフルエンザ予防について」 講師：有元 愛	23名
10月11日（金）	スマイルの時間「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実	55名
10月16日（水）	吉和ふれあいサロン「インフルエンザ予防について」 講師：有元 愛	34名
10月17日（木）	むつみカフェ「インフルエンザ予防について」「免疫力と身体づくりについて」「頭と身体の体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	20名
10月17日（木）	高頭ふれあいサロン「インフルエンザ予防について」「介護保険制度について」「成年後見制度について」 講師：楠千賀子 赤瀬真由美	11名
10月19日（土）	にしごこの家グループホーム家族会 「ACP・自分ノートについて」 講師：兼長亜実 住田八重	16名
10月20日（日）	おのみち福祉まつり「シルバーリハビリ体操」「脳トレ体操・クイズ」 講師：野田知子 兼長亜実 赤瀬真由美	93名
10月21日（月）	福寿会「歩行状態について」「インフルエンザ予防について」 講師：care designみはら 廣澤正人さん 川根大空さん 兼長亜実 有元 愛	15名
10月31日（木）	シルバーリハビリ指導士定例会西部地区 「インフルエンザ予防について」 講師：有元 愛	21名
11月5日（火）	第3区民生委員・児童委員定例会 「インフルエンザ予防について」 講師：土橋健太郎 柘植 純	24名
11月5日（火）	第10区民生委員・児童委員定例会 「インフルエンザ予防について」 講師：赤瀬真由美	7名
11月6日（水）	尾道健志塾「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	20名
11月7日（木）	シルバーリハビリ体操吉浦教室「インフルエンザ予防について」「脳トレ」「レクリエーション」 講師：兼長亜実 有元 愛	9名
11月14日（木）	川上さくらんぼ会「インフルエンザ予防について」「消費者被害について」「成年後見制度について」 講師：楠 千賀子 赤瀬真由美	6名
11月21日（木）	平原はつらつサロン「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	21名
11月22日（金）	門田ほほえみサロン「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	30名

11月22日（金）	栗原公民館・栗原地区老人クラブ連合会「終活講座」 講師：兼長亜実 赤瀬真由美	26名
12月2日（月）	シルバーリハビリ体操教室さんぽ 「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 赤瀬真由美	12名
12月5日（木）	第9区民生委員・児童委員定例会 「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実	17名
2月3日（月）	ふれあいサロンもみじ「介護保険制度について」「認知症クイズ」「介護予防体操」 講師：住田八重 楠千賀子	20名
2月17日（月）	福寿会「オーラルフレイルについて」 講師：歯みんぐ 吉原広枝さん	12名
3月5日（水）	尾道健志塾「消費者被害について」 講師：兼長亜実 有元 愛	16名
3月13日（木）	御調東組研修部「住み慣れた地域で暮らしていく為に」 講師：野田知子	19名

（４）地域活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月1日（月）	第10区民協定例会	元気づくりマップ配布	13名
4月2日（火）	第3区民協定例会	元気づくりマップの紹介と5月21日に開催される「腎臓のはなし」講演会について	28名
4月3日（水）	第4区民協定例会	元気づくりマップの配布	25名
4月4日（木）	第9区民協定例会	元気づくりマップ配布「腎臓のはなし」講演会について	19名
4月17日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗原久山田地区協議体の立ち上げについて	5名
4月26日（金）	地域ケア推進会議	栗北協議体の立ち上げについて	27名
5月2日（木）	第9区民協定例会	ねこのて手帳について	19名
5月7日（火）	第3区民協定例会	暑熱順化について	28名
5月7日（火）	第10区民協定例会	暑熱順化について	11名
5月8日（水）	第4区民協定例会	暑熱順化について	22名
5月11日（土）	地域ケア推進会議	第2層協議体あんしん栗原久山田	28名
5月22日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗原久山田地区協議体の立ち上げについて	4名
5月27日（月）	尾道市地域包括ケア連絡協議会推進部会	フレイル予防について	17名

6月3日（月）	第10区民協定例会	熱中症について	11名
6月4日（火）	第3区民協定例会	熱中症とSNSを利用した詐欺について	28名
6月6日（木）	第9区民協定例会	熱中症とSNSを利用した詐欺について	17名
6月12日（水）	令和6年度福祉まるごと相談会イン西部準備委員会	8月に開催する準備委員会の内容について	8名
6月13日（木）	地域ケア推進会議	西部圏域医療介護ネットワーク会議コア会議	15名
6月26日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗原久山田地区協議体の立ち上げについて	4名
7月2日（火）	第3区民協定例会	フレイル予防講演会とながらスマホの危険性について	27名
7月2日（火）	尾道市地域包括ケア連絡協議会研修	今後の研修計画について	7名
7月3日（水）	第4区民協定例会	介護予防講演会について	21名
7月4日（木）	第9区民協定例会	「ながらスマホによる死亡事故・重傷事故が急増！」チラシ配布	17名
7月5日（金）	第10区民協定例会	介護予防講演会について	7名
7月5日（金）	在宅サービス課・くらし支援課相談員事例研究	困難ケースに対する事例研究・検討会	12名
7月14日（日）	地域ケア推進会議	日比崎地区への協議体説明	20名
7月22日（月）	尾道市地域包括ケア連絡協議会推進部会	オーラルフレイルについて	17名
7月23日（火）	地域ケア推進会議	あんしん栗原・久山田第2層協議体会議	25名
7月24日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗原久山田地区協議体の立ち上げについて	4名
7月28日（日）	地域ケア推進会議	日比崎地区への協議体説明	10名
8月1日（木）	第9区民協定例会	「かいごとそばに」の案内・尾道市ひきこもりサポーター養成講座について	17名
8月5日（月）	第10区民協定例会	「かいごとそばに」の案内・尾道市ひきこもりサポーター養成講座について	18名
8月6日（火）	第3区民協定例会	「かいごとそばに」の案内・尾道市ひきこもりサポーター養成講座について	27名
8月6日（火）	地域ケア推進会議	第3区民生委員との勉強会	7名

8月7日（水）	第4区民協定例会	「かいごとそばに」の案内・尾道市ひきこもりサポーター養成講座について	22名
8月22日（木）	地域ケア推進会議	栗原北地区地域課題について	18名
8月23日（金）	地域ケア推進会議	栗北協議体コアメンバー会議	8名
8月26日（月）	令和6年度福祉まると相談会イン西部準備委員会	西部圏域の福祉まると相談会開催にするにあたっての内容について	14名
8月28日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗北地区協議体立ち上げについて	4名
9月2日（月）	第10区民協定例会	「精神障害の研修案内について」「交通安全ニュース」チラシ配布	11名
9月3日（火）	第3区民協定例会	アルツハイマーデーと3区民生委員と介護支援専門員の交流会について	26名
9月4日（水）	第4区民協定例会	アルツハイマーデー月間とパネル展示について	22名
9月5日（木）	第9区民協定例会	アルツハイマーデー月間とパネル展示について	19名
9月5日（木）	在宅サービス課・くらし支援課相談員事例研究	困難ケースに対する事例研究・検討会	13名
9月24日（火）	第3区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	活動の中での課題や疑問点の意見交換会～ざくばらんに話してみよう～	54名
9月25日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗北地区協議体立ち上げについて	4名
9月25日（水）	地域ケア推進会議	栗北協議体コアメンバー会議	10名
9月26日（木）	尾道市地域包括ケア連絡協議会推進部会	オーラルフレイルについて	14名
10月1日（火）	第3区民協定例会	今年度の医療介護連携ネットワーク会議について	26名
10月2日（水）	第4区民協定例会	「認知症にやさしいまちづくり講演会」について	22名
10月3日（木）	第9区民協定例会	おのみち福祉まつりについて	18名
10月3日（木）	地域ケア推進会議	栗北協議体コアメンバー会議	10名
10月7日（月）	第10区民協定例会	福祉まつりと認知症講演会について	10名
10月29日（火）	きらら介護・医療連携推進会議	地域における介護及び医療に関する課題について	9名

11月5日（火）	第3区民協定例会	県内で多数発生しているSNS型詐欺について	28名
11月5日（火）	第10区民協定例会	インフルエンザ予防チラシ配布	10名
11月6日（水）	第4区民協定例会	インフルエンザと特殊詐欺について	23名
11月7日（木）	第9区民協定例会	民生委員・児童委員と介護支援専門員意見交換会	49名
11月7日（木）	尾道市地域包括ケア連絡協議会研修部会	今後の研修計画について	7名
11月14日（木）	在宅サービス課・くらし支援課相談員事例研究	困難ケースに対する事例研究・検討会	12名
11月19日（火）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗原久山田地区協議体の立ち上げについて	4名
11月19日（火）	地域ケア推進会議	あんしん栗原・久山田第2層協議体会議	20名
11月27日（水）	尾道市地域包括ケア連絡協議会推進部会	オーラルフレイルについて	16名
12月2日（月）	第10区民協定例会	民生委員・児童委員と介護支援専門員意見交換会	52名
12月3日（火）	第3区民協定例会	緊急通報装置について	27名
12月4日（水）	第4区民協定例会	認知症講演会について	23名
12月5日（木）	第9区民協定例会	交流会のアンケート報告とインフルエンザ予防について	19名
1月6日（月）	第10区民協定例会	ちから塾の紹介	10名
1月9日（木）	在宅サービス課・くらし支援課相談員事例研究	困難ケースに対する事例研究・検討会	13名
1月22日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗北地区協議体立ち上げについて	5名
1月29日（水）	尾道市地域包括ケア連絡協議会推進部会	オーラルフレイルについて	17名
1月30日（木）	地域ケア推進会議	シルバーリハビリ定例会西部地区	23名
1月31日（金）	地域ケア推進会議	栗北地区協議体準備委員会	15名
2月3日（月）	第10区民協定例会	広島県警から「交通事故について」チラシ配布・啓発	9名
2月4日（火）	第3区民協定例会	給付金などの手続きが困難方の対応方法について	26名

2月5日（水）	第4区民協定例会	交通安全ニュースについて	24名
2月6日（木）	第9区民協定例会	おのまるフォーラムについて	16名
2月17日（月）	まるごと福祉座談会西部圏域	民生委員・地区社協・はなはな・包括等の専門職で日頃の活動については話し合う	90名
2月26日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗北地区協議体立ち上げについて	4名
3月3日（月）	第10区民協定例会	来年度の介護支援専門員との交流会について	10名
3月4日（火）	第3区民協定例会	いきいき大学申込について	29名
3月5日（水）	第4区民協定例会	いきいき大学申込について	23名
3月6日（木）	第9区民協定例会	心とからだの健康講座のご案内	21名
3月18日（火）	尾道市地域包括ケア連絡協議会推進部会	オーラルフレイルについて	10名
3月24日（月）	地域ケア推進会議	栗北地区協議体準備委員会	15名
3月26日（水）	地域ケア推進会議	西部地域包括と生活支援コーディネーター共同会議・栗北地区協議体立ち上げについて	4名

（５）認知症地域支援推進員の活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月2日（火）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	9名
4月2日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関する事	47名
4月10日（水）	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関する事	29名
4月23日（火）	在宅介護者の集い	家族交流会等について	17名
4月24日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	2名
5月7日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関する事	47名
5月8日（水）	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関する事	29名
5月15日（水）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	10名
5月16日（木）	個別ケース会議	地域ケア会議（ケアマネ支援）	6名
5月19日（日）	吉浦カフェ	認知症カフェの開催・支援に関する事	23名

5月22日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	5名
5月29日（水）	にしぎこの家運営推進会議	運営状況の報告 高齢者虐待指針について	9名
6月4日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関する こと	30名
6月11日（火）	やまびこカフェ運営会議	認知症カフェの開催・支援の運営につ いて	10名
6月12日（水）	オレンジカフェ福祉セ ンター・友	認知症カフェの開催・支援に関するこ と	30名
6月19日（水）	認知症推進員と初期集 中支援チーム員（北チ ーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	10名
6月26日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	3名
7月2日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関すること	34名
7月10日（水）	オレンジカフェ福祉セ ンター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	27名
7月17日（水）	認知症推進員と初期集 中支援チーム員（北チ ーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	10名
7月24日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	2名
7月25日（木）	おのみち見守り訓練準 備会議	おのみち見守り訓練に関する内容検討	6名
7月26日（金）	なでしこ運営推進会議	運営状況の報告等	12名
7月29日（月）	ひまわり運営推進会議	運営状況の報告等	5名
7月31日（水）	にしぎこの家運営推進 会議	運営状況の報告 おのみち見守り訓練について	9名
8月14日（水）	オレンジカフェ福祉セ ンター・友	認知症カフェの開催・支援に関するこ と	20名
8月21日（水）	認知症推進員と初期集 中支援チーム員（北チ ーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	11名
8月28日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	2名
8月29日（木）	認知症について啓発活 動	アルツハイマーデー月間普及啓発・パ ネル展示について	2名
9月2日（月）	認知症について啓発活 動	アルツハイマーデー月間普及啓発・パ ネル展示について	5名
9月2日（月）	介護の日イベント準備 会議	イベントでの内容検討	6名
9月3日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関すること	33名
9月10日（火）	福祉まつり打ち合わせ	高齢者（認知症）相談会について	28名
9月11日（水）	オレンジカフェ福祉セ ンター・友	認知症カフェの開催・支援に関するこ と	30名

9月12日（木）	認知症相談会	アルツハイマーデー月間普及啓発相談会	2名
9月15日（日）	吉浦カフェ	認知症カフェの開催・支援に関する事 こと	25名
9月18日（水）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	10名
9月20日（金）	イオン感謝祭イベント	イオン感謝祭イベント支援	18名
9月25日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
9月26日（木）	ひまわり運営推進会議	運営状況の報告等	4名
9月27日（金）	なでしこ運営推進会議	運営状況の報告等	8名
10月1日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関する事 こと	32名
10月3日（木）	おのみち見守り訓練準備会議	おのみち見守り訓練に関する内容検討	7名
10月9日（水）	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関する事 こと	33名
10月18日（金）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	10名
10月22日（火）	在宅介護者の集い	家族交流会等について	28名
10月23日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
10月26日（土）	にしごこの家運営推進会議	B C P 訓練等	15名
10月20日（日）	おのみち福祉祭り	パネル展・認知症相談会	4名
11月5日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関する事 こと	30名
11月9日（土）	認知症にやさしいまちづくり講演会	絶対介護時代！！～あなたも必ず介護する人、される人、～ 講師：トリニティカレッジ広島福祉専門学校介護福祉学科学科長 吉岡俊昭さん	204名
11月20日（水）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	12名
11月26日（火）	第1回チームオレンジ連絡会	「チームオレンジ」とは～チーム員として大切な事～ チームオレンジの活動状況について、意見交換	40名
11月27日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
11月27日（水）	ひまわり運営推進会議	運営状況の報告等	5名
12月3日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関する事 こと	41名
12月11日（水）	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関する事 こと	34名

12月15日（日）	吉浦カフェ	認知症カフェの開催・支援に関すること	16名
12月17日（火）	在宅介護者の集い	家族交流会等について	19名
12月18日（水）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
12月25日（水）	広島県東部認知症疾患医療センターと会議	意見交換会等	22名
1月7日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関すること	31名
1月8日（水）	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	31名
1月15日（水）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
1月22日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	3名
1月29日（水）	ひまわり運営推進会議	運営状況の報告等	4名
1月29日（水）	にしぎこの家運営推進会議	事業所外部評価	8名
1月30日（木）	おのみち見守り訓練	西迫地区見守り訓練	45名
2月4日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関すること	29名
2月18日（火）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
2月25日（火）	在宅介護者の集い	公開講座「認知症のある方の金銭管理が不安になったら」～成年後見人等の役割から学ぶ大切な事～ 講師：三原尾道相続遺言相談センター行政書士 中野辰悟さん	37名
2月26日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	3名
2月26日（水）	オレンジカフェ連絡会	グループワークで意見交換会	90名
2月27日（木）	ねんりんはうす尾道運営推進会議	運営状況の報告 身体拘束廃止委員会	7名
3月4日（火）	やまびこカフェ	認知症カフェの開催・支援に関すること	28名
3月12日（水）	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	32名
3月16日（日）	吉浦カフェ	認知症カフェの開催・支援に関すること	25名
3月19日（水）	認知症推進員と初期集中支援チーム員（北チーム）との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	9名
3月26日（水）	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	1名
3月26日（水）	にしぎこの家運営推進会議	事業所外部評価報告 地域課題について	10名
3月28日（金）	ひまわり運営推進会議	事業所外部評価報告 運営状況の報告等	4名

(6) 包括支援センター会議

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月12日（金）	権利擁護部会	令和6年度主な活動目標・年間計画について	14名
4月16日（火）	在宅医療・介護連携推進部会	「令和6年度主な活動の目標」「活動計画表」についての検討	16名
4月18日（木）	管理者会議	令和5年度の活動の成果と令和6年度の重点課題について	10名
4月19日（金）	認知症施策推進部会	令和6年度の主な活動の目標、年間計画について	18名
4月22日（月）	介護予防・生活支援部会	令和6年度主な活動目標・活動計画表について	18名
5月10日（金）	権利擁護部会	9月に予定している勉強会について	15名
5月17日（金）	管理者会議	運営協議会と担当者会議の実施について	10名
5月21日（火）	在宅医療・介護連携推進部会	6月の在宅医療・介護連携推進事業の勉強会に向けて	15名
5月23日（木）	介護予防・生活支援部会	ねこのて手帳第4版について	19名
5月23日（木）	認知症施策推進部会	地域支援推進員の研修について	16名
6月17日（月）	介護予防・生活支援部会	ねこのて手帳第4版について 新規の店舗の取り扱いについて	18名
6月18日（火）	在宅医療・介護連携推進部会	尾道市の在宅医療・介護連携推進事業について	16名
6月20日（木）	管理者会議	地域包括支援センターの事業評価について	10名
6月21日（金）	認知症施策推進部会	アルツハイマー月間パネル展の内容について	15名
6月24日（月）	権利擁護部会	法テラス「個別ケース会議への弁護士派遣制度」について紹介	14名
7月16日（火）	在宅医療・介護連携推進部会	ACP研修会の役割分担	15名
7月19日（金）	管理者会議	活動実績の改正部分と事業評価、運協の資料等について	10名
7月23日（火）	令和6年度市内包括支援センター運営協議会	各圏域の地域包括ケアシステム構築状況等	22名
7月25日（木）	権利擁護部会	障害等関係機関の交流会について	15名
7月30日（火）	認知症施策推進部会	認知症講演会について	18名
8月9日（金）	介護予防・生活支援部会	介護予防講演会「今日から始める介護予防」役割分担について	18名
8月26日（月）	権利擁護部会	相談機関の交流・意見交換会について	15名

9月5日(木)	認知症施策推進部会	アルツハイマー月間パネル展について	17名
9月9日(月)	在宅医療・介護連携推進部会	障害と介護の連携会議について	16名
9月11日(水)	権利擁護部会	障害相談支援機関と権利擁護部会意見交換会	40名
9月12日(木)	管理者会議	保険と介護の一体的実施事業について	10名
9月30日(月)	介護予防・生活支援部会	ねこのて手帳第4版の進捗状況について	18名
10月11日(金)	認知症施策推進部会	東部認知症疾患医療センター連絡会議について	18名
10月15日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	ACP研修会で配布するアンケート内容について	16名
10月17日(木)	管理者会議	警察との連携について	10名
10月21日(月)	権利擁護部会	権利擁護の広報について	15名
10月29日(火)	介護予防・生活支援部会	ねこのて手帳店舗の掲載の仕方について	18名
11月8日(金)	権利擁護部会	2月に予定している講演会の内容について	16名
11月15日(金)	介護予防・生活支援部会	ねこのて手帳について 協議体への各包括の関わり方	18名
11月18日(月)	認知症施策推進部会	認知症講演会の振り返り	17名
11月19日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	ACP研修会の振り返り、アンケート結果について	17名
11月21日(木)	管理者会議	マイナンバーカードの健康保険証利用(マイナ保険証)について	10名
12月13日(金)	権利擁護部会	「高齢者虐待マニュアル」の振り返り	17名
12月16日(月)	介護予防・生活支援部会	ねこのて手帳第4版の修正点について	20名
12月20日(金)	認知症施策推進部会	認知症カフェ連絡会について	11名
12月26日(木)	管理者会議	ケアネットフォーラム因島第3回地域づくり講演会と2層協議体についての研修会について	10名
1月10日(金)	権利擁護部会	年間活動の体制について	17名
1月16日(木)	管理者会議	令和7年度自立支援型地域ケア会議について	10名
1月21日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	12/19障害福祉分野と介護保険分野との合同研修の振り返り	17名
1月23日(木)	認知症施策推進部会	疾患センター・初期集中支援チーム・推進員交流会について	16名

2月14日（金）	介護予防・生活支援部会	ねこのて手帳第4版の修正点について 令和6年度の成果と課題について	17名
2月14日（金）	権利擁護部会	2/10 虐待研修会の振り返り	16名
2月18日（火）	在宅医療・介護連携推進部会	令和6年度の主な活動目標の成果と課題について	16名
2月20日（木）	管理者会議	令和7年度の敬老優待乗車証についてとシルバーリハビリ体操2級指導士養成講習について	10名
2月21日（金）	認知症施策推進部会	来年度の認知症地域支援推進員の新任・現任研修の案内・令和6年度の活動の成果・課題について	15名
3月12日（水）	介護予防・生活支援部会	第4版ねこのて手帳の修正点について 令和6年度の成果と課題について	18名
3月14日（金）	権利擁護部会	令和6年度活動の成果とR7重点課題について	17名
3月18日（火）	在宅医療・介護連携推進部会	障害の相談部会との協議内容報告について	13名
3月19日（水）	管理者会議	令和6年度活動の成果と令和7年重点課題について	10名
3月21日（金）	認知症施策推進部会	令和6年度の活動の成果・課題について	16名

※尾道市西部地域包括支援センター定期会議を毎月1回開催
西部圏域生活支援コーディネーターとの共同会議を毎月1回開催
在宅サービス課介護事業所会議に月1回出席

（7）研修等

ア 尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催

月 日	内 容	参加者数
4月26日（金）	第249～251回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法を用いた指導方法」3回シリーズ 講師：尾道市介護支援専門員協会会長 邑岡志保さん	2名
5月14日（火）	尾道市介護支援専門員協議会総会	1名
7月9日（火）	「高齢者に多い皮膚病について」 講師：数田皮膚科医院 数田泰治先生	3名
8月22日（木）	「尾道市社協の事業紹介～さらなる専門職連携を目指して～」 講師：尾道市社会福祉協議会地域福祉課 佐藤友亮 くらし支援課 高橋 望 木本 凌	1名
9月18日（水）	「地域包括ケアを推進する地域リハビリテーションの取り組み」～広島県地域リハビリテーション広域支援センターの役割を中心に～ 講師：公立みつぎ総合病院介護老人保健施設「みつぎの苑」リハビリ部主任作業療法士 渋谷晋太郎さん	4名

10月22日（火）	「対人援助も連携もうまいコミュニケーションの取り方」 ～アドラー心理学ベースのコーチングで、あなたの「聴く」と「伝える」が変わる～ 講師：京都企業コーチング代表 太田英樹さん	1名
11月12日（火）	「知っておきたい腎臓のおはなし」 講師：かつたにクリニック 院長 勝谷昌平先生	3名
1月23日（木）	施設ケアマネ研修 意見交換会「みなさん、どうしてですか？」①看取り期におけるケアプランの個別性について②家族・医療職との関係づくり	1名
2月4日（火）	在宅における運動器疾患について 講師：医療法人社団上野整形外科院長 上野宏泰先生	2名

イ 広島県・その他

月 日	内 容	参加者数
5月17日（金）	第18回尾道市自立支援型地域ケア会議「内科的疾患があるので負担の少ないリハビリについてアドバイスが欲しい」 事例提供者：尾道市地域包括支援センター 野田映子さん 「下肢痛があってもできるリハビリのアドバイスが欲しい」 事例提供者：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重	7名
5月20日（月） 5月21日（火）	令和6年度広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会 地域包括支援センター基礎研修 講師：広島市口田地域包括支援センター 元廣 緑さん 広島市瀬野川東地域包括支援センター 鎌倉直司さん	1名
7月12日（金）	令和6年度地域包括ケアセミナー応用編 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社主任研究員 岩名礼介さん	1名
7月19日（金）	「管理者がリーダーとして果たす役割と管理者としての取り組み」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 越部恵美さん 常任理事 久保田竜二さん	1名
7月23日（火）	令和6年度生活支援体制整備事業研修「生活支援コーディネーターが活動する基本的な視点とこれからの視点」 講師：一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋幸巳さん	1名
8月2日（金）	令和6年度ケアマネジメント向上研修 講師：北広島町雄鹿原診療所所長 東條環樹さん 広島県介護支援専門員協会常任理事 中東奈津紀さん	2名
8月16日（金）	第19回尾道市自立支援型地域ケア会議 「変形性膝関節症のより外出の機会が減少している事例」 事例提供者：南部地域包括支援センター 原田幸雄さん 「体重コントロールができていない事例」 事例提供者：東部地域包括支援センター 新田恵子さん	5名
8月20日（火）	令和6年度広島県自立支援型ケアマネジメントアセスメント 向上研修 「心不全を抱える軽度者の生活を支えるために、 在宅で留意すべき医学的視点について～在宅医の立場から～」 講師：コールメディカルクリニック広島副院長 伊達 修先生	1名
8月22日（木）	広島県国民健康保険団体連合会主催令和6年度市町等苦情処理 ブロック（東部）連絡会議	1名

9月11日（水）	令和6年度相談機関交流・意見交換会「精神疾患（依存・引きこもり・統合失調症）へのよりよい対応、重層的な関りに向けた相談機関の交流・意見交換会」	3名
9月18日（水）	地域包括支援センターの業務の一つである権利擁護業務について 講師：坂町地域包括支援センター 木下健一さん 三和地域包括支援センター 黒木勇治さん	1名
9月19日（木）	令和6年度精神保健福祉研修会「働く世代のメンタル～うつ病の基礎知識と対応について」 講師：たかはしメンタルクリニック院長 高橋輝道先生	1名
9月26日（木） 9月27日（金）	令和6年度認知症地域支援推進員研修認知症施策の動向と推進員の役割確認 講師：足利市地域包括支援センターきたなか 吉田千比呂さん 徳山市地域包括支援センター 川添圭子さん	1名
10月5日（土）	倫理研修・個人情報・プライバシー保護について 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 渡部貴則さん	1名
10月6日（日）	介護支援専門員の倫理研修「法令遵守」 講師：弁護士法人坂下法律事務所 坂下宗生さん 「個人情報・プライバシー保護」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 渡部貴則さん 「倫理」 講師：広島県介護支援専門員協会常任理事 池本善典さん	1名
10月9日（水）	虐待防止検討委員会研修「虐待の芽を摘む！不適切ケア第3弾」 講師：株式会社フィーグ代表取締役 橘高裕行さん	5名
10月9日（水） 10月29日（火）	令和6年度広島県自立支援型ケアマネジメント基本研修 講師：広島県健康福祉局健康づくり推進課主任 落合由里さん 講師：広島県地域包括ケア推進センター 望月マリ子さん	1名
10月11日（金）	令和6年度第2回向島包括圏域医療・介護ネットワーク会議 講義「口腔ケアについて」 講師：桑原歯科医院 桑原健二先生 講義「口腔体操について」 講師：訪問看護ステーションいちろうの樹言語療法士 嶋田利恵さん	2名
10月15日（火）	令和6年度第1回広島県生活支援体制整備における多機関合同圏域別意見交換会 実践報告者：坂町地域包括支援センター 木下健一さん 坂町第1層清潔支援コーディネーター 平本沙知さん	1名
10月16日（水） 10月23日（水） 11月20日（水）	令和6年度救命講習 講師：尾道市消防局	9名
10月31日（木）	令和6年度ACP研修「事例を通じて終末期医療での医療介護連携を考える」 講師：まきはたクリニック院長 巻幡清先生	4名
10月31日（木）	令和6年度第1回感染症研修会「明日から実践する平時の感染対策～手指衛生と防護具を中止に～」 講師：尾道市立市民病院感染管理認定看護師 内海友美さん	5名
11月9日（土）	令和6年度第1回感染症研修会「明日から実践する平時の感染対策～手指衛生と防護具を中止に～」 講師：尾道市立市民病院感染管理認定看護師 内海友美さん	2名
11月11日（月）	令和6年度職員交通安全研修 講師：広島県安全運転管理協議会 交通管理部長 佐々木太平さん	2名

11月12日（火）	虐待防止検討委員会研修「虐待の芽を摘む。不適切ケア第3弾」 講師：株式会社フィーグ代表取締役 橘高裕行さん	4名
11月13日（水）	広島県自立支援型地域ケア個別会議司会者養成研修 講師：広島県地域包括推進センター次長 望月マリ子さん	1名
11月15日（金）	第20回尾道市自立支援型地域ケア会議「パーキンソン病に罹患された利用者の生活のポイントについて」 事例提供者：西部地域包括支援センター 有元 愛 「身体中に痛みがある利用者の意欲の引き出し方について」 事例提供者 尾道市地域包括支援センター 國西直美さん	5名
11月15日（金）	令和6年度尾道市福祉・介護人材確保総合支援事業福祉・介護職員の管理者向け人材育成研修「職場内の活発なコミュニケーションを目指して」 講師：ケアラーサポート尾道合同会社代表社員 中村恵美さん	1名
11月27日（水）	権利擁護講演会人と家の終活セミナー 講師：司法書士 亀谷昌宏さん	2名
11月29日（金）	令和6年度くらしサポートセミナー知ってあんしん！「相続登記義務化と空き家等の対策」 講師：司法書士法人山本事務所代表司法書士 山本 学さん	1名
11月30日（土）	令和6年度広島県介護支援専門員協会スーパービジョン研修 「主任ケアマネとしてケアマネをスーパーバイズするということ」 講師：河口社会福祉事務所認定社会福祉士 河口幸貴さん	1名
12月4日（水）	自立支援型地域ケア会議事例提供者向け研修 講師：広島県地域包括ケア推進センター次長 望月マリ子さん	1名
12月10日（火）	令和6年度処遇困難事例研修第1回「複合的課題を抱えた家族への支援」 講師：県立広島大学保健福祉部保健福祉学科教授 金子 努さん	1名
12月12日（木）	第34回尾三地域がん連携フォーラム「ACPについて」「アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）～最近の話題と今後の展望～」 講師：聖隷三方原病院緩和と支持治療科 森 雅紀先生	1名
12月19日（木）	令和6年度障害福祉分野と介護保険分野との合同研修会 ケース紹介：相談支援センターさつき 豊久鉄大さん ケアプランセンターすまいる 有川千春さん 障害福祉サービス・制度について 講師：尾道市社会福祉課障害福祉係 河村有美さん 相談支援センターりそら 恵谷裕紀さん	5名
12月24日（火）	令和6年度処遇困難事例研修第2回「ひきこもりの理解」「8050問題～中高年層のひきこもりについて～」 講師：広島県精神保健福祉センター次長兼地域支援課課長 高石佳幸さん	1名
1月24日（金）	令和6年度認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チーム員合同研修会「認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チーム員の役割と有機的な連携による支援体制づくり」 講師：兵庫県立大学大学院教授 筒井孝子さん	1名
1月28日（火）	令和6年度尾道市西部圏域ケアマネジメントの質の向上研修「くらし支援課って知っていますか？」～生活困窮に対する制度と支援活動の流れ～ 講師：尾道市社会福祉協議会くらし支援課 高橋 望	9名

2月10日（月）	令和6年度 高齢者虐待対応研修会 講師：株式会社フィーク代表取締役 橘高裕行さん	3名
2月4日（火） 2月12日（水）	メンタルヘルス研修強みを活かしてイキイキと仕事をしよう 講師：株式会社シーズポート 森田由美子さん	6名
2月12日（水）	朝日新聞社認知症フレンドリージュニア講座認知症を学ぼう 講師：朝日新聞社 坂田一裕さん	2名
2月19日（水）	令和6年度在宅サービス課災害対策訓練研修 講師：西部地域包括支援センター 住田八重	8名
2月21日（金）	自立支援型地域ケア会議「糖尿病・脊椎管狭窄症を罹患している方の食事面・運動について」 事例提供者：尾道市東部地域包括支援センター 檜原未来さん 「糖尿病・腎性貧血・左不全麻痺がある利用者の日常生活動作について」 事例提供者：尾道市南部地域包括支援センター 井上健太さん	2名
2月27日（木）	令和6年度在宅医療推進に向けた合同研修会野中式事例検討会 講師：ケアプランセンターすまいる 屋敷幸代さん 有川千春さん	1名
2月20日（木） 2月27日（木）	災害ボランティアセンター第1回シミュレーション研修 講師：災ボラワーキングチーム	9名
3月3日（月）	おのまるフォーラム「つながりを楽しめるまちづくり 尾道で考えるビジョン」 講師：中央大学法学部教授 宮本太郎さん	2名
3月5日（水）	令和6年度小地域ネットワーク活動実践発表会 講師：ノートルダム清心女子大学人間生活学科 中井俊雄さん	2名
3月18日（火）	令和6年度権利擁護セミナー成年後見人の業務を知ろう 講師：広島県立大学保健福祉学科人間福祉学コース 手島 洋さん	1名

15. 介護保険事業

（1）居宅介護支援事業

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行った。また、要介護認定調査等の委託事業を実施した。

① 居宅介護支援事業所

新たに介護予防支援事業所の指定を受け、介護予防サービス計画の直接作成を行うとともに、事業所の長期目標を「令和6年度介護報酬改定を理解し、特定事業所の役割を果たしながら業務を継続できる。」と定め、ケアマネジャー5名で業務を行った。

また、広島県介護支援専門員実務研修実習生、県立広島大学保健福祉学部看護学コース実習生の受け入れや、ファシリテーターとして、広島県介護支援専門員協会主催の適切なケアマネジメント手法研修へ参加した。

ア 利用者の状況

介護保険 サービス計画作成件数

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
168	233	384	588	183	128	45	1,729

総合事業 サービス計画作成件数

事業対象者	要支援	要支援 2	合計
31	98	205	334

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 法人、事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
8月29日 (木)	職務理念策定にかかるワークショップ型座談会	5名
10月9日 (水)	虐待防止検討委員会研修「虐待の芽を摘む！不適切ケア第3弾」 講師：株式会社フィーク代表取締役 橘高裕行さん	5名
10月23日 (水) 11月20日 (水)	救急救命講習 入門編	3名
10月31日 (木)	令和6年度第1回感染症対策研修	5名
1月9日 (木)	くらし支援課 在宅サービス課事例検討会	1名
1月15日 (水)	令和6年度職域メンタルヘルス対策講演会 「復職支援（リワーク）について」	1名
1月28日 (火)	令和6年度尾道市西部圏域ケアマネジメントの質の向上研修会「くらし支援課って知っていますか？」 ～生活困窮に対する制度と支援活動の流れ～ 講師：尾道市社会福祉協議会くらし支援課 高橋 望	5名
2月4日 (火) 2月12日 (水)	職員研修「メンタルヘルスについて」	5名
2月13日 (木)	令和6年度尾道市西部包括圏域事例検討会 講師：居宅介護支援事業所きらら 片岡智子さん アドバイザー：相談支援センターさつき相談支援専門員 豊久鉄大さん 事例：尾道市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 岡田しのぶ	5名
2月19日 (水)	令和6年度第1回BCP災害対策机上訓練研修 講師：住田八重	4名
2月20日 (木) 2月27日 (木)	災害ボランティアセンター 第1回シミュレーション研修	5名

事業所内利用者把握と諸連絡については毎週1回開催した

(イ) 事業所外研修（尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催）

月 日	内 容	参加者数
4月26日 (金)	第249～251回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法を用いた指導方法」3回シリーズ 講師：尾道市介護支援専門員協会会長 邑岡志保さん	4名

6月28日（金）	第249～251回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法を用いた指導方法」3回シリーズ 講師：尾道市介護支援専門員協会会長 邑岡志保さん	4名
10月31日（木）	令和6年度ACP研修会 「事例を通して終末期医療での医療介護連携を考える」 講師：まきはたクリニック院長 巻幡清先生 講師：訪問看護ステーションむかいしま看護師 高垣優子さん	1名
11月28日（木）	第4回西部圏域医療介護等ネットワーク会議	4名
12月19日（木）	第255回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「障害支援関係者と介護支援専門員との合同研修会」	1名

事業所外研修（広島県、その他）

月 日	内 容	参加者数
10月7日（月）	令和6年度介護支援専門員の倫理研修オンライン研修 「個人情報・プライバシー保護」「法令遵守」「倫理」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 渡部貴則さん	1名
10月17日（木）	2024年度第2回地域連携パス勉強会 「大腿骨近位部骨折について」 講師：JA尾道総合病院整形外科部長 松浦正己先生	1名
9月～12月	令和6年度広島県主任介護支援専門員更新研修	1名
12月10日（火）	「適切なケアマネジメント手法基本ケア講師養成研修」 講師：広島県介護支援専門員指導者	1名
1月10日（金） 1月14日（火）	令和6年度介護支援専門員が知りたい他方の理解 講師：広島県介護支援専門員指導者	1名
2月12日（水）	令和6年度「ひろしま社協活動推進会議」ZOOM開催	1名
2月20日（木）	令和6年度実務研修実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員指導者	4名
2月27日（木）	「在宅医療推進に向けた合同研修会」	1名

(ウ) その他・交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
5月15日（水）	令和6年度第18回自立支援型地域ケア会議	2名
9月24日（火）	第3区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	2名
11月7日（木）	第9区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	2名
12月2日（月）	第10区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	4名

(エ) 実習生の受入れ

月 日	内 容	受講者数
4月8日（月） 4月17日（水） 4月30日（火）	広島県介護支援専門員実務研修受講者	1名

(オ) 講師等派遣

月 日	内 容	派遣者数
10月～3月	適切なケアマネジメント手法基本ケア全4回	1名
3月8日(土)	令和6年度実務研修講師連絡会(第2回)	1名

② すずらん居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「利用者・家族に寄り添うケアプランの作成ができる。業務継続の取り組みができる。」と定め、ケアマネジャー3名で業務を行った。

ア 利用者の状況

介護保険 サービス計画作成件数

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
0	0	399	379	79	120	58	1,035

総合事業 サービス計画作成件数

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	27	91	118

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 法人・事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
5月29日(水)	虐待等防止検討会議	1名
8月29日(木) 9月26日(木)	尾道市社会福祉協議会 職務理念等策定座談会	3名
10月9日(水)	高齢者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トッツ 橘高裕行さん	3名
10月15日(火)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 事業所内伝達研修	3名
10月16日(水) 11月20日(水)	令和6年度救命講習 講師：尾道市消防局	3名
10月31日(木)	令和6年度第1回感染症研修会 「明日から実践する平時の感染対策～手指衛生と防護服を中心に～」 講師：尾道市立市民病院感染管理認定看護師 内海友美さん	1名
11月5日(火)	感染症対策研修事業所内伝達研修	3名
11月26日(火)	令和6年度第2回感染症研修会 「肺結核のお話」 講師：三原市医師会副院長 奥崎 健先生	3名
2月4日(火) 2月12日(水)	職員研修「強みを生かしてイキイキと仕事をしよう！！」 講師：株式会社シーズポート 森田由美子さん	3名

2月20日（木） 2月27日（木）	災害ボランティアセンター第1回シミュレーション研修	3名
----------------------	---------------------------	----

※事業所内でのケアマネ会議は週1回（月曜日）に実施

※生口島のケアマネ会議は2か月に1回（第3火曜日）に実施（偶数月）

（イ）事業所外研修（尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催）

月 日	内 容	参加者数
4月26日（金）	第250回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法を用いた指導方法第2回」 講師：尾道さつき会尾道福祉専門学校校長 邑岡志保さん	1名
5月14日（火）	尾道市介護支援専門員連絡協議会 総会	1名
6月28日（金）	第251回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法を用いた指導方法 第3回」 講師：尾道さつき会尾道福祉専門学校校長 邑岡志保さん	1名

事業所外研修（広島県、その他）

月 日	内 容	参加者数
6月16日（日）	令和6年度広島県介護支援専門員協会定期総会 「地域共生社会の実現に向けた広島県の取組について」 講師：広島県健康福祉局地域共生社会推進課長 山本美恵子さん	1名
7月19日（金）	令和6年度管理者研修 「リーダーとして果たす役割と管理者としての取組について」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 越部恵美さん 広島県介護支援専門員協会常任理事 久保田竜二さん	1名
10月1日（火）	令和6年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」「法令遵守」「倫理」 講師：渡部貴則さん 池本善典さん 坂下宗生さん	1名
2月19日（水）	令和6年度実務研修実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員協会 実習体制検討グループ	2名

（ウ）その他、交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
5月22日（水）	因島介護支援専門員研修 「成年後見制度研修会」 講師：村上司法事務所 村上裕紀さん	3名
6月12日（水）	令和6年度生口島圏域民生児童委員・介護支援専門員意見交換会 「高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画について」 講師：尾道市高齢者福祉課係長 久松寛明さん	3名
8月16日（金）	令和5年度自立支援型地域ケア会議（第19回）傍聴	2名
8月20日（火）	生口島ケアマネ会議（事例検討会）	3名
11月15日（金）	因島介護支援専門員研修 「頻尿・便秘？快適な排泄を目指して」 講師：J A尾道総合病院 認定看護師 豊田明美さん	1名

2月18日（火）	生口島ケアマネ会議（事例検討会）	3名
2月21日（金）	令和6年度自立支援型地域ケア会議（第21回）傍聴	1名
3月13日（木）	第4回生口島圏域医療・介護ネットワーク会議 「尾道市の医療介護連携について」 講師：尾道市高齢者福祉課係長 久松寛明さん 「糖尿病 透析導入にならないための注意点」 講師：尾道市立市民病院附属瀬戸田診療所長 大西 毅医師	3名
3月18日（火）	第5回 瀬戸田オレンジネットワーク会議 「認知症施策推進計画について」 講師：尾道市高齢者福祉課 土屋睦子さん	1名

（エ）実習生の受入れ

月 日	内 容	参加者数
4月10日（水） 4月17日（水） 4月19日（金）	広島県介護支援専門員実務研修受講者	1名

（２）訪問介護事業

ヘルパーの高齢化が進む中、人材の確保が非常に困難で、新規ケースの受け入れに苦慮した1年であったが、居宅介護支援事業所と連携をとりながら事業運営に努めた。要介護者や要支援者等に対し、居宅を訪問して入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施することができた。

① 訪問介護事業所

事業所の目標を、「気持ちに余裕を持ちストレスをためずモチベーションがあがるような職場づくりに努める。」「利用者に思いやりのある姿勢で信頼関係を築き、周囲への配慮で安全を守る。」と定め、9名の常勤ヘルパーと5名の嘱託ヘルパー、23名の登録ヘルパーが在宅での身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 159名、総合事業 148名、合計 307名

ブロック	1	2	3	4	5	6	市外	合 計
介 護	2	13	32	35	49	28	0	159
総合事業	2	7	19	41	59	20	0	148
合 計	4	20	51	76	108	48	0	307

介護保険利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
117	114	117	113	108	116	115	108	108	104	105	102

総合事業利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
110	109	112	112	110	111	112	111	112	108	109	107

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月10日（水）	今年度の事業所目標 全国交通安全運動実施 4/6～4/15 災ボラセンター立ち上げ 判断に必要な情報収集について 倫理・法令遵守・個人情報・プライバシー保護	36名
5月8日（水）	新型コロナウイルスが5類に移行して1年 被災状況報告のテスト配信及び報告訓練 尾道市社協公式 SNS アイコン投票 認知症について	36名
6月12日（水）	2024年度介護報酬改定について 2024年4月から重要事項変更説明書 感染症及び食中毒発生の予防及びまん延防止事例 熱中症について	35名
7月10日（水）	豪雨災害の振り返り 高齢者に多い病気と既往症	34名
8月21日（水）	緊急連絡先名簿の更新について 高齢者に多い皮膚病変について 障害者虐待防止	34名
9月11日（水）	ヒヤリ・ハット報告書 各ブロックで検討	34名
10月9日（水）	虐待防止検討委員会研修「虐待の芽を摘む！不適切ケア第3弾」 講師：株式会社フィグ代表取締役 橘高裕行さん	34名
11月13日（水）	「接遇」はなぜ大切なのか？ 傾聴を中心に考える	37名
12月11日（水）	交通事故多発について 自分を守る 感染症対策 ブロックに分かれて年末年始の支援について	32名
2月12日（水）	自転車ヘルメット着用について 職員全員アルコールチェック 緊急時の対応について	34名
3月12日（水）	訪問介護の買い物代行について 注意すべきこと BCPについて	32名

サービス提供責任者会議は毎月1回開催した。

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
7月9日(火)	第30回尾道市地域包括ケア連携協議会研修会 高齢者に多い皮膚トラブルについて 講師：数田皮膚泌尿器科医院院長 数田泰治先生	3名
9月6日(金)	令和6年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	1名
9月24日(火)	令和6年度第1回介護サービス事業者への集団指導研修	1名
10月16日(水)	救命救急講習	7名
10月23日(水)	救命救急講習	7名
11月12日(火)	第31回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 知っておきたい腎臓のお話し 講師：内科・腎臓内科かつたにクリニック院長 勝谷昌平先生	2名
11月28日(木)	第4回尾道市西部圏域医療介護等ネットワーク会議 糖尿病とうまく付き合いながら在宅生活を継続していくために 講師：西部圏域医療介護等ネットワーク協議会コアメンバー 片岡智子さん	4名
12月25日(水)	子育て支援課研修 尾道市子育て世帯訪問支援事業	4名
2月4日(火)	第32回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 在宅における運動器疾患について 講師：上野整形外科院長 上野宏泰先生	3名
3月18日(火)	令和6年度第2回介護サービス事業者への集団指導研修	1名

(ウ) 定例会議への出席

尾道市地域自立支援協議会 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
尾道市地域自立支援協議会 生活支援部会 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
医療・介護連携推進部会 向島包括圏域医療・介護ネットワーク会議 主催：尾道市地域包括ケア連絡協議会	1名
おのみちこころネットワーク協議会 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
ひろしま社協活動推進会議 主催：ひろしま社協活動推進会議 介護保険担当部会	1名

② すずらん訪問介護事業所

事業所の目標を、「声かけや細かい作業を行い訪問介護計画に沿ったサービスを行う」「ヘルパー間や関係者への連絡をしっかりとる」「緊急時に対応できるよう備える」と定め、2名の常勤ヘルパーと4名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

介護保険利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
22	21	22	20	18	19	22	22	19	21	19	18

総合事業利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	16	17	17	17	16	17	15	15	14	15	14

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月19日 (金)	令和6年度事業所目標について BCP（業務継続計画）についての確認 （地震時における対応について）	5名
5月24日 (金)	熱中症・感染症・食中毒予防について 健康作りとフレイル対策について 介護技術（腰痛にならない介護）	6名
6月21日 (金)	熱中症・食中毒について（レポート提出6/28まで） 認知症の方への接し方・虐待防止検討委員会報告	6名
7月19日 (金)	高齢者の熱中症予防対策、食中毒について 認知症対応について 大雨による道路通行止めの対策について	4名
8月9日 (金)	感染症対策の基礎知識、熱中症対策について 尾道市子育て世帯訪問支援事業について	6名
9月20日 (金)	接遇・マナー研修、ハラスメント対策について	6名
10月18日 (金)	高齢者虐待防止研修 事例検討 個人情報・プライバシー保護・倫理・法令遵守研修	4名
11月15日 (金)	感染症研修	4名
12月20日 (金)	認知症対応、苦情対応、コロナ・インフル等感染症 予防について、緊急時の対応	6名
1月17日 (金)	インフルエンザとコロナウイルス感染状況と予防に ついて 認知症の対応について、食中毒・、BCP（地 震への対応について）	4名
2月21日 (金)	感染症予防研修 災害ボランティアセンター研修 障害者虐待防止・権利擁護研修	6名
3月21日 (金)	1年間の振り返り・令和7年度の目標 ヒヤリ・ハット事例検討	6名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
5月29日 (水)	虐待防止検討委員会研修「虐待の芽を摘む！不適切ケア 第3弾」 講師：株式会社フィグ代表取締役 橋高裕行さん	1名
8月29日 (木)	職業 倫理	2名
9月20日 (金)	令和6年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修	1名

9月27日（金）	個人情報・プライバシー・接遇・倫理研修	1名
10月16日（水）	AED研修	2名
12月25日（水）	子育て支援課研修 尾道市子育て世帯訪問支援事業	1名
2月4日（火） 2月12日（水）	メンタルヘルス研修 講師：（株）シーズポート 森田由美子さん	2名
2月14日（金）	令和6年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修 講師：医療法人せのがわミットレーベン 島本貴光さん 社会福祉法人創樹会 さくら 峠栄作さん 広島県障害者権利擁護センター 山田美恵子さん 広島県健康福祉局障害者支援課 主査 本西豊基さん	1名
3月13日（木）	第4回生口島圏域医療・介護ネットワーク会議	1名
3月14日（金）	高齢者虐待対応研修会 講師：広島県社会福祉士会権利擁護センター ばあとなあひろしま所属 吉本律子さん	1名
3月18日（火）	第5回瀬戸田オレンジネットワーク会議	1名
3月18日（火）	令和6年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

（３）訪問入浴介護事業

自宅で入浴が困難な要介護者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、特殊浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを行った。

① 訪問入浴介護事業所

事業所の目標を、「職員全員で連携し、スムーズに安全なサービスを提供する。」と定め、1名の常勤職員と、4名の嘱託職員、6名の臨時職員が、在宅での訪問入浴介護にあたった。

ア 利用者の状況

介護保険利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8	7	7	7	9	9	8	8	9	10	12	10

延べ訪問回数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	35	30	32	35	47	44	37	33	33	36	39	48	449

イ 研修・会議の実施状況

（ア）事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
5月8日（水）	夏季入浴の注意事項検討会議	4名
5月15日（水）	感染症研修会 伝達研修	4名
6月12日（水）	事故防止発生等緊急時対応に関する研修	4名
10月9日（水）	令和6年度満足度アンケート調査結果についての検討会議	4名

10月23日（水）	認知症研修会	4名
10月30日（水）	接遇研修会	4名
11月13日（水）	冬季入浴の注意事項検討会議	4名
1月28日（火）	令和7年度事業所目標検討会議	4名
2月6日（木）	マニュアル検討会議	2名

※ ケース検討会議については計画に沿って毎月1～2回開催した。

（イ）事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
10月9日（水）	虐待防止検討委員会研修「虐待の芽を摘む！不適切ケア第3弾」 講師：株式会社フィーグ代表取締役 橘高裕行さん	6名
10月23日（水） 11月20日（水）	令和6年度救命講習 講師：尾道市消防局	2名
1月31日（金）	感染症研修会	2名
2月12日（水）	メンタルヘルス研修 講師：株式会社シーズポート 森田由美子さん	1名

（４）通所介護事業

通所介護事業では、コロナ禍の影響を特に強く受け、「５類」移行を迎えても、未だに利用者が戻らず稼働率が上がらない傾向が顕著に見られた１年であったが、「機能訓練」「入浴」「食事」その他必要な介護等などを通して、「楽しみ」の中で、日常的な機能を維持、向上できるよう実施した。

① ふれ愛デイサービスセンター

事業所の目標を、「利用しやすさを追求すると共に、安定した稼働を目指す。ご利用者様との信頼、理解を深めケアの質の向上を図る。」と定め、３名の常勤職員と２名の嘱託職員、１４名の臨時職員で事業を展開した。

また、これまで新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止していたボランティアの受入や、屋外機能訓練として実施していた買い物ツアーなど、マスク着用や手指の消毒など感染予防対策を徹底して再開した。

ア 利用者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者延数	392	416	361	383	421	401	
開設日数	26	27	25	27	27	25	
平均利用者数	15.0	15.4	14.4	14.1	15.5	16.0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延数	444	415	395	360	366	422	4,776
開設日数	27	26	25	24	24	26	309
平均利用者数	16.4	15.9	15.8	15.0	15.2	16.2	15.4

介護保険利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
46	42	42	41	46	49	53	52	48	47	48	48

総合事業利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
9	8	9	10	10	9	10	10	9	8	8	9

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
6月8日(土)	満足度調査について	5名
6月27日(木)	認知症実践者研修・デイサービスでの実習について	5名
6月27日(木)	入浴介助研修・動画視聴	13名
7月18日(木)	認知症実践者研修事後カンファレンス	4名
7月24日(水)	認知症実践者研修報告	4名
8月8日(木)	敬老会について	3名
9月9日(月)	敬老会について②	4名
10月7日(月)	敬老会反省・買い物ツアーについて	4名
10月12日(土)	個人情報・プライバシー保護・倫理・法令順守伝達研修	5名
10月21日(月)	虐待全員研修	10名
10月22日(火)	虐待全員研修	7名
10月23日(水)	救命講習入門コース	1名
10月30日(水)	令和6年度福祉センター消防訓練	1名
10月31日(木)	令和6年度第1回感染症研修会	1名
12月12日(木)	地震・津波防災訓練	32名
1月14日(火)	令和6年度第1回 災害対策訓練研修企画会議	1名
1月30日(木)	介護事故のリスクマネジメント・ヒヤリハット	4名
1月31日(金)	介護事故のリスクマネジメント・ヒヤリハット	4名
2月4日(火)	メンタルヘルスについて	1名
2月7日(金)	令和6年度第1回感染症研修(動画視聴)	5名
2月13日(木)	令和6年度第1回 災害対策訓練研修企画会議②	1名
2月13日(木)	令和6年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修(動画視聴)	1名
2月19日(水)	令和6年度在宅サービス課災害対策机上訓練	3名
2月20日(木) 2月27日(木)	災害ボランティアセンター第1回シミュレーション研修	5名

3月19日（水） 3月20日（木）	火災避難訓練	53名
----------------------	--------	-----

（イ）事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
5月28日（火）	ひろしま社協活動推進会議 通所介護事業所編	1名
5月28日（火） 5月29日（水）	認知症実践者研修①	1名
6月19日（水） 6月20日（木）	認知症実践者研修②	1名
7月9日（火）	第30回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 高齢者に多い皮膚トラブルについて 講師：数田皮膚泌尿器科医院 数田泰治先生	2名
7月24日（水）	認知症実践者研修③ 実習報告会	1名
8月22日（木）	ひろしま社協活動推進会議 顔の見える場 BCP 編	1名
9月24日（火） 9月25日（水） 9月26日（木）	令和6年度介護支援専門員の倫理研修	1名
10月9日（水）	虐待防止検討委員会研修「虐待の芽を摘む！不適切ケア第3弾」 講師：株式会社フィグ代表取締役 橘高裕行さん	1名
11月22日（金）	第2回顔の見える場 他事業所職員との関係作り	1名
11月22日（金）	ひろしま社協活動推進会議顔の見える場 第2回	1名
11月28日（木）	西部圏域医療介護等ネットワーク会議	1名
2月4日（火）	第32回 尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 在宅における運動器疾患について 講師：上整形外科医院長 上野宏泰先生	2名
3月21日（金）	令和6年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

ウ 行事等

季節にそった行事やレクレーションを行い、五感を使い四季を感じることができた。
午前中は、それぞれ得意な手作業や、共同作品作りを行った。

○ 年間行事

4月 花見ドライブ・桜会 （お花見弁当）	5月 春のおやつ作り
6月 たこ焼き作り 音楽レク	7月 ふな焼き作り
8月 盆踊り パフェ作り 中学生職場体験	9月 敬老会
10月 あんみつ作り 地震・津波防災訓練	11月 買い物ツアー ハロウィーン
12月 クリスマス会	1月 新年会 ホットサンド作り
2月 節分会 ふれ愛カフェ	3月 ひな祭り会 火災避難

※誕生日会（利用者に合わせて）

○ レクリエーション

ボール送り おじゃみなげ 輪投げ ボーリング ゲートボール
 新聞ふみふみゲーム ピンポンゲーム カップインワン もぐらたたき
 テーブルカーリング 傘入れゲーム バスケット キングスカップ
 プレゼント集めゲーム カップ麺ホッケー 床カーリング
 テーブルピンポンゲーム ナイスキャッチ ボール分けゲーム
 (新レク) ピザ投げ カラーボールレク ビーチボール飛ばし
 キックおじゃみ キャップ野球 フリフリ落とし ビリヤード
 パターゴルフ パットパットゴルフ シャトル飛ばし 飛んでけおじゃみん
 レールに乗っていこう 倒れたら負けよ
 カラオケや密になるレクリエーションはコロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

○ ボランティアのみなさん

マジック (ヘンリー平原さん) キーボード演奏 (高木さん)
 舞踊翠扇会 (緒方さん)

② 因島デイサービスセンター

事業所の目標を「利用者が安心して快適に過ごせるデイサービスづくり」「職員間での報・連・相を確実にして、利用者の心身機能の維持に努める」と定め、2名の常勤職員と5名の嘱託職員、21名の臨時職員で事業を展開した。

ア 利用者の状況

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
利用者延数	501	517	461	444	450	443	
開設日数	26	27	25	27	27	25	
平均利用者数	19. 2	19. 1	18. 4	16. 4	16. 6	17. 7	
月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者延数	482	452	403	397	405	455	5, 410
開設日数	27	26	25	24	24	26	309
平均利用者数	17. 8	17. 3	16. 1	16. 5	16. 8	17. 5	17. 5

介護保険利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
49	49	51	48	49	47	47	48	48	45	46	47

総合事業利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	10	8	9	9	11	12	10	10	10	10	10

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

4月16日（火）	業務マニュアル、認知症事例検討 BCP（自然災害）	15名
5月20日（月）	倫理・法令遵守について 入浴介助研修 BCP（備品の備蓄）	14名
6月13日（木）	感染症、食中毒の予防およびまん延防止について BCP（営業時間内における停電時の対応について） 虐待防止委員会の見解を受けて（不適切な言葉かけ）	18名
7月22日（月）	避難訓練（火災）	13名
7月22日（月）	プライバシー保護の取り組みについて 非常災害時の対応に関する研修 認知症の事例検討	13名
9月9日（月）	緊急時・急変時の対応に関する研修 ADL表の見直し	12名
10月25日（金）	安全運転管理者講習の報告 高齢者虐待防止研修	13名
12月16日（月）	消防火災訓練（利用者も含めて）	22名
12月16日（月）	救命救急講習（心臓マッサージおよびAEDの講習）	20名
2月17日（月）	BCP机上訓練	7名
3月17日（月）	BCP研修（机上訓練の報告）認知症事例研修 介護予防要介護度進行予防について	11名

（イ）事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
10月11日（金）	安全運転管理者研修	1名
10月31日（木）	感染症対策研修（リモート）	2名
2月12日（水）	メンタルヘルス研修	2名
2月14日（金）	因島歯科医師会主催「口腔ケア」研修	1名

ウ 行事等

○ 年間行事

4月 お花見週間 6月 七夕短冊づくり 8月 夏祭り週間
9月 敬老表彰 12月 クリスマス週間
毎月 コーヒー週間
※誕生日会（利用者に合わせて）

○ レクリエーション

手遊び歌 サイコロしりとり 血液サラサラ体操 ラジオ体操
言葉遊び ジャンケンゲーム ボール遊び 輪投げ
カラオケ 唱歌など他 音楽レクリエーション
椅子に座ってできる身体・頭を使うレクリエーション

○ ボランティアのみなさん

オカリナ演奏（毎月1回） フラダンス（2月）
腹話術・紙芝居他（10月）

16. 障害福祉サービス事業

障害のある人も普通に暮らし、地域の一員としてともに生きる社会作りを目指して、障害福祉サービスによる居宅介護等の「介護給付」と、移動支援等の「地域生活支援事業」を行い、障害者の自立を支えた。

(1) 障害者訪問介護事業

在宅の障害者宅をホームヘルパーが訪問し、家事・介護・移動介護の援助を行い、自立支援を図った。

①訪問介護事業所

利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
32	31	31	30	30	30	28	30	31	28	26	24

延べ訪問回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
444	435	418	442	424	420	423	419	405	377	326	337	4,870

②すずらん訪問介護事業所

利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	6	7	7	4	7	7	7	3	7	7	7

延べ訪問回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	10	15	12	12	20	22	21	16	20	18	20	199

(2) 障害者訪問入浴介護事業

在宅の障害者宅を入浴車で訪問し、ベッド横に浴槽を運んで入浴していただくことで清潔を保ち、快適な在宅生活が送れるようにサービス提供を行った。

○尾道市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所

利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

延べ訪問回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22	22	20	23	21	22	20	22	22	17	20	22	253

(3) 障害者通所介護事業

在宅の障害者がデイサービスを利用することにより外出の機会をつくり、社会的孤立感の解消と家族の身体的・精神的な介護負担の軽減を図った。

○尾道市社会福祉協議会ふれ愛デイサービスセンター

利用実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

延べ訪問回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	19	23	24	27	25	23	25	24	22	22	26	267